

# 元総社蒼海遺跡群（18）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2008.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

# 元総社蒼海遺跡群（18）

前橋都市計画事業元総社蒼海地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 0 8 . 3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団



元遗址  
（18）全景



I-4号井口蹲全景



I-4号井口蹲出土瓦当

## は じ め に

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上野毛の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王庵寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中核をなす施設が次々に作られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（18）は古代上野国の中核地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めています。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの堅穴式住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面的ご配慮の結果と言えます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんにお礼申し上げます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成20年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団  
団長 砂川次郎

## 例 言

1. 本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群発掘調査報告書である。

2. 調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3. 発掘調査の要項は次のとおりである。

調 査 場 所 群馬県前橋市元総社町1718番ほか3筆

遺 跡 コ ー ド 19A130-18

発 掘 調 査 期 間 平成19年10月16日～平成20年1月16日

整理・報告書作成期間 平成19年11月12日～平成20年3月13日

発 掘 ・ 整 理 担 当 者 宇佐美義春（技研測量設計株式会社）

4. 本書の編集は宇佐美が行った。原稿執筆はIを梅澤克典（前橋市教育委員会）、他を宇佐美が担当した。

5. 発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】内鶴勝義・小田切勝己・坂口 昇・間庭啓治・三原昭夫・吉澤栄一・山本芳子・静 幸代・

岩田誠一・木村美津子・染谷恭輔・男竹則夫・田所保彦・岡野 茂・矢内司郎・新井将夫・

梅山節子・竹内八重子・武田茂子・田島邦利・金古 操・高橋千秋・横田久雄

【整理作業】大友徳恵・桜井美佳・須田公恵・堀越晴子・山下雅江・山本洋子

6. 発掘調査で出土した遺物および、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

7. 以下の諸氏・機関に有益なご指導・御協力を頂いた。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）

元総社町自治会・須賀工業株式会社

## 凡 例

1. 押図中に使用した北は、座標北である。

2. 押図に建設省国土地理院発行の1:200,000、1:25,000地形図を使用した。

3. 遺構、及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

H…古墳・奈良・平安時代の堅穴住居跡 W…溝跡 I…井戸跡

D…土坑 DB…土壤墓 P…ピット O…落ち込み、風倒木痕 X…性格不明遺構

4. 遺構・遺物実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構 住居跡・溝跡・井戸跡・土坑…1:60、1:80 電…1:30 全体図…1:300

遺物 金属器…1/2 土器…1/3、1/4 石製品…1/4 瓦…1/6、1/4、1/3

5. 計測値については、( ) は現存値、[ ] は復元値を表す。

6. セクション注記の記号は、粘性・縊りの順で示し、それぞれ以下のように表現する。

◎非常に縊まり・粘性あり ○縊まり・粘性あり △縊まり・粘性ややあり ×縊まり・粘性なし

7. 遺構・遺物実測図の記号・網掛けは、次のとおりである。

—・床硬化範囲 ……灰釉施釉範囲 ■■■■■：遺構の被熱痕・灰釉陶器の断面

■■■■■：還元焰焼成の須恵器断面 ■■■■■：土器の油煙・遺構の炭範囲

8. 主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

As-B (浅間B軽石：供給火山・浅間山、1108年)

Hr-FP (榛名ニッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、6世紀中葉)

Hr-FA (榛名ニッ岳渡川テフラ：供給火山・榛名山、6世紀初頭)

As-C (浅間C軽石：供給火山・浅間山、4世紀前半～中葉)

## 目 次

図版 1	
図版 2	
序	i
例言・凡例	ii
I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と環境	1
III 調査の方針と経過	3
IV 基本層序	6
V 遺構と遺物	8
VI まとめ	16

## 表 目 次

Tab. 1 元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表	5	Tab. 7 出土瓦観察表	25
Tab. 2 穴穴住居跡一覧表	17	Tab. 8 出土金属製品観察表	27
Tab. 3 溝跡計測表	17	Tab. 9 出土石製品観察表	27
Tab. 4 土坑・墓坑・井戸計測表	17	Tab. 10 出土磁器観察表	27
Tab. 5 ピット計測表	18	Tab. 11 出土古錢観察表	27
Tab. 6 出出土器観察表	20		

## 挿図目次

Fig. 1 元総社蒼海遺跡群位置図	2	Fig. 17 H-17・19・20・21号住居跡	38
Fig. 2 周辺遺跡図	4	Fig. 18 H-18・29号住居跡	39
Fig. 3 グリッド設定図	6	Fig. 19 H-22・25号住居跡	40
Fig. 4 基本層序	6	Fig. 20 H-23・24号住居跡	41
Fig. 5 元総社蒼海遺跡群(18)全体図	7	Fig. 21 H-24号住居跡	42
Fig. 6 元総社蒼海遺跡群(15)・(16)・(18)の 穴穴住居跡時期別分布図	16	Fig. 22 H-26号住居跡	43
Fig. 7 H-1号住居跡	28	Fig. 23 W-1・2・3・5号溝跡	44
Fig. 8 H-2・3・27・28号住居跡	29	Fig. 24 土坑(1)	45
Fig. 9 H-2・3号住居跡竪	30	Fig. 25 土坑(2)	46
Fig. 10 H-27・28号住居跡竪	31	Fig. 26 土坑(3)	47
Fig. 11 H-4・5号住居跡	32	Fig. 27 土坑(4)	48
Fig. 12 H-6・8・9号住居跡	33	Fig. 28 土坑(5)	49
Fig. 13 H-7・30号住居跡	34	Fig. 29 土坑(6)	50
Fig. 14 H-10・11・12・31号住居跡	35	Fig. 30 I-1・2・3号井戸跡	51
Fig. 15 H-13号住居跡	36	Fig. 31 I-4号井戸跡	52
Fig. 16 H-14・15号住居跡	37	Fig. 32 X-1号跡	53
		Fig. 33 H-1～6号住居跡出土遺物	54

Fig. 34	H—7～10・12号住居跡出土遺物	55	Fig. 40	X—1号跡・I—3号井戸跡出土遺物	61
Fig. 35	H—11～13号住居跡出土遺物	56	Fig. 41	X—1号跡、I—3・4号井戸跡 出土遺物	62
Fig. 36	H—14～20・22号住居跡出土遺物	57	Fig. 42	I—4号井戸跡出土遺物	63
Fig. 37	H—22・24号住居跡出土遺物	58	Fig. 43	I—4号井戸跡出土遺物	64
Fig. 38	H—25～28号住居跡出土遺物	59	Fig. 44	I—4号井戸跡出土遺物	65
Fig. 39	H—29号住居跡・土坑・I—1号井戸跡 出土遺物	60	Fig. 45	I—4号井戸跡出土遺物	66

## 図版目次

PL. 1	遺跡全景（A区） 基本層序 遺跡全景（B区） 調査風景	W—6号溝跡・土坑群2全景 W—2号 溝跡全景 W—5号溝跡全景
PL. 2	H—1号住居跡全景・竈全景 H—2号住居 跡全景・竈全景 H—3住居跡全景・竈全景 H—4住居跡全景・竈全景	PL. 8 D—5号土坑全景（墓坑） D—14号土坑全 景 D—19号土坑全景 土坑群1全景 DB—1号土壤墓全景 DB—2号土壤墓全景 I—1号井戸跡・土層
PL. 3	H—5号住居跡全景・H—7・30号住居跡全 景 H—6号住居跡・竈全景 H—8住居跡 全景 H—9号住居跡全景 H—10・11・12・ 31号住居跡全景 H—10・12号住居跡竈全景	PL. 9 I—3号井戸跡・土層 I—4号井戸跡・土 層 I—4号井戸跡北側・西側瓦積み X— 1号跡土層（1） X—1号跡土層（2）
PL. 4	H—11号住居跡竈全景 H—13号住居跡全景 H—14号住居跡全景・竈全景 H—15号住 居跡全景・竈全景 H—16号住居跡全景 H— 17号住居跡全景	PL. 10 X—1号跡全景 X—1号跡西側 X—1号 跡東側 X—1号跡遺物出土状況（東側） X—1号跡群
PL. 5	H—18号住居跡掘り方全景・竈土層 H—19 号住居跡全景・竈全景 H—20号住居跡竈全 景 H—21号住居跡全景 H—22号住居跡全 景・竈全景	PL. 11 出土遺物（H—1・3～7・9～12号住居跡） PL. 12 出土遺物（H—12・13・15・17～19・22号住 居跡）
PL. 6	H—23号住居跡・竈全景 H—24号住居跡全 景・竈全景 H—25号住居跡全景 H—26号 住居跡・竈全景 H—26号住居跡掘り方全景	PL. 13 出土遺物（H—22～26号住居跡） PL. 14 出土遺物（H—26号住居跡・土坑・I—1号 井戸跡、X—1号跡・I—3号井戸跡）
PL. 7	H—27号住居跡全景・竈全景 H—28号住 居跡全景・竈全景 W—1号溝跡・土坑群2全	PL. 15 出土遺物（I—4号井戸跡） PL. 16 出土遺物（I—4号井戸跡） PL. 17 出土遺物（I—4号井戸跡）

## I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、8年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年に亘って行われていることから遺跡地であることが確認されている。

平成19年9月7日付けで、前橋市長・高木政夫（区画整理第二課）より前橋市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団へ調査実施の協議を行った。調査団では直営による本発掘調査の実施が困難であるとして、民間調査機関に調査業務を委託したいと解答した。民間調査機関の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、平成19年10月3日付けで前橋市埋蔵文化財発掘調査団と前橋市との間で、埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結した。調査団は民間調査機関である技研測量設計株式会社と、10月4日付けで業務委託契約を締結し、10月16日より現地での発掘調査を開始した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（18）」（遺跡コード：19A130-18）の「元総社蒼海遺跡群」は区画整理事業名を採用し、数字の「(18)」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

## II 遺跡の位置と環境

### 1 遺跡の位置 (Fig. 1)

本調査地は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約3.6kmの地点、前橋市元総社町地内に所在し、西約0.4kmには関越自動車道が南北に、南には国道17号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に、また東約0.5kmには市道大友・石倉線が南北にそれぞれ走っている。本調査地の立地する地形は、前橋台地上、榛名山麓を源にする牛池川、染谷川が開析し形成した細長い微高地で、標高は122～123mの位置にある。また、総社・元総社地区で染谷川や牛池川は、微高地との比高差3m～5mを測る。遺跡が立地する台地上は桑畠などの畠地として利用されていた。

### 2 歴史的環境 (Fig. 2) 遺跡名の後の（ ）付数字は、Fig. 2及びTab. 1の遺跡番号と対応する。

本遺跡地は繩文時代以降の多くの遺跡が立地している。繩文時代の遺跡では、八幡川右岸の微高地上に産業道路東（15）・産業道路西遺跡（16）、本遺跡の立地する牛池川右岸台地上に上野国分僧寺・尼寺中間地域（20）・元総社小見三遺跡（65）などが挙げられる。弥生時代の遺跡としては日高遺跡（18）、上野国分僧寺・尼寺中間地域（20）や桜ヶ丘遺跡（33）、下東西遺跡（23）等があるがその分布は散漫である。

古墳時代、本遺跡地周辺の区域は県内でも中心的な地域であったことが窺われる。それを示すものとして総社古墳群が挙げられ、古墳時代後期・終末期に至り、王山古墳（7）、二子山古墳（11）、愛宕山古墳（10）、宝塔山古墳（13）、蛇穴山古墳（8）等の首長墓が多数築造された。

奈良・平安時代に至ると、本遺跡周辺は上野国府、国分寺（2）、国分尼寺（3）の建設に示されるように、律令期における上野国の地方行政の中核として再編成される。上野国府は本遺跡の南東の区域におよそ900m四方に推定され、これに関連する遺跡として、元総社小学校校庭遺跡（14）や、元総社寺田遺跡（48）、元総社宅地遺跡（55）がある。また閑泉橋遺跡（30）では東西方向の大溝、元総社明神遺跡（27）では南北方向の溝跡が検出され、国府域の東外郭線が想定された。国分寺（2）は昭和55年以降の調査により、主要伽藍の礎石、築垣、堀等が確認されている。国分尼寺（3）は昭和44・45年のトレンチ調査により伽藍配置が推定され、その後平成12年の前橋市埋蔵文化財発掘調査団の確認調査により、東南隅と西南隅の築垣、それと平行する溝跡や道路状遺構が確認された。なお今回の調査対象区域である元総社蒼海遺跡群は国分尼寺南方150mの位置に所在する。また、国府・国分寺に

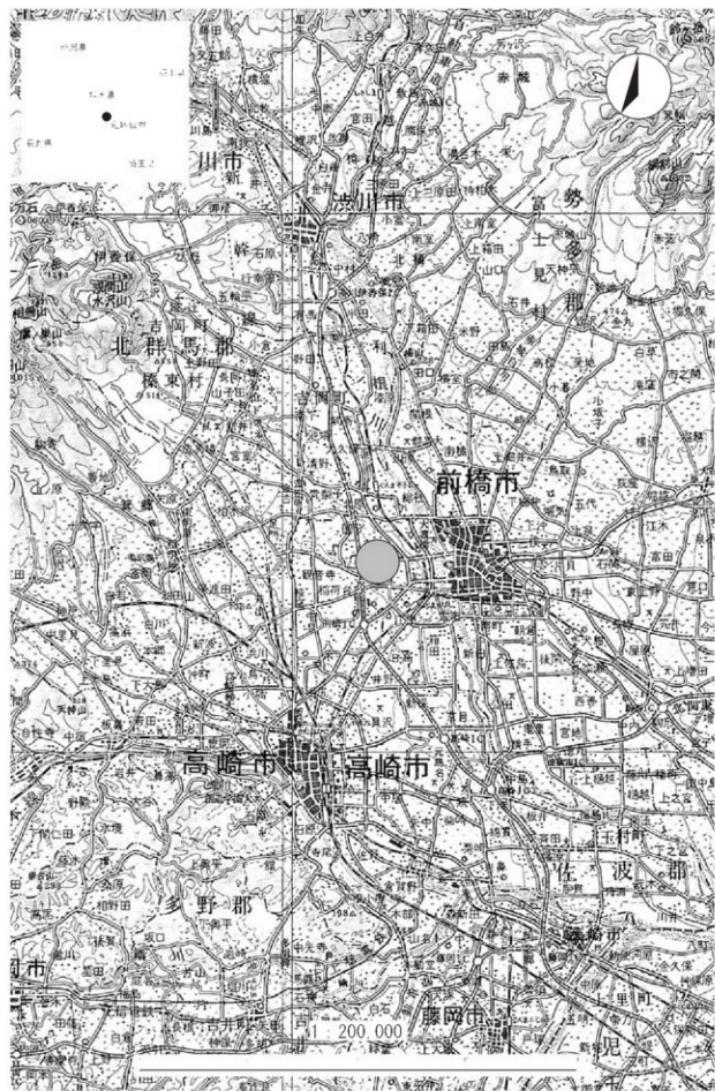


Fig. 1 元總社蒼海遺跡群 位置図

関連する主要な遺跡として、中尾遺跡（17）、工房址や神社遺構が検出された鳥羽遺跡（29）、掘立柱建物群を検出した国分僧寺・尼寺中間地域（20）などが挙げられる。

中世に至り、古代国府跡に上野国守護代長尾氏によって蒼海城が築かれ、蒼海城の郷張りは国府の地割を祖型としていると推測されている。

### III 調査の方針と経過

#### 1 調査方針 (Fig. 3)

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海地区画整理事業の道路予定地で、調査面積は約1,440m<sup>2</sup>である。グリッド座標については、2000年の上野国国分尼寺寺域確認調査から用いている4mピッチのものを継続して使用した。グリッドは北西杭の名称を使い、西から東へX-59、X-60、X-61…、北から南へY-115、Y-116、Y-117…と表記した。公共座標については、以下のとおりである。

- 元総社蒼海遺跡群（18） 調点 X80・Y115

旧日本測地系	X = +43540.000	Y = -71880.000
--------	----------------	----------------

世界測地系	X = +43894.906	Y = -72171.754
-------	----------------	----------------

調査は①表土掘削（バックフォー0.7m使用）、②遺構確認（主に勘定）、③方眼杭等設置、④遺構掘り下げ、⑤遺構精査、⑥測量、⑦全景写真撮影の手順を行った。図面作成は、トータルステーションによる測量を主に使用し、平板・通り方測量を併用した。遺構図は原則として1/20、住居跡竈は1/10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録しながら収納した。

#### 2 調査経過

本遺跡の発掘調査は、平成19年10月4日付けで業務委託契約を締結し、10月16日より現地での調査を開始した。調査区は現道を挟んで分割されるため、便宜上東側部分をA区、西側部分をB区と呼称した。また、元総社蒼海遺跡群（15・16）と隣接し、並行して調査が行われているため、遺構が調査区域をまたいで検出された場合は、その都度どちらの調査区域に属するか明確にするようにし、本調査区域にその遺構が帰属しない場合は遺構番号は特に付さなかった。

重機による表土掘削は10月16日～10月25日、C軽石・Hr-FP混黒色土層を指標に掘り下げた。遺構確認は10月26日～11月1日、BM杭・グリッド杭の打設は10月25日を行い、11月1日から遺構の掘り下げを開始した。

検出遺構は平安時代の堅穴住居跡31軒、古代・中世の溝跡5条・井戸跡4基・土坑94基・ピット311基、土壙墓2基、掘り込み状遺構1箇所、風倒木痕2箇所である。出土遺物は縄文時代の土器・石器・奈良・平安時代の土師器・須恵器・灰釉陶器・瓦・金属製品・石製品、中世の陶磁器等で、コンテナ約40箱である。

12月21日にラジコンヘリコプターによる調査区全景の航空写真撮影を行い、その後、堅穴住居跡の掘り方調査を実施した。調査区埋め戻し作業は平成20年1月7日～1月16日の間にを行い、その後機材撤収を行い調査を完了した。

整理・報告書作成作業は11月12日より開始した。遺物の水洗い・注記・接合・復元・実測・写真撮影・収納、図面の修正・整理・収納、写真的整理・収納、報告書の図版作成・原稿執筆・編集作業を行い、平成20年3月13日までにすべての作業を終了した。

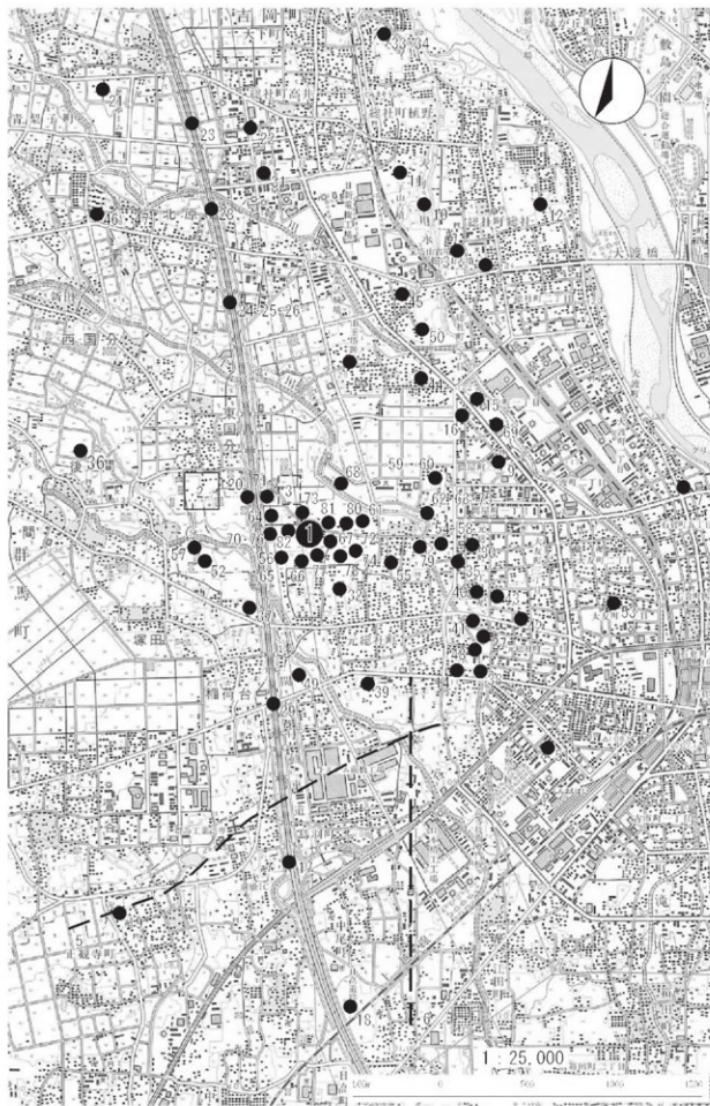


Fig. 2 周辺遺跡図

Tab. 1 元總社蒼海道路群周辺遺跡概要一覧表

番号	道路名	調査年度	時代：主な遺構・出土品
1	元總社蒼海道路群（18）	2007	木道跡
2	上野西谷分岐跡（事業団）	1980～88	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野西谷分岐跡	(1999)	奈良：西阿所・東南院墓地
4	上野西谷分岐跡	(1974)	古墳：塔心石・根石台
5	東山道（推定）		
6	日高道（推定）		
7	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳（6世紀中）
8	新穴古墳	1975	古墳：方墳（8世紀初）
9	相模原古小山古墳	1988	古墳：方墳（6世紀後半）
10	愛宕山古墳	1990	古墳：方墳
11	日高山古小山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（6世紀～7世紀）
12	溪見山古墳	未調査	古墳：方墳（5世紀後半）
13	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳（7世紀末）
14	元總社外校駅前道路	1962	平安：獨立柱建物跡・柱穴群・廻廊跡
15	產業道路東道跡	1966	調査：住居跡
16	元總社外西道跡	1966	調査：住居跡
17	日高山古墳（事業団）	1976	古墳：平塚・住居跡
18	日高山古墳（事業団）	1977	古墳：水田跡・配石遺構・祭祀：住居跡・古墳・平安：住居跡・中世：溝跡
19	正詔今宿跡I～IV（高崎市）	1959～81	奈良：住居跡・古墳・祭祀：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：溝跡
20	上野西谷分岐跡・寺中間地域（事業団）	1980～83	調査：住居跡・古墳・祭祀：住居跡・木製龕具・平安：住居跡・獨立柱建物跡・中世：獨立柱建物跡・溝跡・道路状遺構
21	清里南新道跡群組	1980	調査：木製龕具・奈良：住居跡・古墳
22	中島遺跡	1980	調査：木製龕具・住居跡
23	下東西通路（事業団）	1988～94	調査：土器・外埋設物：佐生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・樹列、中世：溝跡
24	分段築造路（事業団）	1990	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡
25	分段築造路（事業団）	1991	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡
26	分段築造路（群馬町）	1991	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・古墳・中世：土壤施
27	元總社北山道跡I～III	1982～96	古墳：住居跡・水田跡・祭祀・奈良・平安：住居跡・溝跡・大形人形・中世：住居跡・溝跡
28	北原遺跡（群馬町）	1982	調査：土器・集石道橋・古墳：木造跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡
29	鳥羽遺跡（事業団）	1978～83	古墳：住居跡・配石遺構・祭祀：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡（神殿跡）
30	閑室城跡	1983	奈良：木製龕具・溝跡（10.6×5.7m・下幅3.24m・深さ2m）
31	日本木道跡・日道跡	1983	奈良：木製龕具・溝跡・7m
32	日道遺跡	1984	奈良：木製龕具・平安：住居跡
33	坂ヶ丘古墳	1984	奈良：住居跡
34	元總社北山道跡・日道跡	1985	87：奈良・平安：住居跡
35	閑室城跡	1985	古墳：住居跡・奈良・平安：溝跡
36	後定間開拓跡I～IV（群馬町）	1985～87	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：道路状遺構
37	櫛田川古墳（群馬町）	1985	平安：住居跡
38	元總社北山道跡	1986	奈良：木製龕具
39	大前山古跡・日道跡	1986～88	奈良：木製龕具・平安：住居跡
40	原敷遺跡・日道跡	1986～95	奈良：住居跡・平安：住居跡・中世：樹列・石敷遺構
41	大友村遺跡・日道跡	1987	古墳：住居跡・平安：住居跡・溝跡・地下式土坑
42	堀越遺跡	1987	奈良：平安：住居跡・溝跡
43	櫛田日月山跡	1988	平安：住居跡
44	高柴今宿河通跡・日道跡	1988	奈良・平安：住居跡
45	利根原遺跡	1988	古墳：住居跡・祭祀・酒器・奈良・平安：住居跡・中世：船跡
46	今宿古跡	1988	奈良：住居跡・祭祀・酒器・奈良・平安：住居跡・溝跡
47	御野古跡・日道跡	1989	奈良：住居跡
48	元總社外田道跡I～III（事業団）	1989～91	古墳：水田跡・溝跡・奈良・平安：住居跡・溝跡・人形・埴輪・黑土器・中世：溝跡
49	弘忍遺跡・日道跡	1989～95	古墳：住居跡・平安：住居跡
50	大屋敷遺跡I～VI	1992～2000	調査：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：獨立柱建物跡・地下式土坑・溝跡
51	元總社北山道跡	1993	調査：土器・平安：住居跡・瓦砾
52	上野西谷分岐道跡	1996	古墳：住居跡・平安：住居跡
53	大友瓦山道跡	1998	平安：木田
54	鶴社閑室明神北道跡	1999	古墳：高塚・木田跡・溝跡・中世：溝跡
55	元總社北山道跡I～23トレント	2000	調査：木製龕具・独立柱建物跡・圓窓・輪郭・獨立柱建物跡・圓窓・輪郭・独立柱建物跡・輪郭・独立柱建物跡・圓窓・輪郭
56	元總社北山道跡	2000	調査：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・圓窓・輪郭・独立柱建物跡・圓窓・輪郭
57	元總社北山道跡	2000	古墳：住居跡・高塚・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
58	元總社閑室北道跡（事業団）	2001	古墳：奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
59	元總社閑室大通路遺跡	2001	奈良・平安：住居跡・圓窓・中世：高塚・近世：溝跡
60	元總社閑室廬原大通路西II道跡	2001	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・近世：溝跡
61	元總社閑室廬原大通路西III道跡	2001	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・圓窓・中世：獨立柱建物跡・圓窓
62	元總社閑室廬原大通路西IV道跡	2002	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・圓墳
63	鶴社閑室明神北田道跡	2002	奈良：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
64	元總社外見田道跡	2002	調査：住居跡・古墳・住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・中世：溝跡・道路状遺構
65	元總社外見田道跡	2002	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭・独立柱建物跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
66	元總社外見V道跡	2002	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：溝跡
67	元總社外見IV道跡	2002	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：溝跡
68	元總社外見川道跡（事業団）	2002～04	古墳：木田跡・奈良・平安：住居跡・高塚・中世：圓窓・獨立柱建物跡・木田跡・火葬墓
69	相模原東道跡（事業団）	2003	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭・橫構梁茅葺傾斜假屋・升斗跡
70	元總社外見V道跡	2003	調査：木田跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
71	元總社外見VI道跡	2003	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・圓窓・輪郭
72	元總社外見VI道跡	2003	奈良・平安：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：圓窓・獨立柱建物跡
73	元總社外見VI道跡	2003	調査：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・中世：高塚・溝跡
74	元總社外見VI道跡	2003	奈良・平安：住居跡・奈良・平安：住居跡・獨立柱建物跡・中世：高塚・溝跡
75	元總社閑室大通路西IV道跡	2003	古墳：高塚・中世：溝跡
76	元總社外見VI道跡	2004	調査：住居跡・古墳・奈良・平安：住居跡
77	元總社外見IX道跡	2004	奈良・平安：住居跡・中世：溝跡
78	元總社外見X道跡	2004	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・工房跡・粘土探査坑・金片・金粒・中世：溝跡・土壤施
79	鶴社閑室明神北道跡	2004	古墳：木田跡・奈良・平安：住居跡
80	元總社北山道跡（3）	2005	古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・溝跡・中世：周溝状遺構・土壤施
81	元總社北山道跡（15）	2007	調査：住居跡・中世：溝跡
82	元總社北山道跡群（16）	2007	調査告白作成中

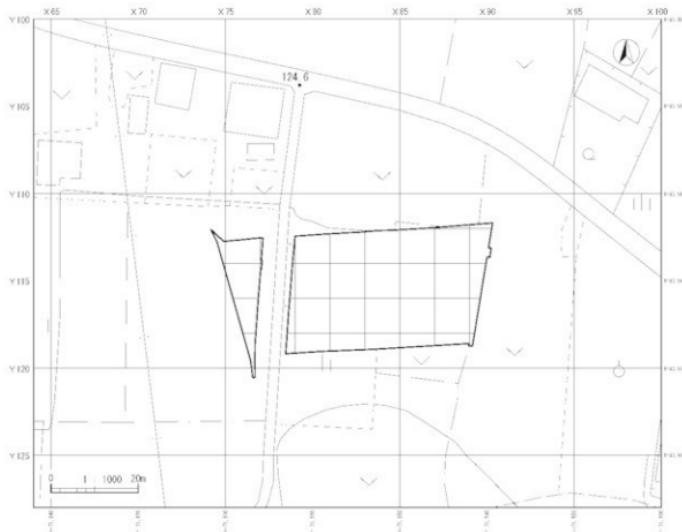


Fig. 3 グリッド設定図

#### IV 基本層序

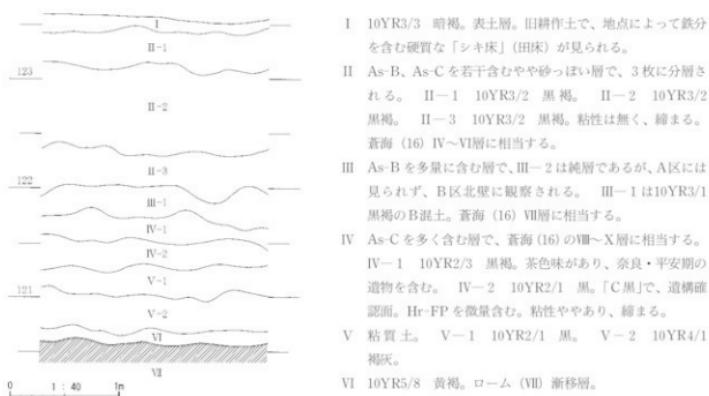


Fig. 4 基本層序

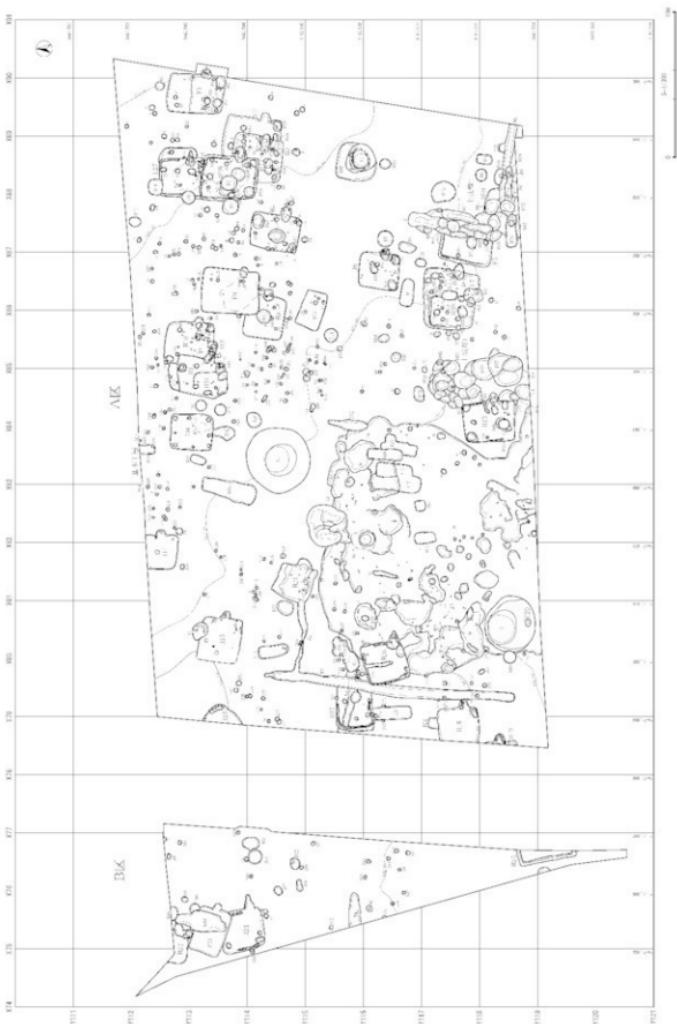


Fig. 5 元總社蒼海遺跡群 (18) 全體圖

## V 遺構と遺物

### (1) 積穴住居跡

H-1号住居跡 (Fig.7・33, PL. 2・11)

位置 X89、Y112グリッド 主軸方位 N-86°-W 形状等 長方形。東西2.67m、南北3.9m、最大壁高0.16m 床面積 9.0m<sup>2</sup> 床面 よく縮まる。北側は一段高くなる。竈 東壁南寄り。主軸方位はN-85°-W。壁を長70cm、幅70cm掘り込んで構築。煙道部は有段。出土遺物 灰釉瓶、須恵器坏・高台坏・甕、土師器坏・甕、羽釜、瓦、こも石2点。備考 年代は元総社蒼海遺跡群Ⅲ期10世紀代と推定。

H-2号住居跡 (Fig.8・9・33, PL. 2・11)

位置 X89、Y114グリッド 主軸方位 N-83°-W 形状等 長方形。東西(2.83)m、南北3.85m、最大壁高0.31m 床面積 (4.7)m<sup>2</sup> 床面 よく縮まるが、とくに硬質面はない。竈 東壁南寄り。主軸方位N-83°-W 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇の住居跡南東コーナー。73×53cm、深さ40cm。ピットは1本。出土遺物 須恵器坏・高台坏・羽釜片、土師器甕、瓦。備考 H-3号住居跡に切られる。年代は10世紀代と推定。

H-3号住居跡 (Fig.8・9・33, PL. 2・11)

位置 X89、Y114グリッド 主軸方位 N-83°-W 形状等 長方形。東西3.80m、南北3.45m、最大壁高0.32m 床面積 (6.9)m<sup>2</sup> 床面 竈前面がやや硬質化する。竈 東壁南寄り。主軸方位N-83°-W。壁を長26cm、幅50cm掘り込んで構築。左右袖は地山を長45~50cmほど掘り残している。焚口左右に軟砂岩の方形の切石を据えている。間隔幅34cm。柱穴等 ピットは5本あり、南壁際に4本が並ぶ。床下土坑1基。出土遺物 灰釉片、須恵器坏・高台坏・羽釜、土師器坏片・甕片、瓦。破片が多い。Fig.32-10の羽釜は竈前面に散乱していた。備考 H-2号住居跡を切り、H-28号住居跡に切られる。年代は10世紀代と推定。

H-4号住居跡 (Fig.10・33, PL. 2・11)

位置 X87、Y114グリッド 主軸方位 N-82°-W 形状等 長方形。東西2.43m、南北3.37m、最大壁高0.12m 床面積 7.95m<sup>2</sup> 床面 よく縮まるが、とくに硬質面はない。竈 東壁南寄り。N-82°-W壁を長56cm、幅64cm掘り込んで構築。壁面・燃焼部に赤化した部分はない。煙道部寄りに2個一対の円窓を据えている。貯蔵穴・柱穴等 ピットは2本。他のピットはB混土で新しい。床下土坑2基。P 1は貯蔵穴の可能性もある。出土遺物 灰釉片、須恵器坏・高台坏・羽釜。Fig.32-11は竈内出土で、土師質・足高の高台坏。備考 10世紀後半代か。

H-5号住居跡 (Fig.10・33, PL. 3・11)

位置 X87、Y117グリッド 主軸方位 N-82°-W 形状等 東西 (1.87)m、南北2.77m、最大壁高0.37m 床面積 (5.6)m<sup>2</sup> 床面 よく縮まるが、とくに硬質面はない。竈 東側をW-1号溝跡、土坑群2に切られて未検出。貯蔵穴・柱穴等 ピットは3本。P 1は竈前面に位置する落ち込みで、焼土・灰が混入している。他のピットは浅く、柱穴とは思われない。出土遺物 灰釉片、須恵器坏・高台坏・羽釜、瓦、砥石片。Fig.32-13高台坏はP 1際出土。ほぼ完形。備考 10世紀代と推定。

H-6号住居跡 (Fig.12・33, PL. 3・11)

位置 X86、Y116グリッド 主軸方位 N-84°-W 形状等 長方形。東西2.46m、南北2.77m、最大壁高0.15m 床面積 6.3m<sup>2</sup> 床面 よく縮まるが、特に硬質面はない。竈 東壁やや南寄り。主軸方位N-84°-W。壁を長40cm、幅64cmに掘り込んで構築。壁面・燃焼部は被熱でよく縮まるが、特に赤化部はない。焚口に軟砂岩切石(右側)、自然縞(左側)を据えるが、自然縞は遺構確認時に重機に抜き取られ、現状に復元し得なかった。薄い灰層が見られる。灰釉碗(Fig.32-14)、須恵器高台坏(15・17)、瓦が上面にまとまって検出された。貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、71×55cm、深さ23cm、上面に瓦の大片出土。ピットは3本。P 3は南西コーナーにあり、あるいは貯蔵穴か。P 2の東側に続くピットはB混土の新しいピット。出土遺物 灰釉碗。須恵器坏・高台坏・土師器坏・甕、瓦。羽釜は破片2点のみ。遺物は竈内出土が多い。備考 10世紀後

半代か。

H-7号住居跡 (Fig.13・34、PL.3・11)

位置 X86、Y117グリッド 主軸方位 N-83°-W 形状等 長方形。東西4.16m、南北3.82m、最大壁高0.14m 床面積 (7.1) m<sup>2</sup> 床面 全体にやや軟弱 窓 東壁中央やや南寄り。壁を長54cm、幅75cmの半円形状に掘り込んで構築。袖部は地山を44cm掘り残す。煙道部は有段。燃焼部は被熱でよく縮まる。灰層が認められる。中央に軟砂岩切石が据えられている。支脚か。 柱穴等 ピットは7本。いずれも浅めで、並びは見られない。 出土遺物 灰釉片・瓶、須恵器環・高台坏、羽釜、瓦等。竈周辺からの出土が多い。羽釜 (Fig.33-23) は竈左側から東壁外上面に分布しているものが接合した。銅挽 (Fig.33-22) は西壁際埋土上面出土で、当住居跡に伴うものであるかどうか微妙なところであるが、周囲や遺物下側にB混土は無く、住居埋土中出土である。21は足高の高台坏 (あるいは椀)。 備考 H-30号住居跡は床下検出。年代は10世紀後半代か。

H-8号住居跡 (Fig.12、PL.3)

位置 X86、Y117グリッド 主軸方位 N-87°-W 形状等 長方形。東西3.04m、南北3.95m、最大壁高0.10m 床面積 11.3m<sup>2</sup> 床面 全体に軟弱。 窓 東側南寄り。主軸方位N-85°-W。壁を長27cm、幅58cmの半円形状に掘り込んで構築。煙道部は低い有段をもつ。全体に軟弱。 柱穴等 ピットはB混土。 出土遺物 破片が数点あるのみ。 備考 H-9を切る。年代不明。

H-9号住居跡 (Fig.12・34、PL.3・11)

位置 X85、Y114グリッド 主軸方位 N-82°-W 形状等 方形。東西2.97m、南北2.72m、最大壁高0.12m 床面積 7.3m<sup>2</sup> 床面 全体に軟弱。 窓 東壁中央。壁を長37cm、幅61cmの方に掘り込んで構築。燃焼部は浅い皿状にへこみ、被熱で縮まっている。焚口右に自然礫が1個残る。 柱穴等 ピットはB混土で新しい。 出土遺物 灰釉片、須恵器環・高台坏、羽釜、土師器壺片、瓦。須恵器 (Fig.33-24) は竈燃焼部内出土で、完形品である。他は破片のみ。 備考 H-8に切られる。年代は10世紀代と推定。

H-10号住居跡 (Fig.14・34、PL.3・11)

位置 X85、Y113グリッド 主軸方位 N-85°-W 形状等 長方形。東西2.83m、南北3.33m、最大壁高0.15m 床面積 (8.14)m<sup>2</sup> 床面 よく縮まる。竈前面に部分的に硬質部がある。 窓 主軸方位N-85°-W。東壁南寄り。壁を長41cm、幅65cmの半円形状に掘り込んで構築される。燃焼部は皿状の掘り込みで、焼土・灰が分布するが、とくに赤化は認められない。左袖部に平瓦が地山に18cmほど打ち込まれて立てられている。遺物は少ない。須恵器高台坏 (Fig.33-26) は、左袖部前面に正立状態で出土。羽釜 (28) は竈前面の床直上に貼りついたように出土。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇の南東コーナーにある。63cm×54cm、深さ12cm。上面に瓦片がまとまる。ピットは2本 (P.1・P.2) で、掘り込みは浅い。 出土遺物 現地調査ではH-12号住居跡との重複完形がしばらく把握できず、一括取り上げ遺物はH-12号住居跡と混在してしまっている。 備考 H-12号住居跡に切られている。年代は10世紀代と推定。

H-11号住居跡 (Fig.14・35、PL.4・11)

位置 X84、Y113グリッド 主軸方位 N-78°-W 形状等 長方形。東西2.62m、南北3.32m、最大壁高0.15m 床面積 (4.1)m<sup>2</sup> 窓 主軸方位N-62°-W。壁を長71cm、幅42cmの半楕円形状に掘り込んで構築される。煙道部は有段。燃焼部は住居外にあり、窓面に瓦を多用している。右壁面の瓦は比較的遺存がよく、主として平瓦を立てて窓面としている。煙道部先端にも、右側に軒丸瓦、左側に平瓦を埋め込んで立て並べている。焚口付近は左側にも平瓦を立てており、焚口の左側窓面を構成する瓦と思われる。燃焼部の焼土・灰の分布が多く、底面も部分的に硬質化している。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、62×50cm、深さ7cm。東側にB混土のピットが2本重複する。上面より須恵器高台坏 (Fig.34-36) 出土。ピットは5本 (P.3～P.7)。いずれも浅い掘り込みで、特に、柱穴のアタリ痕も認められない。P.3・P.5・P.7には焼土粒が混入していた。 出土遺物 灰釉片、須恵器環・高台坏、小形壺、羽釜、土師器壺、瓦、こも石1点。瓦は29点。大片が多く、「千」をもつ文字瓦や、重弁4弁蓮華文の軒丸瓦がある。 備考 H-12号住居跡を切り、H-31号住居跡上に構築さ

れおり、重複する4軒のうち、もっとも新しい住居跡。年代は10世紀代に推定。

#### H-12号住居跡 (Fig.14・34・35、PL. 3・12)

位置 X85、Y113グリッド 主軸方位 南壁でN-83°-W 形状等 長(1.45)mの南壁と南東コーナー付近の壁が遺存するのみ。東壁はH-10号住居埋土中であるが、検出しえていない。土層断面(C-C')でも確認し得なかつた。住居跡西半はH-11号住居跡に切られる。最大壁高0.10m 床面積 不明 床面 H-10号住居跡と同じレベルにある。よく縮まるが特に硬質部はない。 東竈 主軸方位はN-81°-W。燃焼部は52×26cmの皿状の掘り込みで、よく焼けて硬質化している。上面に遺物が集中しており、瓦の遺存状態も燃焼部の背面を構成していたことが窺われる。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、西側過半をB混土ピットで切られている。上面を覆った平瓦もピット掘削時に破壊されている。 南竈 南壁のほぼ中央に位置する。壁を長20cm、幅55cmの半円形状に掘り込んで構築される。煙道上面に自然躰と、約10cm浮いた状態で平瓦大片2枚が検出された。竈前面にはH-11号住居跡の櫛構築材の瓦が立ち並んでおり、H-11号住居跡より古いことが分かる。燃焼部は掘り方調査段階でも検出されなかつた。 出土遺物 現地調査での一括遺物の取り上げはH-10号住居跡出土遺物として採取したが、当住居跡の重複が判明した段階で判断すると、取り上げ遺物の大半は当住居跡埋土中のものと思われる。灰釉片・須恵器環・高台坏・鉢・羽釜、土師器甕、瓦、磨石1点、こも石1点。 備考 H-10号住居跡よりは新しく、H-11号住居跡よりは古い。年代は10世紀代を推定。

#### H-13号住居跡 (Fig.15・35、PL. 4・12)

位置 X84、Y118グリッド 主軸方位 N-87°-W 形状等 長方形。東西2.78m、南北3.55m、最大壁高0.19m。浅く幅狭の周溝が一部に巡る。 床面積 8.9m<sup>2</sup> 床面 全体によく縮まって硬質化している。床面構築土の主体は粘土質。 竈 東壁中央やや南寄り。壁を長60cm、幅56cmの半円形状に掘り込んで構築される。焚口は、右側に軟砂岩切石、左側に平瓦を立てている。燃焼部奥壁寄りに、軟砂岩切石2個が対称の位置に据えられており、右側の砂岩上に羽釜片がまとまっていた。壁面はよく焼けており、特に焚口左右壁面は赤化して硬化している。底面には焼土粒・灰の分布が著しいが、特に焼けて赤化した範囲は認められない。この灰層下にピット(P3、P2)がある。P3は深さ14cmとしっかりした掘り込みで埋土はかなり硬い。P2は皿状の掘り込みで、焼土・灰が混入していた。これを囲うように左袖部から、浅い溝状の掘り込みが伸びている。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は3箇所。1は60×45cm、深さ13センチ、2は53×47cm、深さ28cm、3は80×65cm、深さ25cm。遺物は小片のみで、とくに機物らしい遺物も認められない。ピット1本(P1)で浅い掘り込み。D-86は床下土坑であるが、東接する土坑群1に関連する掘り込みの可能性もある。 出土遺物 灰釉片、須恵器環・高台坏・大甕、羽釜、瓦、こも石1点、鉄滓1点。Fig.35-39の須恵器環(土師質)は南東コーナーの壁外近接地点から出土。 備考 土坑群1との切り合は判然しないが、D-86が土坑群1と関連するならば住居跡の方が新しいことになる。年代は10世紀後半代以降と推定。

#### H-14号住居跡 (Fig.16・36、PL. 4)

位置 X81、Y112グリッド 主軸方位 N-89°-W 形状等 長方形。東西2.37m、南北(2.26)m、最大壁高0.08m 床面積 (5.0) m<sup>2</sup>。 床面 よく縮まるが、特に硬質面はない。 竈 東壁南寄り。壁を長40cm、幅64cmの長方形形状に掘り込んで構築される。左袖部は地山を長30cm掘り残して作られている。焚口部奥寄りの左壁に自然躰が立てられるが、右壁には立てられた石は無く、袖部上面に置かれたような状況である。燃焼部には薄い灰層が分布するが、底面に赤化部分は認められない。 柱穴等 ピットは3本。いずれも浅い掘り込みである。 出土遺物 土師器環・台付焼脚片・大甕1点。台付甕は竈右袖部上の自然躰に貼り付いて、大甕は住居跡中央出土。 備考 北側は調査区外域。年代は土師器環からみて10世紀後半代。

#### H-15号住居跡 (Fig.16・36、PL. 4・12)

位置 X80、Y113グリッド 主軸方位 N-81°-W 形状等 東西長軸の長方形か。西壁は未検出。東西(2.70)m、南北2.86m、最大壁高0.17m。南壁東寄りにステップ状の掘り残し部分がある。 床面積 (7.5) m<sup>2</sup> 床面 よく縮まり、竈前面に部分的に硬質部が認められる。 竈 主軸方位N-81°-W。東壁中央。壁を長53cm、幅80

cmに掘り込んで構築される。左袖部は若干地山を掘り残している。焚口左右に平瓦を埋め込んで立て、煙道左壁際に自然縫を据えている。右側には見られない。上面には平瓦大片が数枚検出された。**柱穴等** ピット1本。床下検出であるが、住居跡周辺にはAs-C混土のピットはほとんど分布しないことから、住居跡に伴うピットであろう。**出土遺物** 灰釉片、須恵器坏・高台坏、土師器甕片、瓦、こも石2点、磨石1点、偏平な自然縫4点。**備考** A区西側では長軸が東西にある長方形住居跡が何軒がある。H-17号住居跡、H-18号住居跡もその可能性があり、B区H-23号住居跡も同様である。年代は10世紀代を推定。

#### H-16号住居跡 (Fig.15・PL.4)

**位置** X78、Y113グリッド **主軸方位** N-50°-W。 **形状等** 不明。東西(1.80)m、南北(2.45)m、最大壁高0.13m **床面積** (1.60)m<sup>2</sup> **床面** 貼床は無く、黄褐色ローム層を床面としている。**柱穴等** コーナーに一部周溝が巡る。**出土遺物** 小細片のみ **備考** 大半が調査区外域にかかり、詳細不明。壁の方位が、他の住居跡とは異なり、竪穴住居跡ではない可能性もある。ただ埋土は他の住居跡と類似し、C混土の土坑とはやや異なる。

#### H-17号住居跡 (Fig.17・36、PL.4・12)

**位置** X79、Y115グリッド **主軸方位** N-89°-W **形状等** 東西に長軸を持つ長方形。東西(2.85)m、南北(2.46)m、最大壁高0.18m **床面積** (6.5)m<sup>2</sup> **床面** 全体的によく縛まり、P5周辺から東側に部分的に硬質面が認められる。**竪穴** 東壁中央に位置するが、大半をW-3号溝に切られる。遺存は煙道部のみで、壁面は被熱でよく縛まる。**柱穴等** 周溝は西壁際を中心で巡る。西壁は周溝より、約28cmほど西に伸びており、周溝埋土の硬さから見てあるいは拡張が行われた可能性が強い。ピットは6本。北壁のピットはB混土。深さはP2-15cm、P3-25としっかりした掘り込みである。他は浅めで、P6はB混土のD-20号土坑底面から検出された。P5は皿状の掘り込みで、竪前面の位置にあり、焼土粒・焼土ブロックが混入する。**出土遺物** 須恵器坏・高台坏、土師器坏・甕、羽釜、瓦の他鶴化著しい器種不明鉄器1点、こも石3点。いずれも小細片のみである。Fig.36-45の須恵器高台坏(土師質)は埋土一括取り上げであるが、内面に「日天」の線刻文字がある。**備考** 年代の推定は難しい。

#### H-18号住居跡 (Fig.18・36、PL.5・12)

**位置** X78、Y117グリッド **主軸方位** N-89°-E **形状等** 東西に長軸をもつ長方形か。東西(2.43)m、南北2.79m、最大壁高0.28m **床面積** (5.6)m<sup>2</sup> **床面** よく縛まっており、竪前面から住居中央にかけて硬質化している。**竪穴** 主軸方位N-88°-E。東壁南寄り。壁を長55cm、幅70cmの半円形状に掘り込んで構築される。右袖部は地山の掘り残し。構築材の遺存悪く、焚口左右に構築材の抜き取り痕。奥壁寄りに、軟砂岩を円錐状に切り出した支脚が据えられている。遺物はこの上からまとめて出土した。**貯蔵穴・柱穴等** 貯蔵穴は竪右脇、南東コーナーにあり、135×65cm、深さ12cm。**出土遺物** 灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器甕、瓦。北東コーナーの壁外にほぼ接して、須恵器高台坏(Fig.36-46)が出土している。羽釜(47)は竪支脚上の一括遺物。**備考** 西側は調査区外域。年代は10世紀代を推定。

#### H-19号住居跡 (Fig.17・36、PL.5・12)

**位置** X78、Y118グリッド **主軸方位** N-86°-E **形状等** 不明。大半が調査区外域にかかる。東西(0.35)m、南北(2.1)m、最大壁高0.30m **床面積** (0.2)m<sup>2</sup> **床面** 検出面が限られるが、よく縛まっており、竪前面が硬質化している。**竪穴** 主軸方位N-86°-E。壁を長54cm、幅76cmの隅丸方形状に掘り込んで構築される。右袖部には平瓦の大片4枚を重ねて立て並べ。奥壁寄りには軟砂岩切石を2個一対で据える。壁面は被熱で硬化するが、底面には顯著な硬化面はない。**出土遺物** 須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦。羽釜(Fig.35-49)は竪上面の大片と右袖部南側の床直大片が接合している。須恵器高台坏(48)は調査区壁面の床上10cmの埋土中出土。**備考** 年代は10世紀代を推定。

#### H-20号住居跡 (Fig.17・36、PL.5)

**位置** X80、Y118グリッド **主軸方位** 不明 **形状等** I-3号井戸跡埋土上面に構築されており、住居壁は確

認することが出来なかった。一部調査区南壁にかかると思われるが、この壁の断面観察でも住居跡壁の立ち上がりは確認することが出来ない。**竈** 燃焼部の掘り込みのみの検出。掘り込みは皿状で、規模は53×36cm、深さ5cm。厚さ3cmが赤化してガチンガチンに硬質化している。東側に軟砂岩切石が据えられており、支脚の可能性がある。**出土遺物** 須恵器壺・高台壺、羽釜、土師器甕、瓦。遺物は、支脚と思われる軟砂岩切石及びその周辺にまとまっている。瓦は、竈構築材として据えられている状況は見られない。**備考** 年代は10世紀代を推定。

#### H-21号住居跡 (Fig.17・PL.5)

**位置** X81、Y114グリッド **主軸方位** N-67°-W **形状等** 方形。東西2.50m、南北2.55m、最大壁高0.10m **床面積** 5.0m<sup>2</sup> **床面** 北側と南側が棚状に一段高くなっている。全体によく締まるが、とくに硬質な面は認められない。**竈** 東壁中央の半円形の掘り込みを竈として調査したが、焼土・灰の分布はほとんどなく、遺物も皆無である。**出土遺物** 土師器甕片、磨石1点、躰14点。躰中3点には煤が付着する。その他、須恵器大甕片3点で、底部片1点、胴部片2点、胴部は外面叩き、内面ナデ調整。**備考** 年代不明。埋土1・2層にはAs-Bが混入し、他の住居跡の埋土と異なる。As-B混土はB区H-22号住居跡にも見られるが、この住居跡では竈がはっきりしている。H-21号は住居跡とする積極的な根拠に欠けるが、とりあえず住居跡として報告しておく。埋土からみて、最も新しい段階の住居跡であろうか。

#### H-22号住居跡 (Fig.19・36・37、PL.5・12)

**位置** X75、Y112グリッド **主軸方位** N-89°-W **形状等** 北半が調査区外域にかかり形状不明。東西2.30m、南北(1.30)m、最大壁高0.10m **床面積** (2.2)m<sup>2</sup> **床面** 地山・C混暗褐色土を埋め戻し、貼床をしているが、全体的に軟弱である。竈前面は薄い硬化面が形成されていた。**竈** **主軸方位** N-89°-W。壁を長40cm、幅55cmの隅丸方形状に掘り込んで構築される。無袖。燃焼部は若干へこみ、厚く灰層の堆積が認められ、竈前面には薄く皮膜状に黒色灰の流出が確認された。**貯蔵穴・柱穴等** 貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーに位置し、南壁から張り出している。規模は50×45cm、深さは22cm。北側に浅い掘り込みを伴う。上面に平瓦が出土しており、貯蔵穴を被覆するような状況である。**出土遺物** 灰釉片、須恵器壺・高台壺、土師器甕、瓦、鉄器（刀子か）。貯蔵穴上の平瓦(Fig.37-55)はほぼ完存。凸面右上に、略文字か記号化不明だが、縦書きで3箇所に線刻がある。この他「井」の線刻文字をもつ平瓦がある。**備考** 年代は10世紀代と推定される。埋土上層にAs-Bの堆積が確認される。

#### H-23号住居跡 (Fig.20・37、PL.6・13)

**位置** X75、Y113グリッド **主軸方位** N-69°-W **形状等** 長軸を東西にもつ長方形。東西3.25m、南北2.27m、最大壁高0.18m **床面積** 6.3m<sup>2</sup> **床面** 住居中央部が窪む掘り方を有し、地山・C混土埋め戻して貼床をしているが全体的に軟弱である。**竈** **主軸方位** N-69°-W。壁を長42cm、幅62cmの隅丸方形状に掘り込んで構築される。無袖。燃焼部は住居跡床面とほぼ同じ高さで、奥壁へ向かって緩やかに傾斜する。また、薄く灰層が形成されていた。**出土遺物** 灰釉碗、須恵器皿・壺・高台壺、羽釜、土師器壺・甕、瓦（軒丸瓦の瓦当部片1点あり）、釘。Fig.37-56は須恵器高台壺、57は外面上半に指頭圧痕をもつ土師器壺で、内面に油煙が付着する。**備考** 年代は10世紀代と推定される。H-24号住居跡を切る。

#### H-24号住居跡 (Fig.20・21・37、PL.6・14)

**位置** X75、Y113グリッド **主軸方位** N-81°-W **形状等** 方形。東西2.86m、南北2.92m、最大壁高 0.30m **床面積** 7.2m<sup>2</sup> **床面** 地山・C混暗褐色土を埋め戻して貼床しており、全体的に締まっている。**竈** **主軸方位** N-81°-W。壁を長91cm、幅75cmの半楕円形状に掘り込んで構築される。煙道部幅31cm。燃焼部は住居跡床面よりわずかにへこみ、煙道部へ向けて緩やかに傾斜し、奥壁は急に立ち上がる。また、底面は被熱による赤化が認められ、燃焼部から煙道部にかけて灰層の堆積が確認された。**周溝・柱穴等** 東壁と西壁下の一部に周溝が巡る。ピットは4本。P 4は南壁東寄りにあるステップ状の掘り込み。P 3は南西コーナーにあり、規模は61×40cm、深さ15cmの掘り込みで貯蔵穴の可能性もある。**出土遺物** 灰釉片、須恵器壺・高台壺・壺、羽釜片、土師器壺・甕、瓦、こも石2点、不明鉄器1点。土師器壺 (Fig.37-62) は外面に指頭圧痕をもつもので、油煙の

付着が著しい。63は台付の小型壺。64は把手付の須恵器壺。瓦には「十」、「キ」の線刻文字をもつ破片がある。 備考 年代は10世紀代と推定。H-23号住居跡に切られる。

H-25号住居跡 (Fig.19・38, PL. 3・13)

位置 X76, Y119グリッド 主軸方位 N-80°-W 形状等 住居跡の大半が調査区外域にかかる。東西(1.25)m、南北3.93m、最大壁高0.38m 床面積 (1.5) m<sup>2</sup> 床面 挖り方はほとんど認められず、地山をそのまま床としており、全体的によく縮まっている。北東部に被熱により焼土化する箇所がある。 周溝等 深さ3~5cm。全周か。 出土遺物 須恵器壺・高台壺・壺、羽釜、櫃、土師器壺・壺、瓦、こも石1点、不明鉄器1点。遺物は北西コーナー付近にまとめて出土している。土師器壺は外面に指痕压痕をもつ破片、土師器壺はコの字形状の口縁片。櫃2個体はいずれも下半完存、上半欠損という特徴的な破損状況を示している。 備考 年代は10世紀代と推定。埋土上層にAs-Bの堆積が認められる。

H-26号住居跡 (Fig.22・38, PL. 6・14)

位置 X79, Y116グリッド 主軸方位 N-75°-E 形状等 方形。東西2.90m、南北2.93m、最大壁高0.28m 床面積 7.0m<sup>2</sup> 床面 全体によく縮まるが、特に硬質な面はない。 窯 主軸方位 N-82°-W。南東コーナー。構築材抜き取り痕がそれぞれある。右袖部には軟砂岩切石が遺存する。壁、底面は被熱でよく縮まるが、特に赤化した部分はない。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は、竈右脇にあり、80×55cm、深さ18cm。貯蔵穴2は65×55cm、深さ32cmで、掘り方調査時に検出。南西隅に床下土坑125×90cm、深さ18cm。北東隅を除き周溝が巡る。南北に間仕切り溝。 出土遺物 灰釉片、須恵器壺・高台壺、土師器壺、瓦。 備考 年代は9世紀後半~10世紀を推定。

H-27号住居跡 (Fig.8・10・38, PL. 7)

位置 X88, Y112グリッド 主軸方位 N-88°-W 形状等 長方形。東西2.64m、南北3.08m、最大壁高0.25m。東側に東西0.75m、南北2.65m、深さ0.13mの棚状の施設が敷設される。 床面積 6.7m<sup>2</sup> 床面 全体に良く縮まり、とくに竈前面から住居跡中央にかけて硬質化している。 窯 主軸方位 N-88°-W。東壁南寄り。壁を長115cm、幅55cmの長楕円形状に掘り込んで構築される。煙道は2箇所で段をもつ。左右袖部に軟砂岩切石を据えている。ピットは5本。P 2は竈前面の皿状の掘り込み。竈周辺を除き周溝が巡る。 出土遺物 灰釉片、須恵器壺・高台壺・羽釜、瓦。 備考 H-8号住居跡に切られる。年代は9世紀後半~10世紀を推定。

H-28号住居跡 (Fig.8・10・38, PL. 7)

位置 X88, Y113グリッド 主軸方位 N-83°-W 形状等 長方形。東西3.10m、南北3.80m、最大壁高0.17m 床面積 9.5m<sup>2</sup> 床面 全体によく縮まり、とくに竈前面から住居跡中央にかけて硬質化。 窯 主軸方位 N-83°-W。東壁南寄り。壁を長71cm、幅86cmの卵丸形状に掘り込んで構築される。燃焼部中央に恐らく支脚抜き取り痕、奥壁寄りに軟砂岩切石と板状の自然縫を据えている。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、50×43cm、深さ10cm。ピットは3箇所。P 3は貯蔵穴の可能がある。床下土坑2箇所。竈周辺を除き、周溝が巡る。 出土遺物 灰釉片、須恵器壺・高台壺・羽釜、土師器壺、瓦。 備考 年代は10世紀後半代を推定。

H-29号住居跡 (Fig.18・39)

位置 X87, Y118グリッド 形状等 大半がW-1・6号溝、土坑群2に切られて、北東コーナー部分と調査区際の西壁の一部及び竈付近の遺物群が依存するのみである。 出土遺物 灰釉片、須恵器壺・高台壺・羽釜、瓦。 備考 灰釉陶の年代からみて10世紀前半代を推定。

H-30号住居跡 (Fig.13, PL. 3)

位置 X87, Y118グリッド 主軸方位 N-83°-W 形状等 長方形。東西2.18m、南北(1.88)m、最大壁高0.08m 床面積 (3.2) m<sup>2</sup> 床面 よく縮まるがとくに硬質部はない。 窯 H-7号住居跡に破壊か。 貯蔵穴・柱穴等 貯蔵穴は南東コーナー。65×53cm、深さ20cm。ピットは6本。 備考 遺物は小細片のみ。年代不明。

#### H-31号住居跡 (Fig.14, PL. 3)

位置 X84、Y113グリッド 主軸方位 N-89°-W 形状等 長方形。東西1.60m、南北2.32m、最大壁高0.16m 床面積 3.9m<sup>2</sup> 床面 よく縋まる。竪 H-11号住居跡に破壊。貯蔵穴 南東コーナー 67×56cm、深さ15cm。備考 遺物は小細片のみ。年代不明。

### (2) 溝 跡

#### W-1号溝跡 (Fig.23, PL. 7)

位置 X87、Y116～118グリッド 走向方向 N-6°-E 断面形状 箱型～U字形。形状等 現長7.8m、上幅1.05～2.34m、下幅0.7～1.75m。南に向って溝底面のレベルを下げ、それにともなって、上幅・下幅も広がっている。重複 H-5号住居跡を切る。出土遺物 須恵器等。備考 As-Bを主体とする埋土。

#### W-2号溝跡 (Fig.23)

位置 X79・80、Y114グリッド 走向方向 N-87°-W 断面形状 U字形。形状等 現長5.0m、上幅0.15～0.5m、下幅0.10～0.38m、深さ0.10m。溝底面のレベル差はほとんどない。重複 W-3号溝、H-21号住居跡と重複するが、新旧不明。W-3号溝とは一連の溝と思われる。出土遺物 なし。備考 As-Bを主体とする埋土。

#### W-3号溝跡 (Fig.23, PL. 7)

位置 X79、Y114～118グリッド 走向方向 N-5°-E 断面形状 U字形。形状等 現長17.3m、上幅0.65～0.76m、下幅0.45～0.53m。溝底面は北から南へ下り、比高差は20cmを測る。重複 H-17・18号住居跡、W-5号溝跡を切る。出土遺物 須恵器等混入遺物。備考 As-Bを主体とする埋土。

#### W-4号溝跡 (Fig.5)

位置 X75、Y115グリッド 走向方向 N-89°-E 断面形状 U字形。形状等 №16遺跡から連続する溝跡の一部で、上端0.80m、下幅0.49m、深さ0.20m。重複・出土遺物 なし。備考 W-5号溝跡と同じ遺構か。

#### W-5号溝跡 (Fig.23, PL. 7)

位置 X78・79、Y115グリッド 走向方向 N-85°-W 断面形状 U字形。形状等 現長4.2m、上幅0.45～0.85m、下幅0.38～0.49m、深さ0.17m。溝底面は比高差15cmで東に向って下る。重複 H-17号住居跡の床下に検出され、W-3号溝とD-35号土坑に切られている。出土遺物 須恵器等。備考 As-C混土。

#### W-6号溝跡 (Fig.23, PL. 7)

位置 X87-89、Y118グリッド 走向方向 N-82°-W 断面形状 U字形。形状等 現長6.4m、上幅0.55m、下幅0.29m、深さ0.20m。溝底面のレベル差はほとんどない。重複 H-29号住居跡、D-52・53号土坑を切る。出土遺物 なし。備考 As-Bを主体とする埋土。W-1号溝跡との切り合い不明。

### (3) 土 坑 (Fig.24～29・39, PL. 7・8・14)

現地調査で、土坑番号を付した遺構は97基あるが、B区の2基(D-23・24)は№16遺跡で報告しており、D-69は没道構としたため、総数94基となった。このうち、D-51・55・73・88・94の4基は堅穴住居跡の貯蔵穴と判断した。D-71はH-5号住居跡の竪前面のピットと思われる土坑である。これらの遺構は住居跡に図示して、個別には取り上げていない。住居跡床下検出の土坑は住居跡内に図示した上、個別に図示した。

埋土から見ると、As-C混土の土坑 (Fig.24・25のD-86まで) と As-B混土 (Fig.25のD-12以下) に分類される。形状は長方形・方形・円形である。C混土の土坑は、住居跡床下のものは大半が円形であるが、単独のものでは長方形が多い。D-4・15・19・35・36・37・70などで、D-19は舟形状を呈し、D-15は長軸3.78mと規模が大きい。D-85はI-4号井戸跡上面に構築された堅穴状の土坑である。土坑群1 (D-74～84) は円形土坑の重複である。出土遺物は、D-19で灰釉碗・須恵器高台杯の完形品が出土して注目される。9世紀末～10

世紀前半の灰釉と思われる (Fig.39-85・86)。D-85では須恵器壺・高台壺、羽釜、瓦などが出土している (Fig.39-91・92)。土坑群からは、須恵器壺・高台壺などが出土している (Fig.39-88)。

B混土の土坑では、長方形の土坑がA区では南西部に、円形は対称的に北東部に比較的まとまっている。D-12・14は規模が大きく、特にD-14は、柱穴をもつ上屋構造で、底面に炭化したムシロ敷きが検出されるなど、地下式倉庫の可能性が強い。土坑群2 (D-52・53・56・59～67) は、W-1・6号溝跡と重複する土坑群で、遺構間の新旧は必ずしも明確ではない。D-53・56・61・62はAs-Bを顕著に含まない。D-61・62はH-29号住居跡の床下土坑である。出土遺物には古代の遺物の混入もあるが、D-14からは青磁細片、涙美系壺片、かわらけ片、D-40からは龍泉窯系の船載青磁片 (Fig.39-93) が出土している。

#### (4) 土 壤 墓 (Fig.29, PL. 8)

W-6号溝跡上面構築のDB-1は石組み、B区のDB-2は大石を据え、いずれも木炭の分布が顕著で、焼骨微細片が含まれる。D-5から4枚の古錢が誘導した状態で出土しており、土塙墓と考えられる。

#### (5) 井 戸 跡

I-1号井戸跡 (Fig.30・39, PL. 8・14)

位置 X83、Y114グリッド 形状 円形。断面漏斗状。上幅4.53×4.35m、直掘り部径2.0m、深さ (3.6) m。出土遺物 青磁細片、常滑系大壺片、古錢 (元豊通宝) のほか、古代遺物混入。備考 AS-B主体の埋土。足掛けあり。

I-2号井戸跡 (Fig.30)

位置 X82、Y116グリッド 形状 円形。上幅1.10×0.72m、深さ (2.7) m。備考 AS-B主体の埋土。

I-3号井戸跡 (Fig.30, PL. 9)

位置 X80、Y118グリッド 形状 円形。断面漏斗状。上幅3.85×3.50m、直掘り部径1.87m、深さ (3.30) m。出土遺物 須恵器蓋・壺・高盤・瓶・甕、土師器暗文壺・壺・甕、磨石1点、凹石1点、鐵滓1点。平安期以降の遺物は少量。X-1号跡と接合するものがある。備考 As-C混土主体。

I-4号井戸跡 (Fig.31・41-45, PL. 9・15-17)

位置 X88、Y115グリッド 形状等 上幅2.80×2.60m、下幅2.50×2.44m、深さ0.48mの隅丸方形の掘り方を中心に、径1.0mの井戸本体が直掘りされる。掘り方と井戸本体との境は部分的に面取りされ、瓦積みはこの上に行われている。瓦積みは、遺存の良い北側になると12枚前後、高さ約50cmを測る。南側や東側では遺存が悪く、とくに東側では瓦はほとんど残っていない。出土遺物 灰釉片、須恵器壺・高台壺、羽釜、土師器甕、瓦。瓦は軒丸瓦7点、軒先瓦1点、男瓦部44点、平瓦240点 (凸面格子叩き8点、繩叩き・回転162点、平行叩き9点、ナデ調整67点、ほかに小細片)。このうち、丸瓦に押印1点、平瓦に5点の線刻文字の「?舎」「十」(2点)「里」「?母」がある。備考 As-C混土主体。

#### (6) そ の 他

X-1号跡 (Fig.32・40・41, PL. 9・10・14)

位置 X79-84、Y115-119グリッド 形状等 東西17.2m、南北 (15.0) mの範囲を、ローム上面まで掘り込んだ遺構で、最大壁高は北壁にあって0.48mを計る。西側や北東側には平面不整形ないし長方形で、断面圓状の浅い掘り込みや、ピット状の落ち込みが40ヶ所ほどあるが、いずれも10cm内外の浅いもので、並びも不規則である。中央北寄りに、I-2号井戸跡に過半が破壊された躑躅群がある。出土遺物 須恵器蓋・壺・高台壺・盤・長頸瓶・甕、土師器暗文壺・有稜壺・甕など 8世紀代の遺物が主体を占め、平安期以降の遺物はわずかである。備考 遺構の性格不明。採土跡の可能性もある。

## VI まとめ

今回の調査では、奈良・平安時代・中近世に亘る遺構を確認した。この中で主体を占めるのは、平安時代の遺構であり、ついで中世である。遺物をみると、礪文時代では中期後半の土器片が主体を占め、前期後半が若干含まれる。この他、打製石斧片が採取されている。量的にはわずかであり、摩滅しているものが多い。遺物の主体も奈良・平安時代であり、中世では遺構数に比して遺物の量はわずかであるが、龍泉系や同安系の舶載青磁の出土は注目される。

本遺跡の奈良・平安時代の遺構を、元総社蒼海遺跡群における従来の時期区分に従って分類すると、II期（7世紀後半～10世紀初頭）とIII期（10世紀前半～）である。II期の遺構は、性格不明のX-1号跡とI-3号井戸跡であり、概ね8世紀代に位置づけられる。この両遺構出土の遺物構成はほぼ同様で、かつ接合関係をもち、同一個体と思われる遺物はさらに多い。遺構の性格が異なるため、同時共存とは言えないが、埋土の状況から見て、近接した時期が推定される。

ここで、今回同時並行で調査を行った元総社蒼海遺跡群（15）・（16）の成果を合わせ、若干の検討を行ってまとめたい。元総社蒼海遺跡群（18）の31軒の竪穴住居跡は、時期不明を除けば、概ねIII期に属し、隣接する蒼海遺跡群（15）・（16）のように、I期あるいはII期の住居跡の分布を見ない。この点からみると、（15）A区から（18）A・B区にかけて分布する住居跡群がIII期住居跡群の一つの中心部を形成していることが予想される。一方、（16）では、中央部に住居跡分布の空白地区があり、この西側にIII期の住居跡の分布が見られるようになる。この西側の地区が、もう一つの住居跡群を形成するのか、あるいは空白地区を巡って蒼海遺跡群（15）・（16）・（18）のIII期住居跡群が展開するのかは、今回得られた資料だけでは判断できない。いずれにしろ集落の動態を考えるうえでは、このIII期の細分が課題となるよう思われる。



Fig. 6 元総社蒼海遺跡群（15）・（16）・（18）の竪穴住居跡時期別分布図

### 参考文献

- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社小見遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社小見III遺跡 元総社草作V遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社小見IV遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社小見内VII遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2004年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社小見内IX遺跡 総社開闢明神北V遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2005年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社蒼海遺跡群（4）」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2006年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社蒼海遺跡群（5）」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2006年
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社蒼海遺跡群（15）」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2008年2月刊行予定
- 前橋市埋蔵文化財発掘調査団「元総社蒼海遺跡群（16）」前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2008年2月刊行予定

Tab. 2 積土穴住跡一覧表

( ) 現状値

遺構名	位置	平面形	規模(m) 東西幅 × 南北深	壁高 (m)	床面積 (m <sup>2</sup> )	主軸方位	施設			出土遺物・備考
							竪	横	的	
H-1 X89-Y112	長方形	2.67	3.9	0.16	9.0	N 86°W	東壁南寄り	5	南東コナー	灰釉陶、环、甕、羽笛、瓦
H-2 X89-Y114	長方形	(2.83)	3.85	0.31	(4.7)	N 83°W	東壁南寄り	1	南東コナー	环、甕、羽笛
H-3 X88-Y114	長方形	3.89	3.45	0.32	6.9	N 83°W	東壁南寄り	5	—	灰釉、甕、环、羽笛、瓦
H-4 X87-Y114	長方形	2.43	3.37	0.12	7.9	N 82°W	東壁南寄り	2	—	灰釉、甕、环、羽笛、瓦
H-5 X87-Y117	長方形	(1.87)	3.63	0.37	(5.6)	N 82°W	W-H-1と重複	3	W-H-1と重複	—
H-6 X86-Y116	長方形	2.46	2.77	0.15	6.3	N 84°W	東壁南寄り	3	南東コナー	灰釉、甕、环、羽笛、瓦
H-7 X86-Y117	長方形	4.16	3.82	0.14	(7.1)	N 83°W	東壁南寄り	7	—	灰釉、甕、环、羽笛、瓦
H-8 X86-Y113	長方形	3.04	3.95	0.10	11.3	N 83°W	東壁南寄り	—	—	遺物はほとんどない
H-9 X85-Y114	長方形	2.97	2.72	0.12	7.3	N 82°W	東壁中央	—	灰釉、环、羽笛、瓦	
H-10 X85-Y113	長方形	2.83	3.33	0.15	(4.4)	N 85°W	東壁南寄り	2	南東コナー	环、羽笛、瓦
H-11 X84-Y113	長方形	2.62	3.32	0.15	(4.1)	N 78°W	東壁南寄り	5	南東コナー	环、羽笛、瓦
H-12 X85-Y113	?	(0.45)	2	0.10	2	N 83°W	東壁中央?	—	南東コナー	环、羽笛、瓦
H-13 X84-Y118	長方形	2.78	3.35	0.19	8.9	N 87°E	東壁南寄り	3	3ヶ所	一部灰釉、环、羽笛、甕、瓦、こも石
H-14 X81-Y112	長方形	2.57	(2.26)	0.08	5.9	N 89°W	東壁南寄り	3	—	环、塑脚片、台石
H-15 X80-Y113	長方形	(2.79)	2.86	0.17	(5.7)	N 81°W	東壁南寄り	1	—	灰釉、环、瓦、こも石、台石
H-16 X78-Y113	?	(1.80)	(2.45)	0.13	(6.6)	N 50°W	調査区外?	—	—	小翻砂のみ
H-17 X79-Y115	長方形	(2.85)	2.46	0.18	(6.5)	N 89°E	東壁南寄り	6	W-H-1と重複	一部环、羽笛、瓦、不明鐵器、こも石
H-18 X78-Y117	長方形	(2.43)	2.79	0.28	(5.6)	N 89°E	東壁南寄り	—	南東コナー	灰釉、环、羽笛、瓦
H-19 X78-Y118	?	(0.35)	(2.1)	0.30	(2.2)	N 86°E	東壁南寄り	—	—	环、羽笛、瓦
H-20 X80-Y118	—	—	—	—	—	—	カマドの跡検出	—	—	环、瓦
H-21 X81-Y114	方 形	2.50	2.55	0.10	5.0	N 67°W	?	—	—	磨石、保付着磚
H-22 X75-Y112	?	2	(2.10)	0.10	(2.2)	N 89°W	東壁南寄り	—	南東コナー	灰釉、环、瓦、鐵器
H-23 X75-Y113	長方形	3.25	2.27	0.18	6.3	N 69°W	東壁中央	—	—	灰釉、环、瓦、鐵器?
H-24 X75-Y113	方 形	2.86	2.92	0.30	7.2	N 81°E	東壁南寄り	3	—	一部灰釉、甕、环、甕、瓦、こも石
H-25 X76-Y119	?	(2.15)	3.93	0.38	(1.5)	N 89°E	調査区外	—	—	部灰釉、环、甕、瓦、鐵器、瓦
H-26 X79-Y116	方 形	2.99	2.93	0.28	7.0	N 75°E	南壁コナー	—	—	部灰釉、环、甕、羽笛、瓦
H-27 X88-Y112	長方形	2.64	3.08	0.25	6.7	N 88°W	東壁南寄り	5	南東コナー	全周灰釉、环、羽笛、瓦
H-28 X88-Y113	長方形	3.10	3.30	0.17	9.5	N 83°W	東壁南寄り	3	南東コナー	全周灰釉、环、羽笛、瓦
H-29 X87-Y118	—	—	—	—	—	W-H-1と重複	—	—	—	—
H-30 X86-Y117	長方形	2.18	(1.88)	0.08	(3.2)	N 83°W	W-H-2と重複	6	南東コナー	一部遺物はほとんどない
H-31 X84-Y113	長方形	1.60	2.32	0.16	3.9	N 89°W	H-11と重複	—	南東コナー	遺物はほとんどない

Tab. 3 溝跡一覧表

覆土：B：混土 C：C混土

遺構名	位置	規 模 (m) 上幅 下幅 深	走 向 方 位	断面形	覆 土	溝跡標高	道 物 ・ 備 考		
							土	石	木
W-1 X87-Y116~118	—	2.34	1.75	0.58	N 6°W	箱形	B	121.81	土坑群と重複 須恵器等出土遺物
W-2 X79~80-Y114	0.50	0.38	0.10	19.8°W	U字形	B	[122.01~122.06]	土坑群と重複 通路なし	—
W-3 X79-Y114~118	0.76	0.53	0.31	N 5°E	U字形	B	121.83~122.02	北から南へ下る 須恵器等出土遺物	—
W-4 X75-Y115	0.80	0.55	0.20	N 89°E	U字形	C	—	—	No16号の隣接部分 遺物なし
W-5 X78~79-Y115	0.80	0.49	0.17	N 85°W	U字形	C	121.86~122.01	東へ下る 須恵器等	—
W-6 X87~89-Y118	0.55	0.29	0.20	N 82°W	—	B	121.90~121.91	遺物なし	—

Tab. 4 土坑・墓坑・戸井一覧表

【】：復元図 ( )：現状図 塗土：B：混土 C：C混土

遺構名	位 置	規 模 (m) 上 幅 中 幅 下 幅	土 壤	石	木	道 物	規 模 (m) 上 幅 中 幅 下 幅			塗 土	備 考	
							上 幅	中 幅	下 幅			
D-1 X87-Y112	円 形	0.57	0.48	0.38	0.17	B	D-25 X80-Y118	円 形	0.87	0.79	0.16	B-1~3西壁
D-2 X86-Y112	円 形	1.02	—	0.89	0.12	B	D-26 X83-Y116	方 形	2.45~0.75	2.28~0.82	0.27~0.2	B
D-3 X85-Y112	方 形	1.12	—	1.03	0.18~0.37	B	D-27 X82-Y116	方 形	2.35~0.79	2.41~0.85	0.12~0.1	B
D-4 X84-Y112	直線約9.0m	0.90	—	0.80	0.15~0.35	C	D-28 X81-Y116	方 形	1.78~0.75	1.78~0.82	0.11~0.1	C
D-5 X86-Y116	方 形	1.00	—	0.89	0.20~0.35	C	D-29 X84-Y114	方 形	1.67~0.57	0.96~0.84	0.24~0.21	C
D-6 X85-Y116	方 形	0.85~0.77	0.70~0.60	0.65~0.55	0.25~0.35	B	D-30 X75-Y112	方 形	(3.96)~1.46	(3.55)~3.44	0.17~0.17	B-2~23壁中
D-7 X85-Y116	方 形	—	—	—	—	B	D-31 X81-Y112	方 形	(1.53)~0.80	(1.45)~0.80	0.22~0.22	B-14~16壁
D-8 X85-Y116	方 形	1.20~0.66	1.09~0.54	0.11~0.33	—	B	D-32 X83-Y112	方 形	2.77~0.72	2.65~0.82	0.02~0.02	B
D-9 X86-Y112	方 形	0.76~0.56	0.63~0.46	0.36~0.36	C	高台側	D-33 X80-Y114	方 形	1.67~0.37	0.97~0.72	0.22~0.22	C
D-10 X85-Y116	方 形	0.79~0.63	0.62~0.36	0.19~0.39	C	—	D-34 X86-Y114	方 形	1.35~1.02	1.24~0.81	0.35~0.35	C
D-11 X85-Y115	方 形	0.97~0.82	0.86~0.81	0.17~0.17	B	—	D-35 X79-Y115	方 形	(1.75)~0.93	(1.65)~0.87	0.16~0.16	C
D-12 X85-Y115	方 形	2.58~0.14	2.50~0.14	0.20~0.20	B	—	D-36 X80-Y115	方 形	1.33~0.78	1.21~0.54	0.18~0.18	C
D-13 X84-Y113	方 形	—	—	—	—	—	D-37 X83-Y113	方 形	1.08~0.30	1.03~0.31	0.16~0.16	C
D-14 X85-Y113	方 形	2.88~2.53	2.70~2.39	0.30~0.30	B	陶器、かわらけ	D-38 X84-Y118	方 形	0.76~0.70	0.67~0.57	0.16~0.16	B-13壁中
D-15 X85-Y113	方 形	3.79~1.34	3.67~1.17	0.29~0.29	C	—	D-39 X85-Y112	方 形	(1.00)~0.65	(1.03)~0.49	0.16~0.16	B
D-16 X85-Y116	方 形	2.51~0.90	2.47~0.91	0.25~0.25	B	—	D-40 X87-Y112	方 形	0.93	0.85	0.08~0.08	B
D-17 X86-Y110	方 形	3.45~1.20	2.41~1.16	0.22~0.22	B	—	D-41 X87-Y112	方 形	0.81~0.66	0.72~0.50	0.05~0.05	B
D-18 X85-Y116	方 形	3.60~0.45	3.40~0.29	0.20~0.20	B	井筒形	D-42 X85-Y112	方 形	1.62~1.38	1.54~1.24	0.10~0.10	B
D-19 X85-Y116	方 形	3.60~0.45	3.40~0.29	0.20~0.20	B	—	D-43 X89-Y112	方 形	1.07~0.80	1.07~0.60	0.05~0.05	B
D-20 X85-Y116	方 形	2.85~0.9	2.45~0.77	0.20~0.20	B	17壁端	D-44 X84-Y116	方 形	1.77~0.70	1.67~0.50	0.15~0.15	B
D-21 X85-Y117	方 形	1.83~0.77	1.73~0.64	0.15~0.15	B	18壁上中	D-45 X85-Y116	方 形	0.73~0.73	0.73~0.73	0.06~0.06	B
D-22 X76-Y114	方 形	0.63~0.45	0.63~0.40	0.04~0.04	C	—	D-46 X88-Y112	方 形	1.10~0.47	0.97~0.84	0.14~0.14	C
D-23 —	—	—	—	—	—	—	D-47 X87-Y114	方 形	0.96~0.77	0.95~0.48	0.23~0.23	C
D-24 —	—	—	—	—	—	—	D-48 X86-Y114	方 形	1.13~0.96	0.92~0.81	0.27~0.27	C

通過名	位置	平面形	規格(m)			覆土	備考
			上幅	下幅	幅		
D-40	X86-Y112	楕円形	0.50×0.41	0.29×0.32	0.17	C H-1 地盤	D-77 X86-Y116 楕円形 2.60×1.31 1.29×0.95 0.41 C 土坑群①
D-40	X86-Y113	楕円形	0.50×0.37	0.29×0.31	0.16	C H-1 地盤	D-78 X86-Y116 楕円形 1.91×0.82 1.26×0.81 0.42 C 土坑群②
D-23	X86-Y112	楕円形	0.80×0.41	0.73×0.32	0.20	C H-6 地盤	D-79 X86-Y117 楕円形 1.91×0.82 1.26×0.81 0.42 C 土坑群③
D-22	X86-Y112	長方形	0.44×0.63	0.20×0.52	0.20	B W-6 地盤	D-80 X86-Y117 楕円形 0.48×0.49 0.26×0.27 0.15 C 土坑群④
D-33	X86-Y116	楕円形	1.20×0.53	1.07×0.48	0.23	C W-6 地盤	D-81 X86-Y117 楕円形 0.28×1.38 0.28×0.78 0.22 C 土坑群⑤
D-34	X86-Y114	楕円形	0.49×0.53	0.29×0.36	0.20	C H-28P 露天	D-82 X86-Y117 楕円形 0.46×0.37 0.29 0.37 C 土坑群⑥
D-25	X86-Y114	楕円形	0.53×0.42	0.35×0.28	0.24	C H-28P 露天	D-83 X86-Y117 楕円形 1.03×0.89 0.74×0.56 0.40 C 土坑群⑦
D-56	X86-Y118	長方形	2.26×0.79	2.06×0.60	0.24	C W-1 地盤	D-84 X86-Y117 楕円形 1.34×0.90 0.91×0.64 0.40 C 土坑群⑧
D-37	X86-Y112	楕円形	0.98	0.70	0.16	C H-28P P <sub>1</sub>	D-85 X86-Y115 角形 2.72×2.16 2.5×2.20 0.16 C 土坑群⑨,羽林
D-58	X86-Y113	楕円形	0.91	0.73×0.55	0.19	C 所蔵品入	D-86 X86-Y114 楕円形 1.21×0.76 1.01×0.57 0.07 C H-13K下
D-39	X86-Y118	長方形	2.13×0.46	1.96×0.31	0.20	B W-6 地盤	D-87 X86-Y114 楕円形 1.00×0.61 0.91×0.35 0.12 C H-3 地盤
D-40	X86-Y118	長方形	1.08×0.41	0.86×0.29	0.24	B 土坑群⑩	D-88 X86-Y117 楕円形 0.45×0.36 0.34×0.29 0.20 C H-20の縫穴
D-41	X86-Y118	楕円形	1.20×0.92	0.98×0.56	0.40	C H-28P 露天	D-89 X86-Y117 楕円形 1.30×0.90 1.07×0.70 0.28 B H-7 地盤⑪
D-42	X86-Y118	楕円形	0.98×0.26	0.53×0.26	0.30	C H-1 地盤	D-90 X86-Y117 楕円形 1.06×0.62 0.90×0.50 0.20 B H-7 地盤⑫
D-43	X86-Y118	楕円形	1.17×0.44	0.76×0.22	0.40	C H-2 地盤	D-91 X86-Y117 楕円形 0.98×0.62 0.64×0.47 0.14 C H-28P 露天
D-44	X86-Y118	楕円形	0.97×0.32	0.52×0.22	0.30	C H-2 地盤	D-92 X86-Y117 楕円形 1.07×0.70 0.84×0.53 0.17 C H-2 地盤
D-45	X86-Y117	楕円形	0.87×0.30	0.53×0.20	0.30	C H-6 地盤	D-93 X86-Y114 楕円形 0.49×0.38 0.26×0.18 0.10 C H-2 地盤
D-46	X86-Y116	楕円形	0.85×0.64	0.54×0.36	0.25	C H-2 地盤	D-94 X86-Y114 楕円形 0.76×0.54 0.50×0.37 0.10 C H-2 地盤
D-42	X86-Y116	楕円形	0.44	0.27	0.40	C H-2 地盤	D-95 X86-Y112 楕円形 0.88×0.48 0.50×0.43 0.07 C H-2 地盤
D-48	X86-Y116	楕円形	0.78×0.55	0.53×0.30	0.20	C H-2 地盤	D-96 X86-Y112 楕円形 0.75×0.72 0.60×0.53 0.20 C H-2 地盤
D-49							D-97 X86-Y114 楕円形 1.03×0.94 0.83×0.78 0.24 C H-2 地盤
							※参考
D-29	X86-Y116	長方形	1.03×0.76	0.87×0.56	0.19	C	DB-1 X88-Y118 楕円形 1.07×0.92 0.87×0.78 0.24 B ? 土坑群
D-21	X86-Y117	楕円形	0.80×0.67	0.60×0.44	0.11	C H-5 の P <sub>1</sub>	DB-2 X86-Y113 楕円形 1.00×0.77 0.99×0.64 0.15 B ?
D-22	X86-Y116	長方形	0.77×0.66	0.63×0.52	0.11	C H-4 の南	
D-73	X86-Y116	楕円形	0.77×0.53	0.53×0.43	0.20	C H-6 地盤	
D-74	X86-Y118	楕円形	1.08×1.08	0.83×0.73	0.25	C 土坑群①	1-1 X86-Y118 楕円形 3.85×3.5 [1.87×1.82] (3.3) C 道物多い
D-75	X86-Y118	楕円形	1.33×1.08	0.70×0.84	0.17	C 土坑群①	1-4 X86-Y115 楕円形 2.80×2.60 [0.90×0.8] (3.1) C 道物多く
D-76	X86-Y118	楕円形	0.65×0.55	0.50×0.33	0.11	C 土坑群①	1-X [X89-Y84] D-01-09 [17.2×0.15.0] (16.8×14.8) 0.48 C 道物多い

Tab.5 ピット一覧表

通過名	位置	平面形	深さ(cm)	直面標高	覆土	遺物・備考	通過名	位置	平面形	深さ(cm)	直面標高	覆土	遺物・備考
P-1	X87-Y117	円	14	122.11	B	土坑群②	P-42	X87-Y113	円	14	122.14	B	
P-2	X89-Y114	円	14	123.33	B		P-43	X87-Y113	円	27	122.03	B	
P-3	X89-Y114	円	31	122.20	B		P-44	X87-Y113	円	23	122.08	B	
P-4	X88-Y114	楕円	26	121.19	B		P-45	X87-Y113	円	13	122.16	B	
P-5	X89-Y114	円	17	123.39	B		P-46	X87-Y113	円	7	122.19	B	
P-6	X89-Y111	円	25	122.31	B		P-47	X86-Y114	円	17	122.11	C	
P-7	X89-Y114	円	6	122.50	B		P-48	X86-Y114	円	14	122.14	C	
P-8	X89-Y112	円	7	122.42	B		P-49	X86-Y114	円	13	122.15	C	
P-9	X88-Y112	円	9	122.44	B		P-50	X86-Y114	円	23	122.06	B	
P-10	X88-Y112	円	8	122.44	C		P-51	X86-Y114	楕円	15	122.15	B	
P-11	X88-Y112	円	16	122.37	B		P-52	X86-Y114	円	15	122.15	B	
P-12	X89-Y112	円	27	122.26	B		P-53	X86-Y114	円	41	121.87	B	ピット2本
P-13	X88-Y113	円	31	123.23	B		P-54	X87-Y114	円	12	122.14	B	
P-14	X88-Y113	楕円	7	?	B -2 内		P-55	X87-Y114	円	4	122.19	B	H-4 内
P-15	X88-Y113	円	35	122.14	B	27内	P-56	X87-Y114	円	27	121.95	B	H-4 内
P-16	X88-Y113	円	8	122.13	B	28内、下にP-82	P-57	X87-Y114	円	10	122.12	B	H-4 内
P-17	X88-Y113	円	24	121.21	B	28内、F-C-P-89	P-58	X87-Y114	円	30	121.90	B	H-4 内
P-18	X88-Y113	円	8	122.11	B	28内、F-C-P-85	P-59	X87-Y114	円	12	122.08	B	H-4 内
P-19	X88-Y113	円	13	122.25	C	H-28のP <sub>1</sub>	P-60	X87-Y114	円	28	121.95	B	H-4 内
P-20	X87-Y114	円	21	122.12	B		P-61	X87-Y114	円	10	122.13	B	
P-21	X88-Y114	円	29	122.09	B		P-62	X89-Y112	円	7	122.39	C	H-1 の P <sub>1</sub>
P-22	X87-Y114	円	14	122.21	B		P-63	X89-Y112	円	9	122.37	C	H-1 の P <sub>1</sub>
P-23	X87-Y114	円	37	122.00	B		P-64	X89-Y113	円	4	122.37	C	H-1 の P <sub>2</sub>
P-24	X87-Y112	楕円	7	122.40	B		P-65	X89-Y113	円	23	122.18	B	H-1 内
P-25	X87-Y112	楕円	4	122.38	B		P-66	X89-Y113	円	14	122.36	B	H-1 内
P-26	X87-Y112	楕円	9	122.30	B		P-67	X89-Y113	円	6	122.36	C	1 の P <sub>1</sub>
P-27	X87-Y112	楕円	6	122.34	B		P-68	X89-Y113	楕円	14	122.28	C	H-1 の P <sub>2</sub>
P-28	X86-Y112	円	8	122.29	B		P-69	X86-Y118	円	11	122.02	B	
P-29	X86-Y112	円	9	122.28	B		P-70	X86-Y118	円	13	121.97	C	
P-30	X86-Y112	円	8	122.28	B		P-71	X85-Y118	円	20	121.83	B	
P-31	X87-Y112	円	10	122.26	B		P-72	X85-Y118	円	26	121.78	B	
P-32	X87-Y112	円	18	122.17	B		P-73	X85-Y117	円	12	122.02	C	H-30のP <sub>6</sub>
P-33	X86-Y113	円	27	122.08	B		P-74	X85-Y117	楕円	11	122.04	C	
P-34	X87-Y113	円	22	122.11	B		P-75	X88-Y112	楕円	10	122.14	C	H-27のP <sub>1</sub>
P-35	X87-Y113	円	9	122.23	B		P-76	X88-Y112	円	3	122.21	C	H-27のP <sub>2</sub>
P-36	X87-Y113	円	19	122.08	B		P-77	X88-Y113	楕円	3	122.20	C	H-27のP <sub>3</sub>
P-37	X87-Y113	円	26	122.08	B		P-78	X88-Y113	円	9	122.14	B	
P-38	X87-Y113	円	29	122.09	B		P-79	X88-Y112	円	4	122.20	B	
P-39	X87-Y113	円	7	122.32	B		P-80	X88-Y113	円	1	122.19	B	H-28P <sub>4</sub> , P-17の下
P-40	X87-Y113	円	24	122.13	B		P-81	X87-Y113	円	12	122.03	B	H-28西壁
P-41	X86-Y113	円	16	122.11	B		P-82	X88-Y113	円	9	122.13	B	H-28P <sub>4</sub> , P-16の下

遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考	遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考
P-83	X88-Y113	円	4	122.18	C	H-28のP <sub>1</sub>	P-152	X85-Y115	円	9	122.09	B	
P-84	X88-Y113	円	11	122.09	B	H-28内	P-153	X85-Y115	円	15	122.21	B	
P-85	X88-Y113	円	9	122.11	B	H-28内、P-18の下	P-154	X85-Y115	円	9	122.06	B	
P-86	X88-Y113	円	19	121.98	B	H-28内、P-18の下	P-155	X85-Y115	円	10	122.05	B	
P-87		矢番					P-156	X85-Y115	円	22	121.99	B	
P-88	X88-Y114	椭円	23	121.95	B	H-28内	P-157	X84-Y115	円	10	122.12	B	
P-89	X88-Y113	円	29	121.92	C	H-28のP <sub>1</sub>	P-158	X84-Y115	椭円	10	122.12	B	
P-90	X88-Y112	円	9	122.29	B	H-27内	P-159	X84-Y115	円	6	122.11	B	
P-91	X88-Y112	円	16	122.21	C	H-27のP <sub>1</sub>	P-160	X84-Y115	円	11	122.07	B	
P-92	X87-Y117	円	30	121.99	B		P-161	X84-Y115	円	5	122.15	B	
P-93	X85-Y116	円	18	122.02	C		P-162	X84-Y115	円	8	122.12	B	
P-94	X85-Y116	円	12	122.04	C		P-163	X84-Y115	椭円	21	122.01	B	
P-95	X85-Y116	円	23	121.93	C		P-164	X84-Y115	椭円	18	122.02	B	
P-96	X85-Y117	円	18	121.97	C		P-165	X84-Y115	方	22	121.98	B	
P-97	X85-Y117	椭円	11	121.94	C		P-166	X84-Y114	円	10	122.18	B	
P-98	X84-Y115	円	8	122.09	B		P-167	X84-Y114	円	11	122.15	C	
P-99	X84-Y116	椭円	4	121.11	B		P-168	X84-Y114	円	20	122.07	B	
P-100	X85-Y116	円	29	121.98	B		P-169	X84-Y114	円	14	122.14	C	
P-101	X85-Y116	円	21	121.90	C		P-170	X84-Y114	円	40	121.88	B	
P-102	X84-Y117	円	8	122.03	C		P-171	X84-Y114	円	11	122.19	C	
P-103	X84-Y116	円	3	122.09	C		P-172	X84-Y114	椭円	12	122.18	C	
P-104	X86-Y117	円	8	121.85	C	H-5のP <sub>1</sub>	P-173	X84-Y114	方	9	122.21	B	
P-105	X87-Y118	円	7	121.85	C	H-5のP <sub>1</sub>	P-174	X84-Y114	円	12	122.18	B	
P-106		矢番					P-175	X84-Y114	円	7	122.23	B	
P-107	X86-Y116	円	7	122.05	C	H-6のP <sub>1</sub>	P-176	X84-Y114	円	18	122.12	B	
P-108	X86-Y116	円	8	122.02	C	H-6のP <sub>1</sub>	P-177	X85-Y114	円	14	122.16	B	
P-109	X86-Y116	椭円	11	122.01	C	H-6のP <sub>1</sub>	P-178	X85-Y114	方	27	122.02	B	
P-110	X86-Y116	円	13	122.05	B	H-6内	P-179	X85-Y114	円	16	122.14	B	
P-111	X87-Y114	円	10	122.12	B	H-4のP <sub>1</sub>	P-180	X85-Y114	円	10	122.20	B	
P-112	X87-Y114	円	27	121.96	C	H-4のP <sub>1</sub>	P-181	X85-Y114	円	44	121.82	B	
P-113	X87-Y114	円	27	121.93	C	H-4内	P-182	X85-Y114	円	19	122.08	B	
P-114	X88-Y113	円	5	121.14	B	H-3内	P-183	X85-Y114	円	8	122.19	C	
P-115	X88-Y114	円	5	122.12	B	H-3内	P-184	X85-Y114	椭円	46	121.80	B	
P-116	X88-Y113	円	2	122.15	C	H-3のP <sub>1</sub>	P-185	X85-Y114	円	29	121.95	B	
P-117	X88-Y114	円	7	122.07	C	H-3のP <sub>1</sub>	P-186	X85-Y114	円	25	121.99	B	
P-118	X88-Y114	円	6	122.07	C	H-3のP <sub>1</sub>	P-187	X85-Y114	円	24	121.98	B	
P-119	X88-Y114	円	9	122.01	B	H-3内	P-188	X85-Y114	円	9	122.13	B	
P-120	X88-Y114	円	7	122.03	B	H-3内	P-189	X85-Y114	円	10	122.08	B	H-9内
P-121	X88-Y114	円	7	122.05	C	H-3のP <sub>1</sub>	P-190	X85-Y114	円	15	122.04	B	H-9内
P-122	X88-Y114	円	15	121.98	C	H-3のP <sub>1</sub>	P-191	X85-Y114	円	27	122.00	B	
P-123	X86-Y117	椭円	7	122.02	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-192	X85-Y114	円	25	122.02	B	
P-124	X86-Y117	円	7	122.03	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-193	X85-Y113	円	10	122.17	B	H-8西壁
P-125	X86-Y117	円	6	122.01	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-194	X85-Y113	円	13	122.18	B	
P-126	X86-Y117	円	11	121.95	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-195	X85-Y113	円	9	122.21	B	
P-127	X86-Y117	椭円	8	122.00	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-196	X85-Y113	円	12	122.21	B	H-12内
P-128	X86-Y117	円	9	121.91	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-197	X85-Y113	円	43	121.82	B	H-11内
P-129	X85-Y117	椭円	13	121.87	C	H-30のP <sub>1</sub>	P-198	X85-Y113	円	21	122.10	B	H-11内
P-130	X86-Y117	円	9	121.90	C	H-30のP <sub>1</sub>	P-199	X85-Y112	方	8	122.17	B	H-10内
P-131	X85-Y117	円	12	121.87	C	H-30のP <sub>1</sub>	P-200	X85-Y112	方	14	122.16	B	H-10内
P-132	X86-Y117	円	9	121.90	C	H-30のP <sub>1</sub>	P-201	X85-Y112	円	26	122.05	B	
P-133	X85-Y117	円	14	121.85	C	H-30のP <sub>2</sub>	P-202	X85-Y112	円	4	122.26	B	
P-134	X86-Y117	円	16	121.90	C	H-7のP <sub>1</sub>	P-203	X85-Y112	方	30	122.00	B	
P-135	X89-Y113	円	11	122.16	C	H-2のP <sub>1</sub>	P-204	X85-Y112	円	13	122.18	B	
P-136	X86-Y112	円	11	122.25	B		P-205	X85-Y112	円	24	122.08	C	
P-137	X86-Y112	円	8	122.30	B		P-206	X85-Y112	円	28	122.06	C	
P-138	X86-Y112	円	14	122.21	B		P-207	X85-Y112	円	20	122.12	C	
P-139	X86-Y113	円	18	122.13	B		P-208	X85-Y113	円	10	122.22	C	
P-140	X86-Y113	円	13	122.20	B		P-209	X84-Y113	円	30	122.05	B	
P-141	X86-Y113	円	12	122.21	B		P-210	X84-Y113	円	39	121.95	B	
P-142	X86-Y113	円	3	122.19	B	H-8内	P-211	X84-Y112	方	17	122.13	B	
P-143	X86-Y113	円	7	122.13	B	H-8内	P-212	X84-Y112	円	17	122.14	B	
P-144	X86-Y114	円	4	122.15	B	H-8内	P-213	X84-Y112	円	20	122.14	B	
P-145	X86-Y113	円	14	122.06	B	H-8内	P-214	X84-Y112	方	19	122.15	B	
P-146	X86-Y114	円	5	122.12	B	H-9内	P-215	X84-Y112	円	22	122.15	C	
P-147	X86-Y115	円	17	121.92	B	D-12内	P-216	X84-Y112	方	8	122.15	B	H-11北壁
P-148	X86-Y115	円	6	122.03	B	D-12内	P-217	X84-Y112	方	15	122.08	B	
P-149	X86-Y115	円	17	121.94	B	D-12内	P-218	X83-Y112	方	11	122.25	B	
P-150	X85-Y115	方	8	122.01	B	D-12内	P-219	X84-Y112	円	13	122.23	B	
P-151	X85-Y115	円	16	122.02	B		P-220	X83-Y112	円	9	122.37	B	

遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考	遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考
P-221	X83-Y112	方	28	122.02	B	D-39内	P-268	X79-Y115	円	23	121.87	C	
P-222	X83-Y112	円	17	122.34	B		P-269	X80-Y115	方	28	121.78	B	D-36内
P-223	X83-Y113	円	27	121.99	B		P-270	X79-Y116	円	16	121.77	C	D-20内
P-224	X82-Y112	円	17	122.18	B		P-271	X79-Y116	方	29	121.86	B	
P-225	X82-Y112	方	6	122.26	B		P-272	X78-Y116	方	23	121.96	B	
P-226	X82-Y112	円	12	122.21	C		P-273	X79-Y117	円	11	121.95	C	W-3上重複
P-227	X82-Y112	方	4	122.27	C		P-274	X79-Y117	円	41	121.65	C	W-3上重複
P-228	X82-Y112	方	21	122.11	C		P-275	X79-Y117	円	29	121.74	B	
P-229	X82-Y112	円	9	121.21	B		P-276	X79-Y117	円	19	121.81	C	
P-230	X82-Y112	円	28	122.03	B		P-277	X79-Y117	円	13	121.76	C	W-3西面
P-231	X82-Y112	円	7	122.25	B		P-278	X79-Y117	円	10	121.80	B	X-1上重複
P-232	X82-Y112	方	20	122.08	B		P-279	X79-Y118	円	12	121.86	C	
P-233	X82-Y112	方	9	122.19	B		P-280	X79-Y118	円	13	121.86	C	
P-234	X82-Y112	円	3	122.23	B		P-281	X80-Y118	円	16	121.66	C	
P-235	X82-Y113	方	16	122.12	B		P-282	X80-Y118	円	25	121.64	B	
P-236	X81-Y112	円	37	121.94	C		P-283	X80-Y115	円	9	121.82	B	
P-237	X81-Y113	円	24	121.99	B		P-284	X80-Y115	方	3	121.83	B	
P-238	X81-Y113	円	5	122.17	B		P-285	X80-Y115	方	11	121.78	B	
P-239	X81-Y113	円	7	122.15	B		P-286	X80-Y115	方	7	121.80	B	
P-240	X81-Y113	円	24	121.95	B		P-287	X81-Y115	円	11	121.94	B	
P-241	X81-Y113	円	13	122.07	B		P-288	X81-Y115	円	7	121.87	B	
P-242	X81-Y114	円	8	122.10	B		P-289	X83-Y118	円	10	121.70	B	H-13西壁
P-243	X81-Y114	円	3	122.12	C		P-290	X75-Y112	円	6	122.20	B	
P-244	X81-Y114	円	3	122.18	C		P-291	X76-Y112	梢円	14	122.07	B	
P-245	X81-Y114	円	23	121.94	B		P-292	X76-Y112	円	7	122.18	B	
P-246	X81-Y114	円	4	122.14	B		P-293	X76-Y112	円	18	122.03	B	
P-247	X81-Y114	円	9	122.07	B		P-294	X76-Y113	円	9	122.09	B	
P-248	X81-Y114	円	27	121.88	C		P-295	X76-Y113	円	17	122.02	B	
P-249	X81-Y115	方	16	121.45	B		P-296	X76-Y114	円	10	122.12	B	
P-250	X80-Y114	円	13	122.00	B	W-2重複	P-297	X76-Y114	梢円	8	122.18	B	
P-251	X80-Y114	円	9	122.01	B		P-298	X76-Y114	梢円	9	122.20	B	
P-252	X80-Y114	円	20	121.92	C		P-299	X76-Y114	円	17	122.08	B	
P-253	X79-Y113	円	19	121.84	C		P-300	X74-Y114	梢円	18	122.15	B	
P-254	X79-Y113	円	11	121.92	C		P-301	X75-Y114	円	4	122.26	B	
P-255	X79-Y113	円	20	121.83	C		P-302	X75-Y115	方	40	121.87	B	
P-256	X79-Y114	円	18	121.87	C		P-303	X76-Y115	円	24	121.95	B	
P-257	X79-Y114	円	18	121.87	C		P-304	X75-Y116	円	30	121.89	B	
P-258	X79-Y114	方	14	121.92	C		P-305	X75-Y116	円	21	121.97	B	
P-259	X78-Y114	方	12	122.03	B		P-306	X75-Y116	円	17	122.00	B	
P-260	X78-Y114	円	6	122.08	B		P-307	X75-Y116	方	22	121.92	B	
P-261	X78-Y114	円	29	121.94	C		P-308	X76-Y116	方	12	122.05	B	
P-262	X79-Y115	方	49	121.71	B	H-17北壁	P-309	X76-Y116	円	25	121.87	B	
P-263	X79-Y115	円	12	121.91	B		P-310	X76-Y116	円	20	121.97	B	
P-264	X79-Y115	円	21	121.85	B		P-311	X76-Y116	方	16	122.02	B	
P-265	X79-Y115	方	24	121.88	B	D-35内	P-312	X76-Y116	円	16	122.20	B	
P-266	X79-Y115	円	17	121.93	C		P-313	X76-Y116	円	14	122.06	B	
P-267	X79-Y115	円	26	121.84	C								

Tab.6 出土土器観察表(1)

No	遺構名	地盤・埋没	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	H-1 床上	灰釉 灰	口縁欠損	— 5.0	縦縫成形。脚部下端に弱い削除割れ。底面削除赤切り。厚手で、重量感あり。輪は粗略な掛け掛け	精選 淡灰色	硬質	淡灰色	下半に保付着
2	H-1 床上	須恵器 环	底部充完 口縁2/3 火鉢	[12.0] 4.6 5.0	縦縫成形。須恵器はほとんどない。底径小で、体部は直線的 に外反	精選 軟質	黑茶褐色 一部茶褐色		
3	H-1 床上	須恵器 高台 环	口縁欠損 高台充完	(3.1) 7.6	縦縫成形。須恵器倒れ。回転赤切り後、高台貼付。高台は粗略なつくりで、断面箱形。貼り付け時の擦れ以外、ほとんど成形していない	細砂粒 赤色 青灰片	良好 好土胎質	黄褐色	全体に被熱痕
4	H-1 床上	土胎器 要	上半1/2残	21.2 (12.7) —	口唇部横削で、頸部外面は横削離で、肩面に横削り、胴部は角削離削り。内面は横削離で、口唇わずかにしまみがる	細砂粒 角削石	良好 好土胎質	茶褐色 表面に保付着	
5	H-2 床上	須恵器 高台 环	口縁欠損 高台充完	(3.8) 6.85	縦縫成形。体部は直線的な立ちあがり。回転赤切り後高台貼付。高台はボタンとして強制なつくり。全体に厚手のつくり	細砂粒 赤色 角削石	良好 好土胎質	灰黃褐色	
6	H-2 床上	土胎器 环	口縁-底部 まで/5倍	[12.2] 4.15 [5.4]	外縁に手のつくり。平底。体部むかに内凹。口縁に内面横削離	細砂粒 赤色 角削石	良好 好	茶褐色	全体に被熱痕 保付着

Tab. 6 出土土器観察表(2)

No.	遺構名	相場・基準	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
7	H-2	土器器 貯蔵穴	上半1/3残	20.95 (11.1)	コの字伏口縁。口縁肥厚する。全体にゆがむ。口唇横撫で、胸部は斜め割り。内面横撫撫で。外間に粘土 粗粒	粗砂 細砂	良 好	灰褐色	
8	H-3	須恵器 床上	体部へ口縁 欠損 高台完存	(2.1) 6.8	織籠成形。回転糸切り後高台貼付。粗略な高台で接地面の輪 も極端に異なる	粗砂粒 赤色粒 小礫	良 好	灰褐色	
9	H-3	須恵器 床上	上半1/5残	[17.8] (10.5)	織籠成形。肩の張りは弱い。広口。口縁部はわずかに外湾。口縁面は角頭状で平坦。全体に丁寧なつくり	粗砂 細砂	良 好	灰褐色	内外面に保付 着
10	H-3	須恵器 床上	上半1/4残 下半一部残	[19.1] (22.6)	織籠成形。肩へ口縁はゆがむに内湾。肩は細身のつくり。 織籠成形後、肩下部に斜めの強い凹凸であるいはケズリ	粗砂粒 赤色粒 小礫	良 好	灰茶褐色	下半は被熱痕 保付着
11	H-4	須恵器 床上	口縁1/3の み欠損	12.4 4.8 7.5	織籠成形。足高台高台。体部へ口縁は直線的に外反する。回 転糸切り後高台貼付	粗砂粒 角閃石多	良 好	暗褐色	被熱痕
12	H-4	須恵器 床上	口縁へ筒 1/3残	[20.4] (7.6)	織籠成形。口縁内湾する	粗砂粒 赤色粒 角閃石	良 好	灰褐色	被熱痕 粘土・保付着
13	H-5	須恵器 床面	口縁へ筒 粗粒	13.1 4.5 6.2	織籠成形。口縁は弱い。体部は内湾し、口縁外反。 口縁肥厚。回転糸切り後高台貼付	粗砂粒 赤色粒	良 好	灰褐色	
14	H-6	灰釉 陶	口縁へ筒 欠損 高台完存	[1.75] 8.4	織籠成形。三日系高台。高台貼付後、底面回転割れ。袖は 潰け掛けで、体部下端へ高台部は無釉。内面に径7.8cmの重ね 焼き痕	粗砂 長石少量 灰色	堅 破	灰色	他の灰釉に比 べ、胎土が暗 色
15	H-6	須恵器 床上	完存	12.2 3.5 5.9	織籠成形。凹底。体部わずかに内湾気味。回転糸切り				
16	H-6	須恵器 床上	高台部欠損	13.5 (4.7) [6.8]	織籠成形。体内部内湾気味に立ち上がり、口縁ゆるやかに外湾。 回転糸切り後、高台貼付。口唇肥厚	粗砂粒 小礫	硬 貫	灰褐色	
17	H-6	須恵器 床上	口縁一部 欠損	13.5 4.9 5.2	織籠成形。16と同様のつくり。体部内湾気味、口縁ゆるやか に外湾。回転糸切り後高台貼付。高台は断面台形の粗略なつ くり	粗砂粒 赤色粒	良 好	灰褐色	被熱痕 保付着
18	H-6	土器器 环	一部欠損	12.4 4.5 5.2	平底。体部わずかに内湾して立ち上がり、口縁部外反。ゆ るやかなSの字状を呈す。口縁横撫で、体部上手指押え、下 手側めがけり。内面横撫	粗砂粒 角閃石	良 好	灰茶褐色	被熱痕
19	H-7	灰釉 陶	口縁一部残 体部へ高台 1/3残	2.1 6.5	織籠成形。凸底。体部は直線的に開く。口縁ゆるやかに外反。 高台貼付後底面回転割れ見当り。	白色粒 黑色粒 淡褐色	堅 破	淡灰色	
20	H-7	須恵器 床上	体部へ口縁 1/3残 高台完存	[10.4] 3.2 5.7	織籠成形。厚手。体部わずかに内湾。口縁直線的に立ち上 がる。底部回転糸切り	粗砂粒 角閃石多	良 好	灰茶褐色	被熱痕
21	H-7	須恵器 床上	口縁欠損 体部へ高台 2/3残	[5.85] 8.1	織籠成形。内面横撫強い。高台貼付後底面回転割れ。足 の高い高台。体部内湾	粗砂粒 赤色粒 青白微片	良 好	淡橙褐色	
22	H-7	須恵器 床上	口縁一部残 削部1/3残	[23.6] 24.3 [6.7]	織籠成形。脚部へ口縁内湾、口唇部直立気味。口唇部肥厚し、 口縁面は平坦。脚部下部に斜めの凹凸。底面は無でか 丸めにおさめる。脚はやや上向き	粗砂粒 黑色粒 白色粒	硬 貫	灰褐色	
24	H-9	須恵器 電	完存	11.8 3.7	織籠成形。全体に匣壓厚く、口縁肥厚。平底・体部へ口縁直 線的に開く	粗砂粒 小礫 角閃石	堅 破	淡灰 ~灰黒	被熱痕 全体にやや潜 滅
25	H-9	須恵器 床面	口縁へ筒 1/3残	[19.6] (8.3) [6.7]	織籠成形。脚部へ口縁内湾、口縁面や肥厚し、口縁面はやや 丸めにおさめる。脚はやや上向き	粗砂粒 小礫	硬 貫	灰褐色	被熱痕 脚下へ内面は 褐色に変色
26	H-10	須恵器 高台 床面	口縁一部 欠損	13.9 5.5 6.9	織籠成形。高台貼付後底面回転撫で。高台ハの字に開く。体 部内湾気味、口縁は屈曲して外反。口縁肥厚	粗砂粒 小礫	堅 破	暗青灰色	
27	H-10	土器器 電	上半1/2	11.8 (12.1)	口縁ややコの字形状を呈する。口縁肥厚。口唇部横撫で。頭部 横撫撫で。脚部横撫り、脚部縦撫り。内面横撫撫で	粗砂粒 赤色粒 角閃石	軟 貫	暗茶褐色	
28	H-10	須恵器 床面	口縁へ筒部 1/2 底部欠損	18.63 (23.1)	織籠成形。脚部へ口縁内湾、口縁面平坦で、外側に突出する。 脚はややなつき。脚部下部に強弱のある横撫で、順序・方 向は一定しない。	粗砂粒 赤色粒 小礫	硬 貫	灰茶褐色	被熱痕
29	H-12	須恵器 電	口縁1/2 底部完存	[18.5] [6.6]	織籠成形。やや深窓の器形。体部直線的に外反。口縁屈曲し て外反。回転糸切り	粗砂 細砂	軟 貫	灰褐色	被熱痕 全体に潜滅
30	H-12	須恵器 電	口縁1/2 底部完存	12.15 4.5 5.6	織籠成形。				

Tab. 6 出土土器観察表(3)

No.	遺構名	相思・基盤	遺存状況	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
31	H-12 露窓器 甌	口縁・肩 完全 剥落1/2	18.6 (18.8) へこむ。	18.6 (18.8) へこむ。 胴部下に弱い昆葉で	輪錐成形。胴部～口縁内蔵。口縁高さ。口縁面はMの字状に細砂粒 小難	堅 織 灰褐色	被熱による 変色部あり		
32	H-12 露窓器 甌	口縁・肩部 床上 羽釜	18.5 (19.7) 2/3残 胴下一部残	18.5 (19.7) 2/3残 胴下一部残	輪錐成形。肩部～口縁内蔵。全体に厚手で、とくに胴上半へ 口縁肥厚。肩口やや幅広。口縁面Mの字状にへこむ。 胴部下 半に弱い昆葉で	粗砂粒 角閃石 小難	硬 貫 灰褐色	外側下半と内 面全面被熱で 器面荒れる	
36	H-11 露窓器 高台 甌	略完存	13.1 5.1 7.9	13.1 5.1 7.9	輪錐成形。回転糸切り後高台貼付。体部内蔵気泡で、口縁外 反	粗砂粒 小難	堅 織 灰褐色		
37	H-11 露窓器 甌	上半1/2残 下半完存	11.5 12.5 6.9	11.5 12.5 6.9	輪錐成形。底部剥離糸切り。底部肥厚。肩部の張りはない。 短縦で、口縁外反。広口の小型甌	精選 細砂粒 土質質	硬 貫 灰茶褐色	上半部は被熱 で器面荒れる	
38	H-13 底脚 甌	口縁欠損 体部～高台 1/2残	— —	— —	輪錐成形。高台貼付後底面輪錐削り。高台はボッタとした 断面Uの字状。遺存部に釉は見られない。	精選 (灰黄)	堅 織 灰色		
39	H-13 露窓器 甌	口唇欠損 床面	— —	— —	輪錐目なし。回転糸切り。全体に厚手。体部内蔵。 中世からわらに見える	軟 黒 赤色粒 金剛母片	貫 質 土質質	灰黃褐色	住居跡 南東 コーナー壁外 近接出土
40	H-13 露窓器 甌	底部完存	7.1 15.2	7.1 15.2	平底。外面上半継ぎ面で、下端は斜め・横模様で。内面横模 様。外観面混所り。内底面は周辺のみ昆葉で	粗砂粒 長石	堅 織 灰褐色		
41	H-13 露窓器 甌	口縁～肩 床面	21.2 7.9	21.2 7.9	輪錐成形。肩は貼付。口縁部肥厚。胴部内蔵か。口縁部は直 線的に削り、口縁面は平坦で水平	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	硬 貫 土質質	灰茶褐色	被熱痕
42	H-14 土筋器 床面	口縁～底部 1/2残	12.2 6.3	12.2 6.3	やや凸凹。全体に墨影並み。墨厚もまたまち。体部～口縁 はやるいSの字状。口縁横擦で、体部上半は指揮せ後横擦 角閃石多	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	良 好 灰黑	褐色	内面に油煙付 着
43	H-15 露窓器 高台 甌	口縁のみ一 部欠損	13.0 5.1 6.3	13.0 5.1 6.3	輪錐成形。回転糸切り後高台貼付。器形ゆがむ。体部内蔵。 1/2口縁外反	粗砂粒 赤色粒 金剛母片	硬 貫	淡灰色	内面に油煙付 着
45	H-17 露窓器 理土 甌	破片	(4.3)	(4.3)	輪錐成形。輪錐目弱い。体部内蔵。体部内面に「日天」の篆 鏡文字	粗砂粒 赤色粒 角閃石	硬 貫 土質質	赤褐色 白	被熱痕 器面磨耗
46	H-18 露窓器 高台 甌	完全	13.2 4.8 7.9	13.2 4.8 7.9	輪錐成形。回転糸切り後高台貼付。全体に粗略なつくりで。 器形ゆがむ。高台接地面に施す状。体部～口縁直線的に削 り。口縁部肥厚。	粗砂粒 赤色粒 金剛母片	硬 貫	灰黄色～ 灰色と色 むらあり	住居北東コ ーナー壁外 近接
47	H-18 露窓器 甌	口縁～肩部 1/8残 底脚欠損	18.0 (24.0)	18.0 (24.0)	輪錐成形。肩は貼付で草書なつくり。肩高があり剥離下部は 直線的、上半～口縁内蔵。口縁面はMの字状で外反	粗砂粒 赤色粒 小難	堅 織 須須質	青灰色	口部に被熱 痕
48	H-19 露窓器 埋土 甌	口縁～体部 1/2残 高台 甌	14.6 6.1 5.8	14.6 6.1 5.8	輪錐成形。輪錐目弱い。回転糸切り後高台貼付。肩高があり 横擦形。体部ゆるやかに内蔵。口縁わずかに外反	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	硬 貫	灰黄色～ 灰色と色 むらあり	
49	H-19 露窓器 甌	上半1/3残	(18.5) (4.8) —	(18.5) (4.8) —	輪錐成形。肩は貼付で、厚手。肩部～口縁内蔵。胴部最大径 はやや下にある。口縁面は平担で、ほぼ水平	粗砂粒 小難	硬 貫	灰黄色	被熱痕 内面保付着
50	H-20 露窓器 甌	高台完存	(2.6) 6.5	(2.6) 6.5	輪錐成形。高台貼付後、底面回転撫で。高台は内厚、体部内 蔵	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	硬 貫	黑灰色 断面は青 褐色	
52	H-22 露窓器 貯藏穴	完全	12.6 4.2 6.3	12.6 4.2 6.3	輪錐成形。輪錐目弱い。右回転糸切り。底凹。体部直線的、 口縁わずかに外反	粗砂粒 赤色粒 金剛母片	硬 貫 黑	灰褐色	器面荒れる
53	H-22 露窓器 甌	口縁1/2残 底部一部 欠損	[14.6] [4.7] [5.6]	[14.6] [4.7] [5.6]	輪錐成形。回転糸切り後高台貼付。口縁ゆがむ。体部直線的、 口縁わずかに外反	粗砂粒 赤色粒 小難	堅 織	灰褐色	
56	H-22 露窓器 甌	口縁～高台 1/2	14.0 2.8 6.4	14.0 2.8 6.4	輪錐成形。回転糸切り後高台貼付。高台は内厚でハの字に開 く。体部～口縁直線的に開く。口縁が厚	粗砂粒 赤色粒 金剛母片	硬 貫 土質質	暗灰褐色 黃褐色	被熱痕
57	H-22 土筋器 甌	口縁～底部 1/4残	[12.2] 3.4 [5.6]	[12.2] 3.4 [5.6]	平底。体部～口縁やかな逆Sの字状。口縁横擦で、体部 上半指揮え、下が斜め・横擦。外底面削り。内面横模様で	粗砂粒 赤色粒 角閃石	良 好	赤茶褐色	内面に油煙付 着
58	H-23 土筋器 甌	口縁～肩部 1/4残	[22.5] (6.2)	[22.5] (6.2)	口縁部に粘土組合。肩の張りはゆるく、頂部～口縁コの字状。 1/2斜めに貼りつけたままである。肩部横削り、胴部斜め削り。内面 横模様無	粗砂粒 赤色粒 角閃石	良 好	茶褐色	
61	H-24 露窓器 床面	口縁一部 欠損	13.8 5.1 6.2	13.8 5.1 6.2	平底。全体に割離なつくり。体部～口縁わずかに逆Sの字状。 口縁横擦で、体部上半指揮え、下半斜め削り。外底面削り。内 面横模様で	粗砂粒 赤色粒 角閃石	硬 貫 土質質	灰黃～灰 褐色と色 むら	
62	H-24 土筋器 床面	完全	11.6 4.0 7.0	11.6 4.0 7.0	平底。全体に割離なつくり。体部～口縁わずかに逆Sの字状。 口縁横擦で、体部上半指揮え、下半斜め削り。外底面削り。内 面横模様で	粗砂粒 赤色粒 角閃石	良 好	灰茶褐色	内面～口縫部 油煙多量

Tab. 6 出土土器観察表(4)

No.	遺構名	相手・基準	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
63	H 24 床土	土崩開 右付 小型窓	脚台完存	(3.3) 7.3	脚台はハの字状に聞く。脚台横擦で、内面横 縦擦で	細砂粒 赤色粒	良 好	赤茶褐色		
64	H 24 床面	須恵器 把手付 蓋	口縁欠損 脚部一部 欠存	(14.8)	縦擦成形。脚部へ脚部の境に指揮え。脚部などは斜 面に外反。脚部外面と器部内面に回転混擦で	粗粒 粗砂粒	堅 織	灰褐色	被熱質 保付着	
69	H 25 床面	須恵器 羽釜	脚部一部 欠損	19.6 27.3 7.1	縦擦成形。脚は貼付で、突出度は低く、やや幅広。平底。脚 部へ口縁内凹、口縁面は平底で内傾。脚部外面上半は荒擦で、 下半は削り	粗砂粒 小織	硬 質 須恵質	灰褐色	被熱質。脚部 下平に保付着	
70	H 25 床面	須恵器 瓶	下半完存	(22.4) 22.3	縦擦成形。底部は単孔で、ハの字状に大きき聞き。壺面は直 外面に弱い荒擦で。内面脚底下端に横回転混擦で	粗砂粒 長石 赤色粒	硬 質 土胎質	黑茶褐色		
71	H 25 床面	須恵器 瓶	下半完存	(17.9) 24.3	縦擦成形。7と同上。異曲のつくり。脚下端に斜の混擦で・削 り。内面下端に横混擦で	細砂粒 長石 赤色粒	硬 質 土胎質	黑灰褐色	被熱質	
73	H 26 電	須恵器 環	口縁～高台 1/3段	(12.2) 4.2 6.2	縦擦成形。高台貼付で、ハの字状に開く。体部直線的で、口縁外 側へ反	細砂粒 赤色粒 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	灰黃色	器面磨耗	
74	H 26 埋土	須恵器 环	口縁～体部 1/6段 底部完存	11.2) 3.5 4.9	縦擦成形。縦擦目弱い。平底。体部へ口縁内凹、口縁外反	細砂粒 赤色粒 角閃石	硬 質 土胎質	灰黃～黒 灰と色むらあり		
75	H 26 床面	須恵器 瓶	口縁～脚 1/4段	(19.0) (5.3)	縦擦成形。脚は貼付で、突出は低く幅広。口縁直線的で内傾。 口縁面はMの字狀	粗砂粒 小織 角閃石	硬 質 土胎質	灰黃色	被熱質	
77	H 27 床面	須恵器 環	口縁～高台 1/3段	(11.9) 4.4 (5.2)	縦擦成形。回転糸切り後高台貼付。全体に塑壁厚み。高台は 台形状。凹底。体部直線的に聞く。口縁ゆるやかに外凸	細砂粒 小織	硬 質 土胎質	灰茶褐色		
78	H 27 床面	須恵器 环	口縁～体部 1/4段 底部完存	11.6) 3.7 5.6	縦擦成形。縦擦目弱い。回転糸切り。全体に内厚。口縁肥厚。 平底。体部内凹。口縁直線的に聞く	細砂粒 赤色粒 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	淡黄一 褐色と色 むらあり	器面磨耗	
79	H 28 埋土	須恵器 环	下半～底部 1/3段	(2.8) (4.9)	縦擦成形。縦擦目弱い。回転糸切り。体部直線的。底面やや 凹底	長石 角閃石 赤色粒	硬 質	外表面灰 色、内面 黒灰色		
80	H 28 土崩 理土	土崩 理土 小型窓	1/4段	(3.0) (9.3)	内外面擦で。縦擦推でか	細砂粒 角閃石 青白透明白 雲母微片	良 好	茶褐色		
81	H 28 須恵器 甕	口縁～脚 1/4段	(18.0) (7.8)	縦擦成形。脚は貼付で、高い突出。口縁肥厚し、わずかに内 傾。口縁面は平坦で、やや内傾	細砂粒 赤色粒 小織	硬 質 土胎質	灰茶褐色			
82	H 29 灰釉 陶	高台部 1/3段	(1.8) (8.0)	縦擦成形。高台貼付後底面回転混擦で。三日月高台。釉は内 面上面にわずかに見える	粗粒 黑色粒 白色粒	堅 織	灰 白色			
83	H 29 須恵器 床面	口縁～脚 1/6段	(18.8) (10.2)	縦擦成形。脚は貼付で、華奢なつくり。脚部へ口縁内凹、口 縁外立直気味。口縁面平底で水平	細砂粒 長石 角閃石	硬 質	灰茶褐色	被熱質 内面保付着		
84	D 9 埋土	須恵器 高台 碗	口縁～高台 1/2	15.8 6.3 8.7	縦擦成形。縦擦目弱い。高台貼付後底面回転混擦で。体部へ口 縁内凹、口縁外立直気味。脚部へ口縁内凹に外反。器形よく整う。あるいは鉤形 の施釉	粗粒 赤色粒 角閃石 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	灰黃色	口縁内面磨耗	
85	D 19 埋土	灰釉 陶	完存	13.2 4.6 6.8	縦擦成形。回転糸切り後高台貼付。三日月状の高台。体部ゆ るやかに内凹、口縁むずかしく外反。釉は掛け掛けで、上半部 のみ施釉	粗粒 黑色粒 少	堅 織	灰色		
86	D 19 埋土	須恵器 高台 环	完存	12.6 5.0 6.3	縦擦成形。回転糸切り後高台貼付。高台は台形状で、ハの字 に聞く。貼付調整跡。体部直線的に聞き、口縁外反	粗砂粒 赤色粒 小織	堅 織	淡灰色		
88	D 82 須恵器 底面	略定存	12.4 4.5 6.0	縦擦成形。回転糸切り。器形ゆがむ。凹底。体部内凹、口縁 外反	赤色粒 角閃石 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	灰黃～灰 茶褐色と色 むら	内面に油煙の 剥落痕		
89	D 88 須恵器 底面	口縁～体部 2/3段 高台 高台完存	14.0 6.1 7.0	縦擦成形。高台貼付後底面回転混擦で。高台は足高状で、ハの 字に聞く。体部むずかしく内凹、口縁直線的に外反	粗砂粒 赤色粒 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	黄褐色	被熱質 器面磨耗		
90	D 96 埋土	須恵器 高台 盤	口縁～高台 1/4段	(13.9) (6.3)	縦擦成形。回転糸切り後高台貼付。凸底。高台は低い台形状 でハの字に聞く。体部むずかしく内凹、口縁肥厚し、ゆるやか に外反	粗砂粒 赤色粒 青白透明白 雲母微片	硬 質 土胎質	灰黃一 褐色と色 むらあり		
91	D 85 須恵器 底面	口縁～脚 1/4段	(20.0) (5.8)	縦擦成形。脚は貼付で、上向き、やや華奢なつくり。口縁内 凹、口縁面平底で内傾	粗砂粒 長石	堅 織	青灰色			
92	D 85 須恵器 底面	口縁～体部 1/5段 高台 高台完存	(12.6) 5.4 6.4	縦擦成形。回転糸切り後高台貼付。高台半月状で内厚。体部 へ口縁直線的に聞く	粗砂粒 黑色粒 白色粒多	堅 織	灰茶褐色			

Tab. 6 出土土器観察表(5)

( ) 現存値 [ ] 復元値

No.	遺構名	相手・基準	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
97	I - 3 埋土	須恵器 蓋	天井部 2/3残 端部一部残	15.3 6.6 [19.8]	織錦成形。ボタン状摘み。箱形。体部ゆるやかに内湾。端部内面削ぎ状。天井部回転認削り。短頸の蓋	黒色粒 白色粒 破砕跡	堅 緻	灰色	
98	X - 1 埋土	須恵器 蓋	2/3残	2.8 2.7 12.3	織錦成形。環状横み。断面三角形の返り。天井部回転認削り	精選 黑色粒	堅 緻	灰色	
99	X - 1 埋土	須恵器 蓋	撲み完存 天井～端部 2/3残	2.5 4.3 13.1	織錦成形。擬宝珠摘み。断面三角形の低い返り。天井部回転 4.3 認削り	精選 小粒	堅 緻 自然釉	黑灰色	
100	X - 1 I - 3 埋土	須恵器 环	口縁～底部 1/2	12.5 3.5 8.0	織錦成形。凸底。体部～口縁直線的に外反。底面手持ち窪削 り後周辺回転認削り	精選 黑色粒多	堅 緻	淡灰色	あるいは蓋か
101	X - 1 埋土	須恵器 环	1/2	12.0 2.4 8.4	織錦成形。織錦目削い。凹底。体部～口縁直線的に外傾。底 部回転擦で。底部下端回転認削り	精選 白色粒 黑色粒	堅 緻	暗青灰色	
102	X - 1 埋土	須恵器 环	底部1/4残	(1.3)	織錦成形。凹底。底部回転糸切り後周辺回転認削り	精選 黑色粒 白色粒	堅 緻	灰色	
103	X - 1 埋土	須恵器 高台 环	口縁～底部 1/3残	[12.9] 3.5 [8.8]	織錦成形。削り出し高台。凹底。体部～口縁わずかに内湾。 底面回転擦で	精選 黑色粒 白色粒	堅 緻	灰色	
104	I - 3 埋土	須恵器 高台 碗	高台完存	(3.6) 9.9	織錦成形。やや凸底。削り出し高台。体部直線的。底面手持 ち削り	精選 黑色粒	堅 緻	灰色	
105	I - 3 埋土	須恵器 盤	[25.0] [3.5]	織錦成形。口縁直立。口縁面はやや内削ぎ状に内傾。体部下 端、内面カキ目	精選 黑色粒	堅 緻	淡青灰色		
106	X - 1 埋土	須恵器 長頸壺	口縁～頸部 完存	8.6 [14.0]	織錦成形。弦線2条。直線的に立ち上がる。口縁面は丸く収 める。織錦成形外面部回転認削り	精選 小粒	硬 質	淡灰色	
107	X - 1 埋土	須恵器 長頸壺	口縁～頸部 完存	10.3 [16.9]	織錦成形。細身の頸部。口縁屈曲、口唇部直立。幅約1.7cmの 粘土粗筋	精選 黑色粒多 白色粒	堅 緻 自然釉	灰色	
108	X - 1 埋土	須恵器 壺	口縁1/3残	[20.1] [5.0]	織錦成形。口唇下に突帶を付す	精選	硬	質	暗灰褐色
109	X - 1 埋土	須恵器 壺	口縁1/8残	[22.8] [4.8]	頭部大きく外彫。口唇部上下摘み上げ。外面叩き、内面擦で。 頭部～口縁回転擦で	精選	堅	緻	灰色
110	X - 1 埋土	須恵器 壺	口縁1/8残	[25.2] [6.7]	頭部大きく外彫。口唇部わずかに摘み上げ。唇部叩き。内面 擦で。頭部～口縁回転擦で	精選 白色粒	堅 緻	灰色	
111	X - 1 埋土	須恵器 壺	口縁欠損 頭部～脚部 1/4残	[16.3] [11.0]	織錦成形。脚部に幅約1.5cmの粘土粗筋。平底。脚部の張り強 い。脚部下部に回転認削で。削り。底面手持ち削り	精選 白色粒多 長石	堅 緻 自然釉	暗青灰色	
112	X - 1 埋土	須恵器 壺	口縁欠損 頭部～脚部 1/3残	[18.8]	削制。厚手。外面叩き、内面同心円当具痕。頭部回転擦で	精選 長石 白色粒	堅 緻 自然釉	黑灰色	
113	I - 3 埋土	須恵器 壺	高台1/5残	(4.6) [12.2]	織錦成形。高台貼付後底面手持ち窪削で。脚部わずかに内湾 気味	精選 黑色粒	堅 緻	灰色	あるいは跡
114	X - 1 埋土	須恵器 鉢?	破片		脚部～頭部内湾。外面叩き、内面同心円当具痕。頭部横擦で	精選 白色粒	堅 緻	灰色	
115	X - 1 埋土	須恵器 大甌	破片		脚部銀る。外面叩き、内面浅い同心円当具痕。頭部横擦で	精選 白色粒 破砕跡	堅 緻 自然釉	灰褐色	
116	X - 1 埋土	須恵器 壺	破片		外面叩き、内面深い同心円当具痕	精選 黑色粒多	堅 緻	青灰色	
117	X - 1 埋土	土師器 附文 环	破片		内面に羽子の楷文	細砂粒 青苔類細片	軟 質	橙褐色	
118	X - 1 埋土	土師器 环	口縁～底部 1/2	15.8 [4.8] 10.6	凸底。体部～口縁直線的に開く。器面磨削して調整不明	細砂粒 赤色粒	軟 質	橙褐色	
119	X - 1 埋土	土師器 环	完存	12.6 3.8	丸底。口縁屈曲。ゆるやかに外彫して立ち上がる。口縁内外 面横擦で。底面認削り。内底面擦で	細砂粒 角閃石	硬 質	橙褐色	器面磨滅
120	X - 1 埋土	土師器 环	口縁～底部 1/4残	[12.0] 3.9	丸底。有棱。口縁直立。口縁横擦で。底面認削り。内底面擦で	細砂粒	軟 質	橙褐色	

Tab. 6 出土土器観察表(6)

No.	遺構名	種類	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
121	X-1 埋土	土器器 坏	口縁～底部 1/2	11.9 3.5	丸底。口縁部わずかに内凹、口唇内傾。口縁横拂で。底部削り。内面撫で	粗砂粒 角閃石	硬質	橙褐色	削面磨滅
122	X-1 埋土	灰釉 碗	高台完存	(2.0) 6.5	輪郭成形。高台貼付後底面削輪捺焼。高台断面台形状でハの字状に開く。釉は漬け掛けで、上半部のみ施釉	精選	堅致	淡灰色	
124	I-4 埋土	須恵器 高环	脚1/3残	(5.6)	幅約1cmの粘土紐痕。回転拂で調整。2本一对の沈線を3ヵ所に施す	精選	堅致	灰色	内面に保付着 あるいは盤か
125	I-4 埋土	土器器 壺	口縁～肩部 1/6残	[16.6] (8.4)	底部～口縁コの字状。口唇部を斜め上に拵み出す。頸部横擦り。肩部横拂で、肩部横削り。内面横捏腹で、一部刷毛目状	粗砂粒 赤色粒	硬質	暗茶褐色	

Tab. 7 出土瓦観察表(1)

No.	遺構名	種類	遺存	大きさ(cm)	瓦当部		凹面	凸面	胎土	焼成	色調	備考
					瓦当部	凹面						
33	H-12	丸	1/2	長(21.0) 幅(10.7)、一厚2.3	布目。側縁と両端縁取り	撫で、右側縁面取り。 長石 小繩	粗砂粒 長石 小繩	硬質	暗茶褐色	赤化粘土付着		
34	H-12	平	1/4	長(24.2) 幅(10.7)、(9.7) 厚2.2	布目。側縁、端縁に 縦擦りなし。	縦擦で、側縁、端縁 に幅狭の削り、稍 設多い。縫刻文字 小繩	粗砂粒 端縁削 小繩	堅致	暗茶褐色	赤化粘土付着		
35	H-12	丸	1/2	長35.6 (8.5)、(13.5) 厚2.2	布目。左側縁、下端縁取り。上端縁は 撫で。	縦擦で。右側縁、両 端縁面取り。縫刻文 字「千」	粗砂粒 長石 小繩	堅致	黒灰色			
44	H-15	丸 破片		長(16.0) 幅(10.7)、一厚2.3	布目。側縁面取り	縦擦で。縫刻文字 小繩	粗砂粒 小繩	硬質 須恵質	暗茶褐色			
51	H-20	丸	1/8	長(21.5) 幅(6.5) 厚2.1	布目。端縁、側縁に 面取り	縦擦で。端縁面取 り	粗砂粒 長石	硬質 須恵質	暗茶褐色は灰 黄色	赤化粘土付着		
54	H-22 貯蔵穴	平	1/2	長36.6 幅(14.5)、(11.0) 厚2.4	布目。側縁面取り。 縫刻記号?2ヶ所	縦擦で	粗砂粒 長石 小繩	堅致 須恵質	暗茶褐色			
55	H-22 貯蔵穴	平 完存		長40.5 幅30.7、24.7 厚3.0	布目。左右側縁の一 部面取り	縦擦で。 縫刻文字(記号?)	粗砂粒 長石 小繩	堅致 須恵質	暗茶褐色	凹面2/3に 被熱痕		
59	H-23	床面 軒丸	破片		重弁の蓮草文			粗砂粒 白色粒	堅致 須恵質	青灰色		
67	H-24 床上	平 破片		長(6.5) 幅(1.0)	布目。 縫刻文字2ヶ所	縦・斜めの捺擦で	粗選 小繩	硬質 須恵質	灰茶褐色	珊瑚2面取 り		
68	H-24 床上	平 破片		長(14.8) 幅(5.8)、一厚1.3	布目	縦擦で。 縫刻文字「+」	長石 小繩	硬質 須恵質	灰茶褐色 新面は灰 黄色			
76	H-26	丸	1/4	長(25.8) 幅(7.6) 厚1.7	布目。側縁・端縁面 取り	縦擦で。 縫刻文字「手」(?)	小繩 波紋粒	堅致 須恵質	黑灰褐色 新面は青 灰色	被熱痕		
87	D-62 埋土	平 破片		長(12.5) 幅(1.25) 厚1.95	布目。端縁・側縁面 取り	縦・横・斜めの捺擦で。 端縁・側縁面取 り。縫刻文字	小繩 波紋粒	堅致 須恵質	灰茶褐色			
95	I-1 埋土	平 破片		長(6.6) (6.7) 厚1.95	布目。側縁下取り	縦擦で。 縫刻文字「川」	長石 波紋粒	堅致 須恵質	暗灰褐色 新面は茶 褐色			
123	X-1 埋土	平 破片		長(8.6) 幅(7.2) 厚1.5	布目	縦擦で。 印押「祐」	粗砂粒 白色粒	堅致 須恵質	黒灰褐色			
126	I-4 軒丸	破片		跡付蓮草文。 裏面布目			精選 長石	堅致 須恵質	淡灰色			
127	I-4 軒丸	破片		右側面唐草文。 珠文。段頭	女瓦部：布目の上に 撫で。側縁面取り	女瓦部：縦擦で	白色粒	硬質 土師質	灰茶褐色			
128	I-4 軒丸	破片	瓦当部残	15.2	重井5弁蓮草 文。珠文。裏面 は撫で	男瓦部：布目	男瓦部：縦擦で	精選	堅致 須恵質	灰褐色		
129	I-4 軒丸	破片	瓦当部残	14.6	重井5弁蓮草 文。珠文。裏面 は布目	男瓦部：布目	男瓦部：縦擦で	精選	堅致 須恵質	黒灰色	被熱痕	
130	I-4 軒丸	破片	瓦当部残	15.7	重井4弁蓮草 文。珠文。裏面 は削り	男瓦部：布目	男瓦部：撫で	精選 白色粒	堅致 須恵質	暗灰色		

Tab. 7 出土瓦觀察表(2)

No.	通稱名	種類	遺存	大きさ(cm)	瓦当部	凹面	凸面	胎土	焼成	色調	備考
131	I-4	軒丸	破片	瓦当部径[16.0]	単弁 4 仔 蓼草文、蓮子は點刻。裏面布目			精選 長石	堅 級 須恵質	青灰色	
132	I-4	軒丸	破片	瓦当部径[15.0]	重弁 4 仔 蓼草文、蓮子 5、裏面布目			精選 白色粒 長石	堅 級 須恵質	暗灰色 被熱痕	
133	I-4	軒丸	破片	瓦当部径[15.0]	複弁 7 仔 蓼草文の抽象化。弁間殊文			精選 黑色粒	堅 級 須恵質	灰色	
134	I-4	軒丸	瓦當 欠損	長(21.3) 厚 2.3	男瓦部：布目。側 縁面取り。玉縁：側 縁面取り。側、端縁面取 り	男瓦部：側中き後機 撫で。玉縁：横撫で。 側、側縁面取り	精選 長石	堅 級 須恵質	灰白色		
135	I-4	軒丸	瓦當 欠損	長(13.6) 厚 3.1	男瓦部：布目。側 縁面取り。玉縁：側 縁面取り	男瓦部：側中き後機 撫で。側縁面取り。 側、端縁面取り	精選 黑、白色粒 長石	堅 級 須恵質	暗灰色		
136	H-4	丸	一部欠損	長 40.6 幅 14.3、(11.1) 厚 1.9	布目。側側縁、端端 縁面取り	横撫施。側側縁面 取り	精選	堅 級 須恵質	凹面に被熱 痕		
137	I-4	平	破片	長(8.5) 幅 1.~ 厚 1.0	無	縱撫で	縱撫で後格子叩き	精選 白色粒多	堅 級 須恵質	墨灰色	
138	I-4	平	破片	長(17.5) 幅 1.~ 厚 2.2	布目。部分的に指撫 で	縱撫で後格子叩き	砂粒多	硬 質 土師質	灰茶褐色		
139	I-4	平	1/4	長(28.0) 幅(13.8、 厚 2.0	布目。粘土板余切り 痕。端、側縁面取 り。	粘土板余切り痕。縱 撫で後格子叩き	精選 赤色粒	硬 質 土師質	橙褐色		
140	I-4	平	1/2	長(30.5) 幅 29.0、 厚 2.5	縱撫でによる布目削 り消し。側縁面取 り。	粘土板余切り痕。縱 撫で後格子叩き	粗砂粒 赤色粒多 角閃石	硬 質 土師質	茶褐色		
141	I-4	平	欠損	長 39.1 (23.6、 厚 1.7	被骨痕。粘土板余切 り痕。側側縁、端端 縁面取り	鉛叩き後横縱撫でに よる擦り消し	粗砂粒 長石多	硬 質 土師質	灰茶褐色	被熱痕	
142	I-4	平	1/2	長(25.4) 幅 19.0、 厚 1.9	粘土板余切り痕。側 側縁、端端縁面取 り。	鉛叩き転	精選 黑色粒多	堅 級 須恵質	灰色		
143	I-4	平	破片	長(13.0) 幅 1.~、(10.0) 厚 1.5	粘土板余切り痕。	横、縱の鉛叩転	精選 玻璃砂砾	堅 級 須恵質	淡灰色		
144	I-4	平	破片	長(20.0) 幅(15.4、 厚 1.6	布目。粘土板余切 り痕。端、側縁面取 り。	粘土板余切り痕。平 面叩き	粗砂粒 白色粒 系 茶 粒 多	堅 級 須恵質	灰色		
145	I-4	平	1/2	長 39.5 幅(11.0)、(11.5) 厚 2.4	布目+骨痕。側縁 面取り	縱縱撫で後斜め指撫 痕。縱刻文字	粗砂粒 長石	堅 級 須恵質	灰色	被熱痕	
146	I-4	平	1/2	長 38.4 幅(10.8)、(9.0) 厚 2.3	縱撫でによる布目削 り消し。側縁、広端 縁面取り	粘土板余切り痕。鉛 叩き後部分的に拂で	粗砂粒 白色粒多 赤色粒	硬 質 土師質	灰茶褐色	被熱痕	
147	I-4	平	1/2	長(22.5) 幅 26.5、 厚 1.8	粘土板余切り痕。縱 撫でによる布目削り 消し。側縁面取り	鉛叩転	精選 長石	硬 質 須恵質	灰色 新面被褐 色		
148	I-4	平	1/2	長(25.0) 幅 25.0、 厚 2.5	布目。右側縁面取 り。縁刻文字「又」	縱縱撫で	粗砂粒 白色粒多 長石	堅 級 須恵質	暗灰色	被熱痕	
149	I-4	平	1/4	長(22.0) 幅 2.6	布目。右側縁面取 り。縁刻文字「+」	縱縱撫で	精選 白色粒多	堅 級 須恵質	墨灰色		
150	I-4	平	破片	長 幅 2.0	布目	縱撫で。 押印「毛」(?)	精選 白色粒 長石	堅 級 須恵質	墨灰色		
151	I-4	丸	破片	長 幅 2.0	布目	鉛叩「丸」(?)	精選 長石	硬 質 須恵質	暗灰色 新面被褐 色		
152	I-4	平	1/6	長(12.5) 幅(11.7)、 厚 1.8	布目。側縁面取 り。	縱縱撫で。 縁刻文字「○合」(?)	粗砂粒 白色粒多 長石	硬 質 土師質	灰茶褐色		
153	I-4	平	1/5	長(15.5) 幅(12.0)、 厚 2.6	布目。側縁面取 り。	縁刻文字「里」(?)	精選 長石	堅 級 須恵質	墨灰色	被熱痕	

Tab.8 金属製品観察表

No	遺構名	種別・器種	道存	法量・大きさ(cm)		重さ(g)	形状・技法の特徴		備考
				口径	高さ		幅	厚さ(cm)	
22	H-7	銅 製 匁土	脚欠損	口径8.2	高さ4.5	器壁厚0.2			施錫引きのカナ目は見られない。 外側に2本一対の沈線2ヵ所。
60	H-23	鉄 器 匁土	銘化著しく、頭部不明	現長6.6	断面0.5				断面方形。
72	H-25	鉄 器 床面	銘化著しい。先端欠損	現長12.5	幅1.8	断面0.8×0.2			断面長方形の鉄板を逆Uの字状に 折り曲げてつくられている
									毛ぬきか

Tab.9 石製品観察表

No	遺構名	器種	道存	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
65	H-24	こも石	一部欠損	12.1	4.95	3.5	341.0	安山岩	
66	H-24	こも石	一部欠損	12.0	4.3	3.5	364.0	安山岩	剝離痕あり

Tab.10 磁器観察表

No	遺構名	種別	器種	道存	法量(cm)	器形・技法の特徴	素地	生産地	時代	備考
93	D-40	青磁	碗	破片		外面彫齒に鍋蓮弁、内面捺引き画花文	灰白色	龍泉窯系	12C中～後	灰青緑色透明釉
94	D-58	青磁	碗	破片		内面捺描文	灰色、気泡	同安窯系	12C中～後	灰緑色透明釉

Tab.11 古銭観察表

No	遺構名	道存	銭名	初期年	書体	背文	外径(cm)	重量(g)	備考
96	I-1	背面一部剥落	元豐通宝	北宋 1078	行書	無背	2.35	(2.90)	

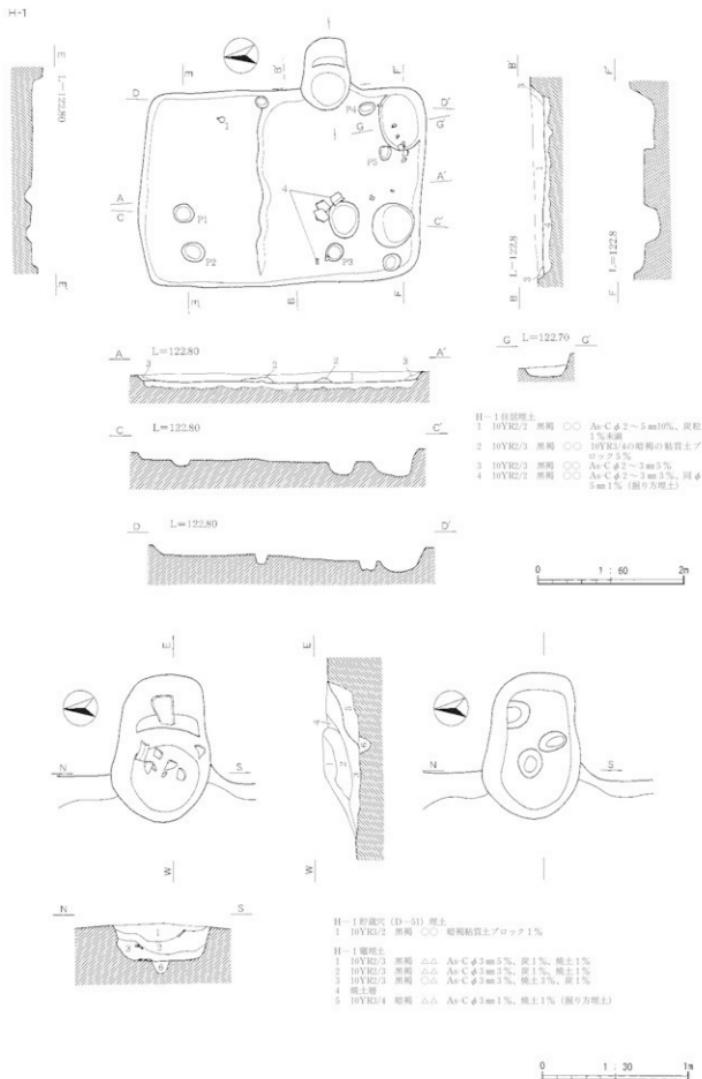


Fig. 7 H-1号住居跡

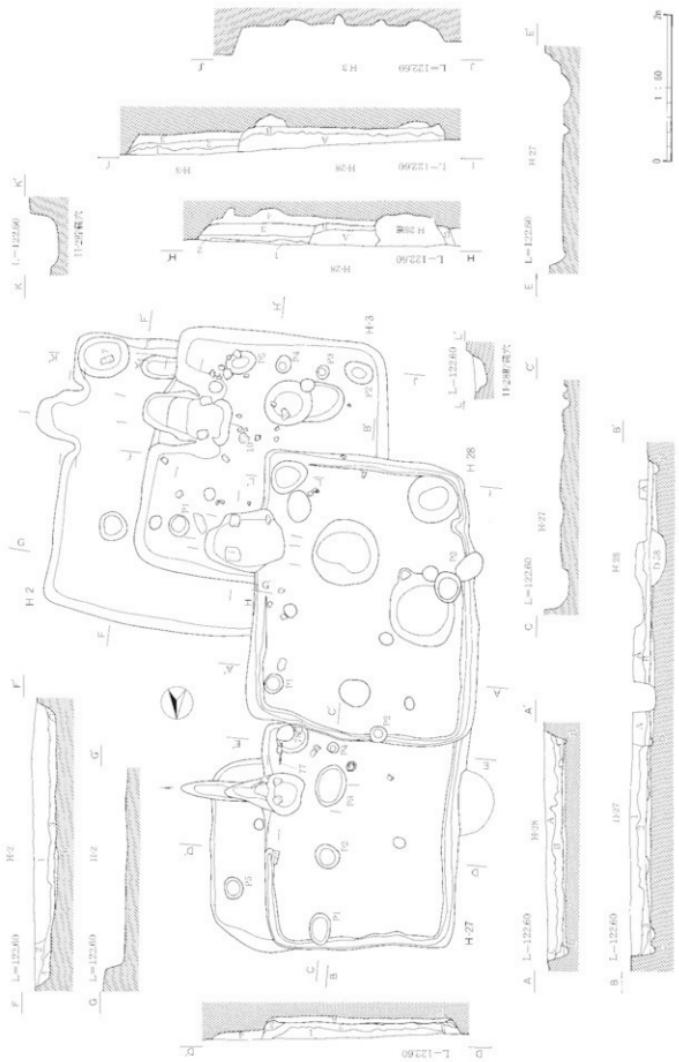


Fig. 8 H—2 • 3 • 27 • 28号住居跡

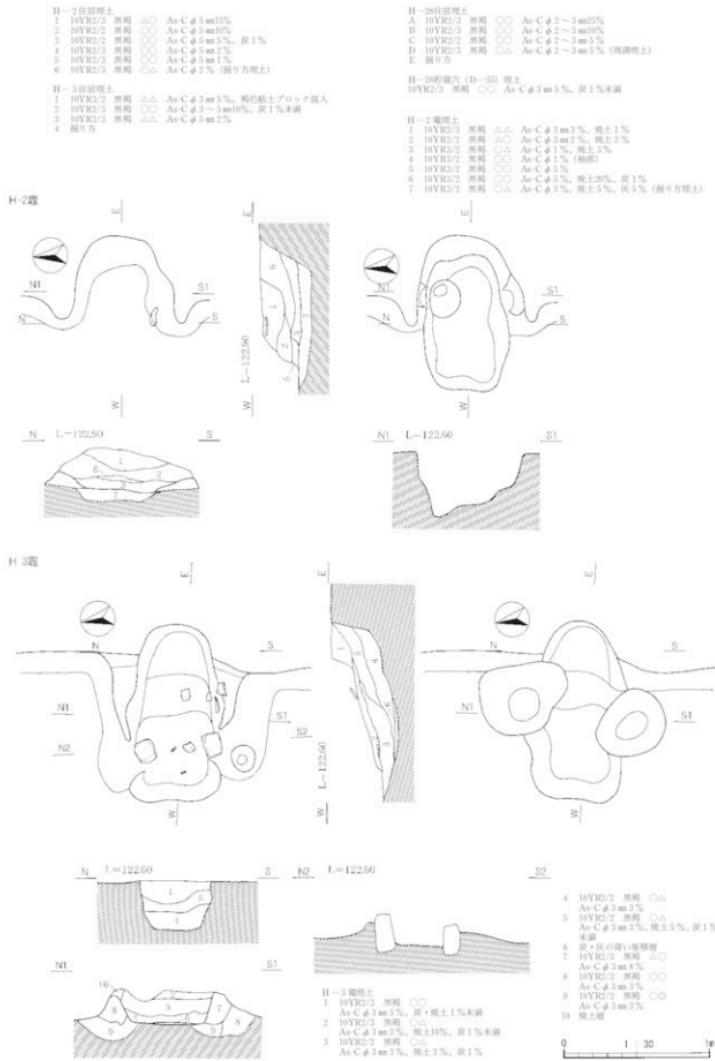


Fig. 9 H-2·3号住居跡竪

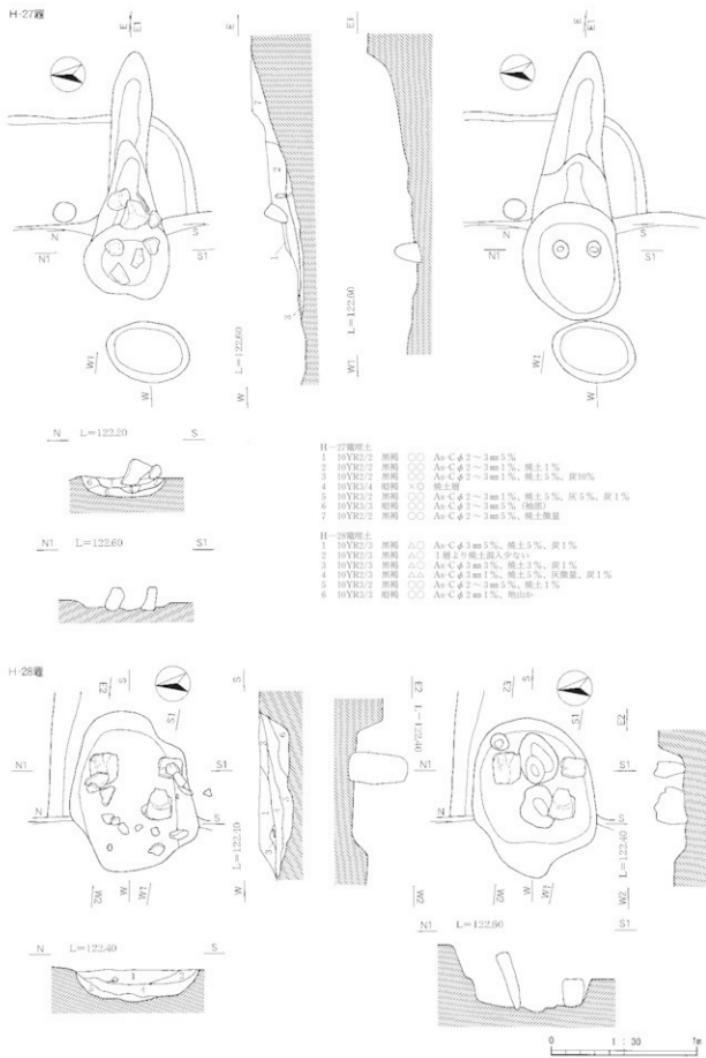


Fig.10 H-27・28号住居跡図

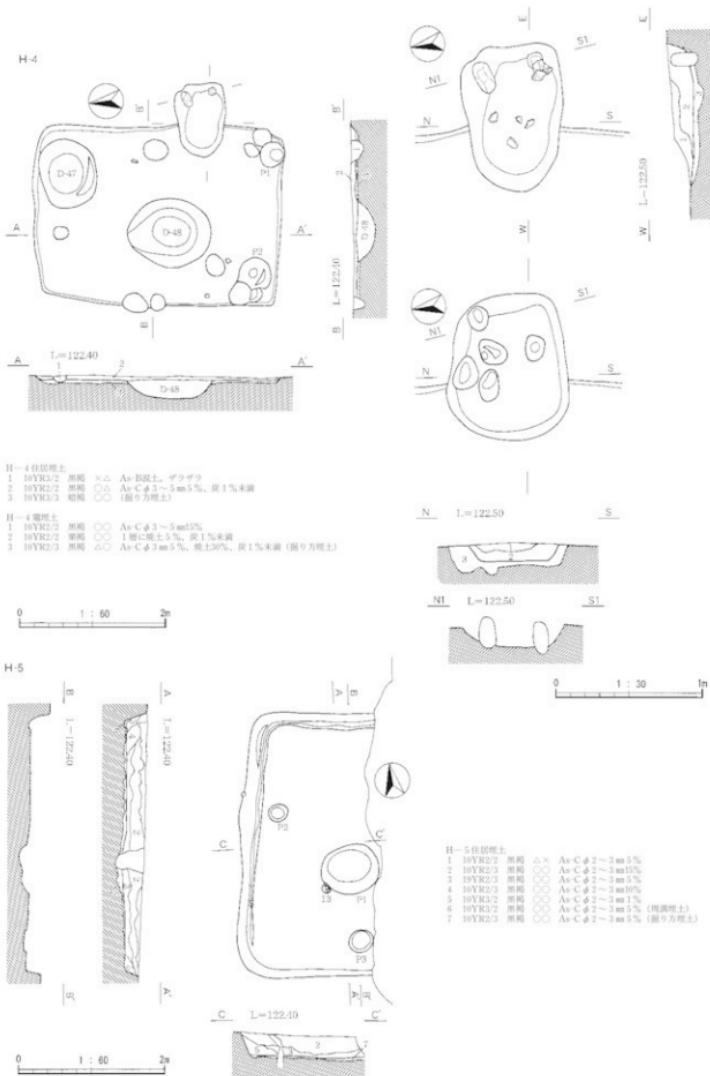


Fig.11 H-4·5号住居跡

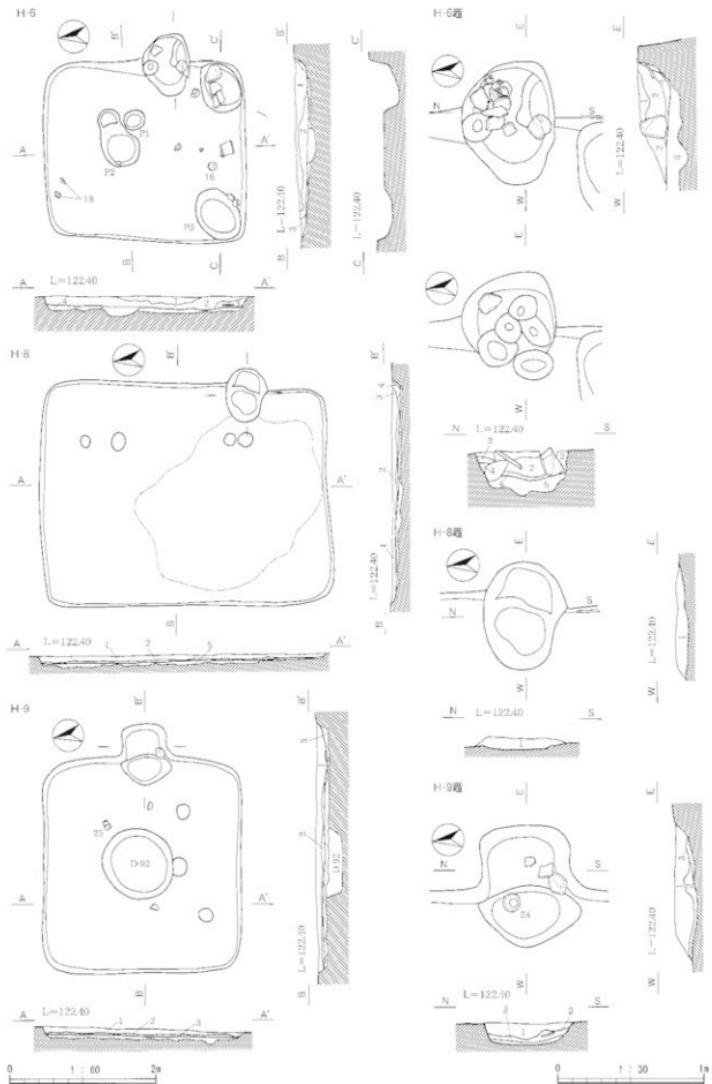


Fig.12 H-6 • 8 • 9号住居跡

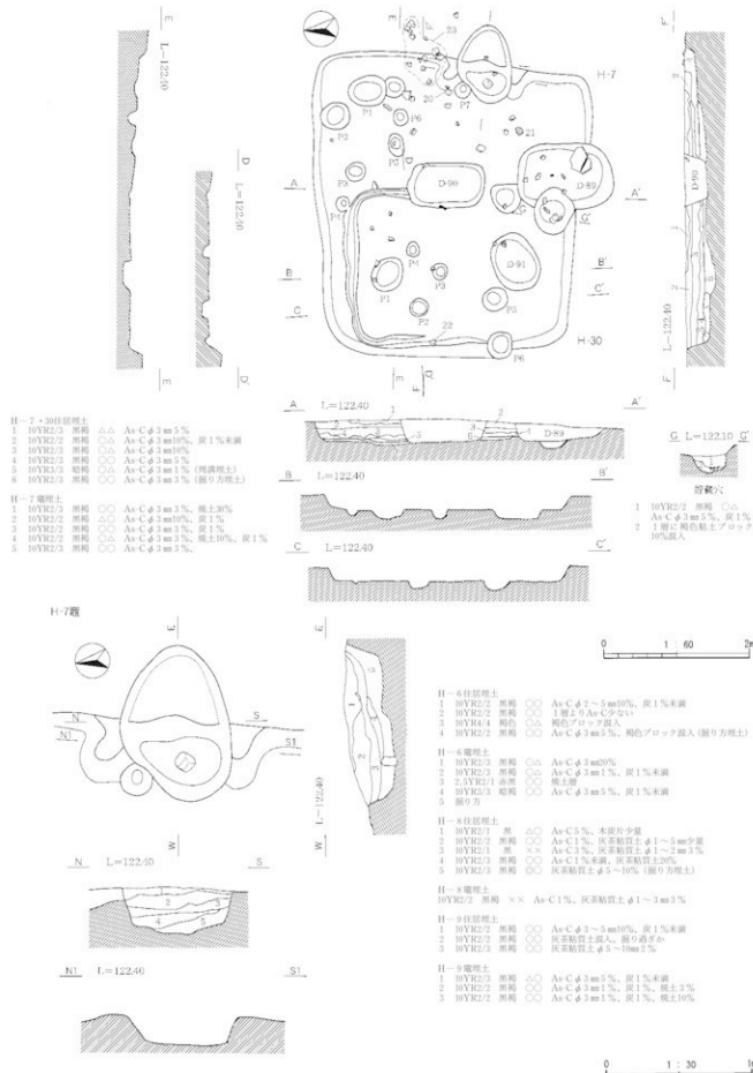


Fig.13 H=7.30最佳尾跡

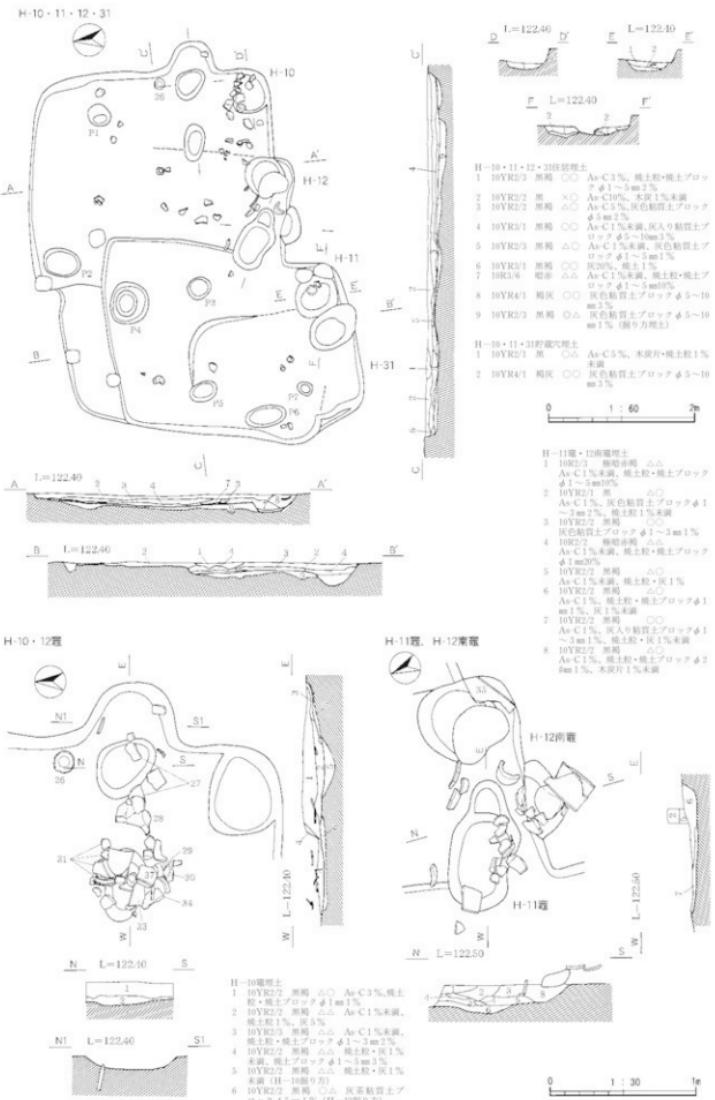


Fig.14 H=10:11:12:31最佳尾跡

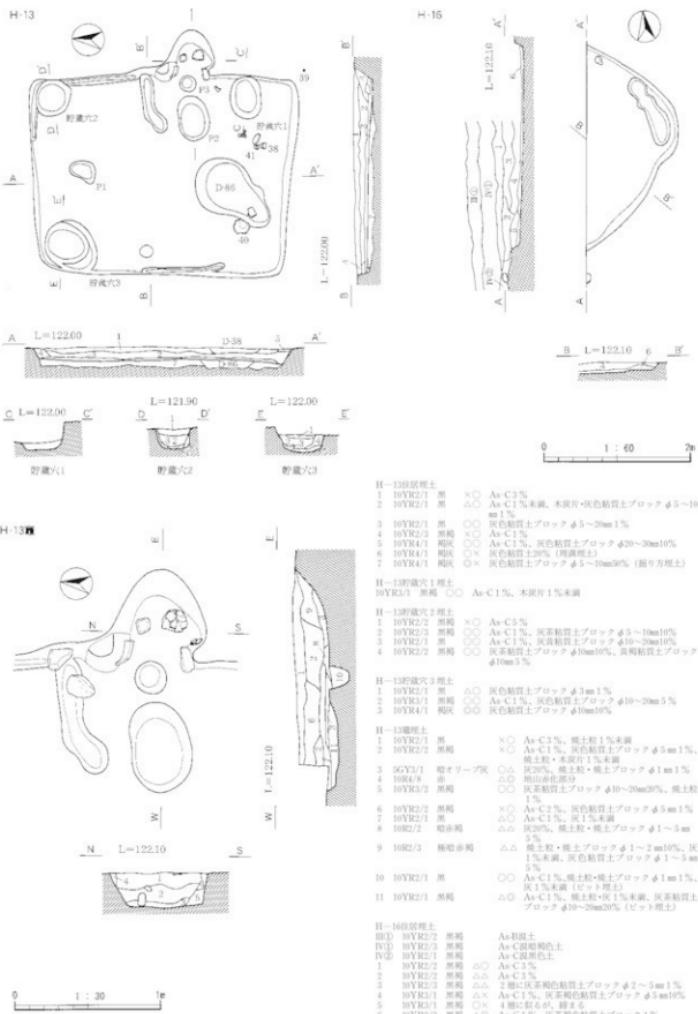


Fig.15 H-13号住居跡

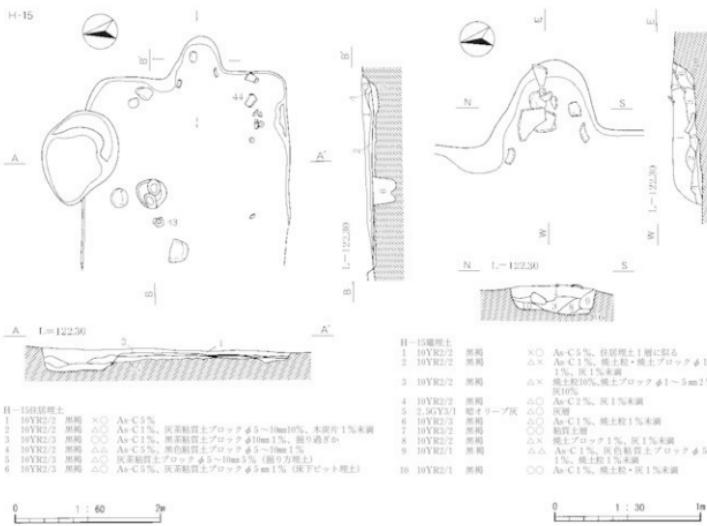
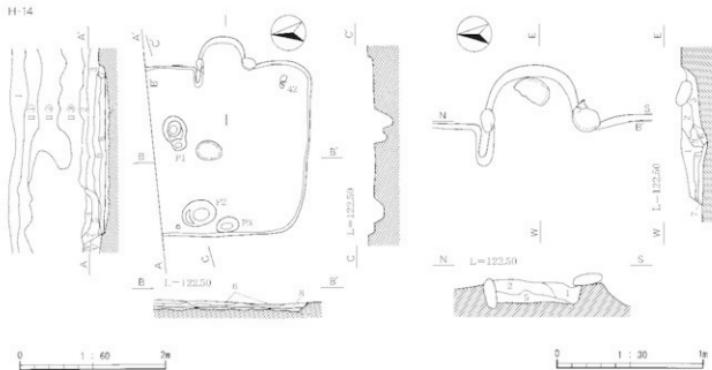
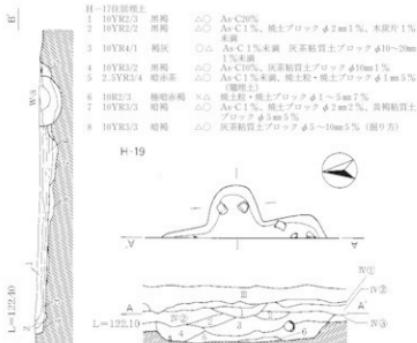
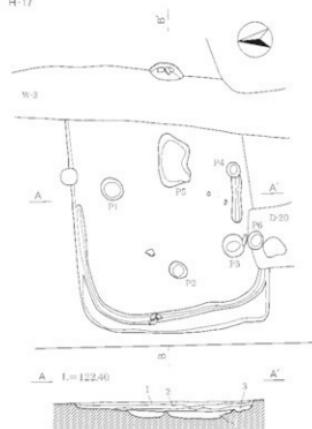
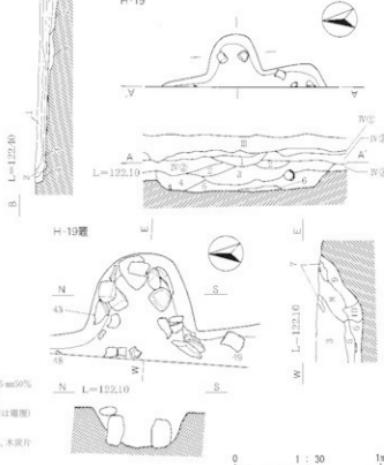


Fig.16 H-14·15号住居跡

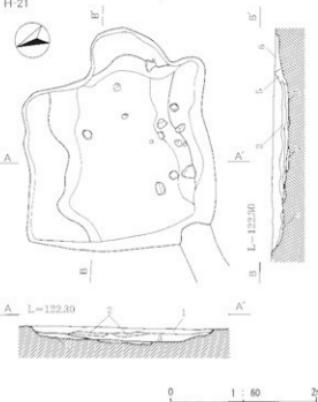
H-17



H-19



H-21



- H-19の住居跡  
III-IV層 H-19Ⅲ 京路上同 C  
IV-V層 IV-V層複数、出土土か  
1 10YR2/3 黑褐  $\times$  IV-V層複数、出土土か  
2 2.5YR5/6 暗褐色  $\times$  IV-V層複数、出土土か  
3 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  As-C-5%、2層より暗色  
4 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  IV-V層の混合土  
5 10YR2/3 黑褐  $\circ$  灰茶粘土・灰茶粘土  
6 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  As-C1%未調、純土粒  
7 2.5YR5/6 暗褐色  $\times$  As-C1%未調、純土粒・純土ブロック  $\phi$ 1~5mm 50%  
8 10YR2/3 黑褐  $\times$  As-C5%、純土粒・純土ブロック  $\phi$ 1~5mm 1%  
9 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  As-C5%、純土粒・純土ブロック  $\phi$ 1~5mm 1%  
10 10YR2/1 黑  $\triangle$  純土粒多、純土ブロック  $\phi$ 5mm 10% (7~10層は單層)
- H-21の住居跡  
1 10YR2/2 黑褐  $\times$  As-C1%未調、灰茶粘土ブロック  $\phi$ 5~10mm 1%、木炭片 1%未調  
2 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  灰茶粘土・灰茶粘土ブロック  
3 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  As-C1%未調、灰茶粘土ブロック  $\phi$ 10mm 2%  
4 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  灰茶粘土・灰茶粘土ブロック  $\phi$ 5mm 30%  
5 10YR3/3 黑褐  $\triangle$  灰茶粘土・灰茶粘土ブロック  $\phi$ 10~20mm 30%  
6 10YR2/3 黑褐  $\triangle$  As-C1%未調、As-C5%未調  
7 10YR4/1 黑褐  $\circ$  灰色粘土・灰茶粘土ブロック  $\phi$ 5~10mm 5% (削り方)

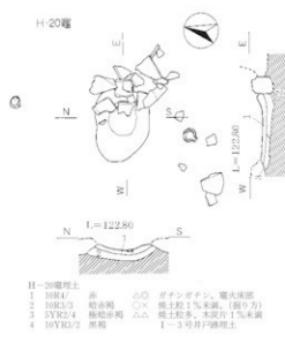


Fig.17 H-17・19・20・21号住居跡

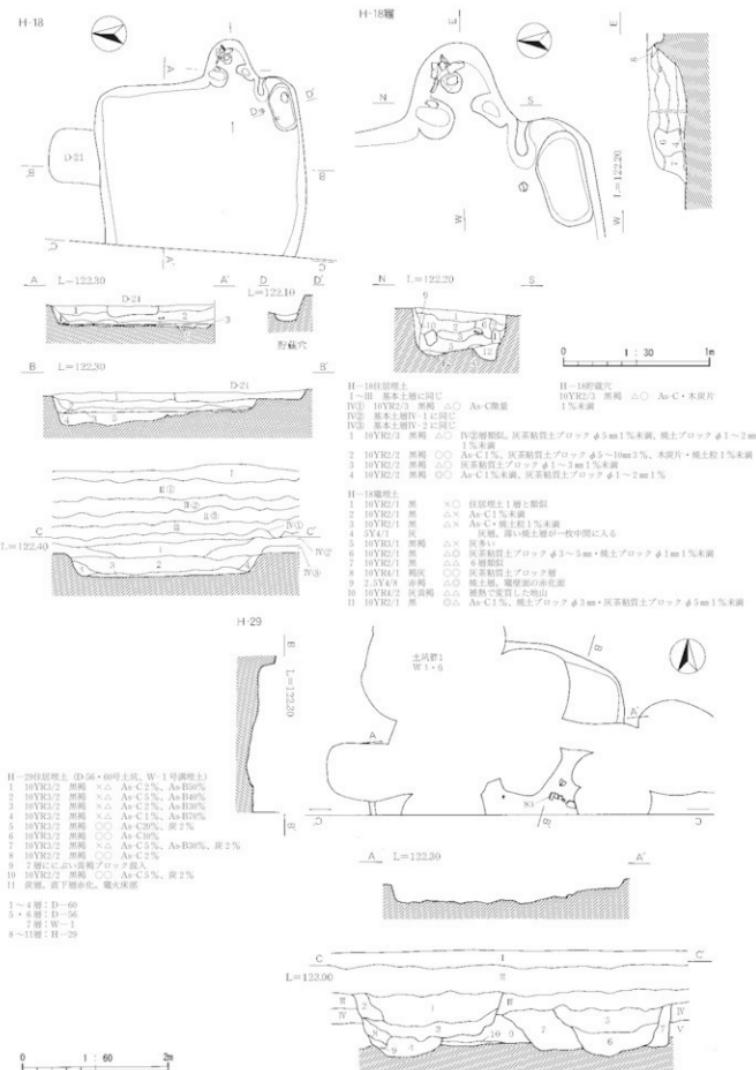
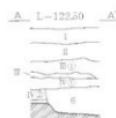
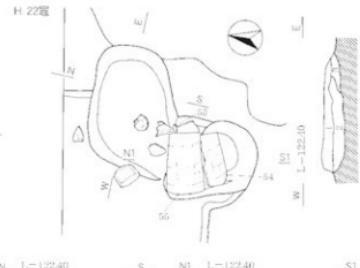
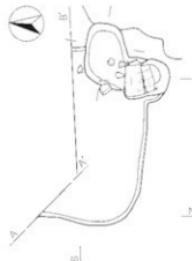
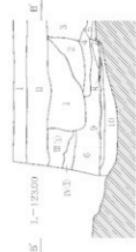


Fig.18 H-18・29号居住跡

H-22



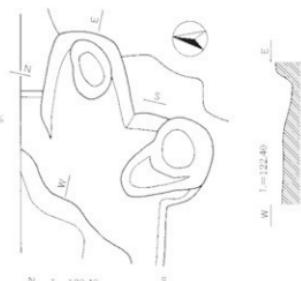
H-22断面図

- H-22断面図  
 1 bYR2/3 黒褐 ○△ B段上 As C2~3% 黄褐色～褐灰色土ブロック2%  
 2 bYR2/3 黒褐 ○△ B段上 As C2% 黄褐色～褐灰色土ブロック3%、褐土粒2%  
 3 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C1% 黄褐色～褐灰色土ブロック1%、褐土粒1%  
 4 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C1% 黄褐色～褐灰色土ブロック5%、褐土粒1%  
 5 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C1% 黄褐色～褐灰色土ブロック2%、褐土粒1%  
 6 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C1% 黄褐色～褐灰色土ブロック2%、褐土粒1%  
 7 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C1% 黄褐色～褐灰色土ブロック2%、褐土粒2%～3% (電離銀土)  
 8 bYR2/3 黑褐 ○△ B段上 As C2% 黄褐色～褐灰色土ブロック2%、褐土粒1% (As(EK))  
 9 bYR2/3 黑褐 ○△ As C2~3% 褐土粒1% (As(EK))  
 10 bYR2/3 黑褐 ○△ As C2~3% 褐土粒1% (As(EK))

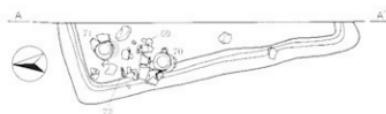
H-22断面図  
 bYR2/2 黑褐 ○○ As-C2%、褐土粒・炭化物2~3%

H-22地盤

- 1 bYR2/2 黑褐 ○○ As-C1%、褐土粒・炭化物1%  
 2 bYR2/2 黑褐 ○○ As-C1%、褐土粒2%、木炭縫隙に発達  
 3 bYR2/2 黑褐 ○○ As-C1%、褐土粒2%、炭化物1%  
 4 3層と同じ



H-25



- H-25断面図  
 1 黒褐色～褐灰色 ○○ As-C2%、黄褐色  
 2 褐色砂質土ブロック1%  
 3 3層と同じ  
 4 黄褐色砂質土ブロック2%  
 5 黄褐色砂質土ブロック1%、黄褐色砂質土ブロック2%～3%  
 6 黄褐色砂質土ブロック20%  
 7 黄褐色砂質土ブロック3%、黄褐色砂質土ブロック3%、褐土粒・炭化物1%  
 8 bYR2/3 黑褐 ○○ 黄褐色砂質土ブロック2%

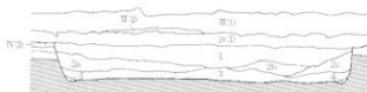
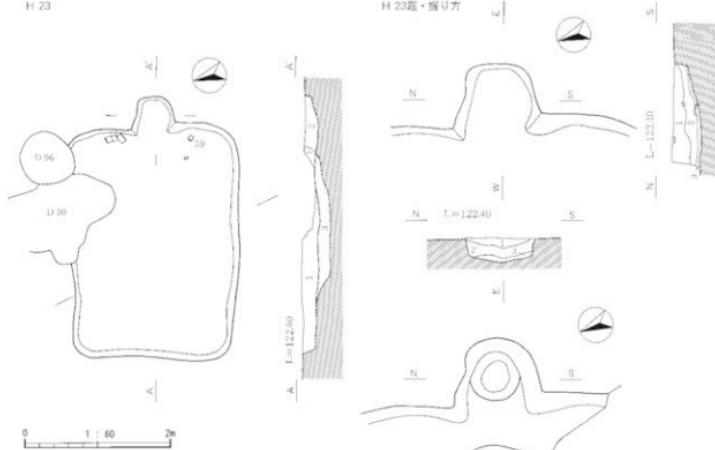


Fig.19 H-22・25号住居跡



H-23住居地  
1 10YR2/2 地面 ○○ A-C30%, 黄褐色  
2 10YR2/2 地面 ○○ 黑色土ブロック 5% (鉛灰)  
3 10YR2/2 地面 ○○ 黑色土ブロック 20~30%, 地上部・灰化物 1~2% (振り方)

H-23廻り土  
1 10YR2/2 地面 ○○ A-C3~5%, 地上部 1%  
2 10YR2/2 地面 ○○ A-C3~5%, 地上部 7%・底土粒 2% (廻天帯留土)  
3 10YR2/2 地面 △△ K-C 木炭主体, 地上部ブロック, 地上粒 3% (鉛灰)

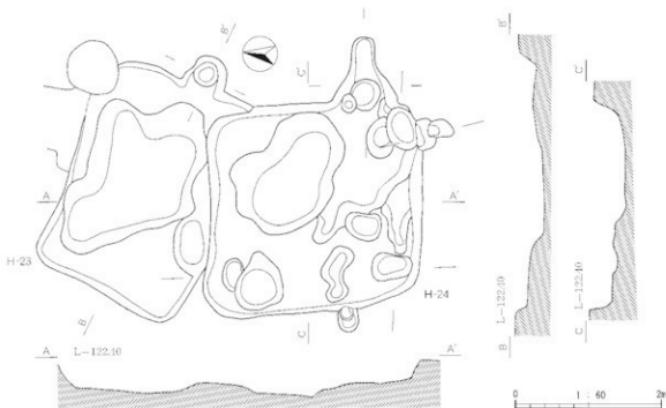


Fig.20 H-23・24号住居跡

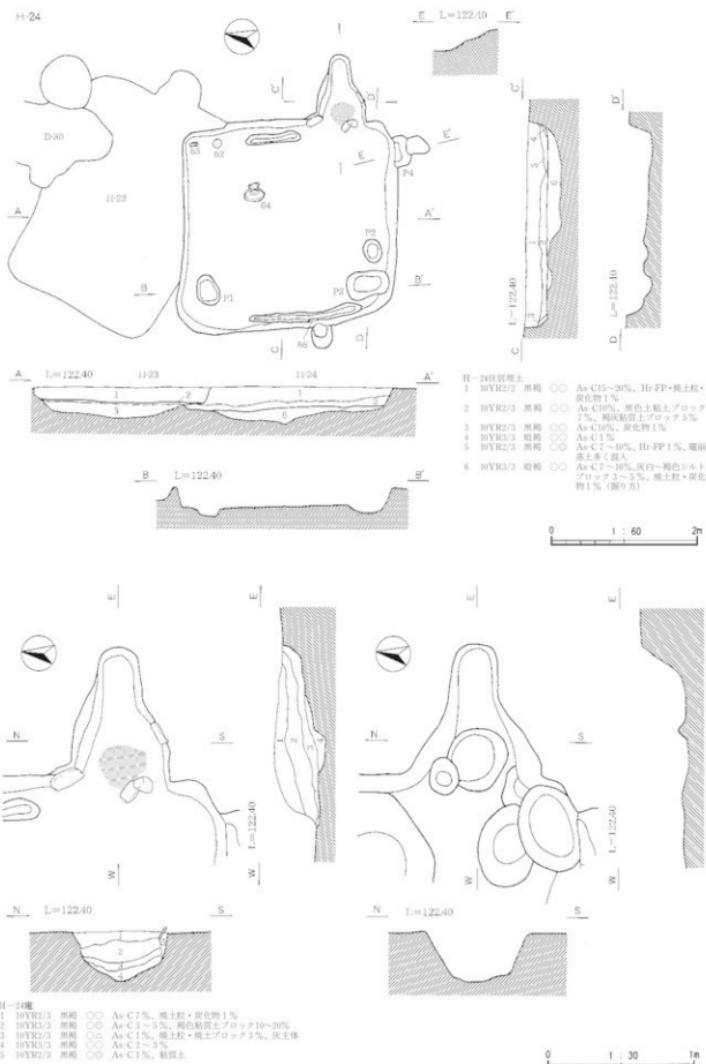
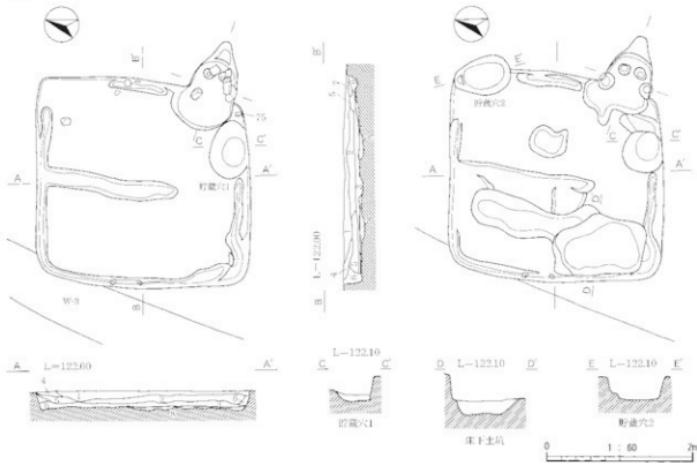


Fig.21 H-24号住居跡



H-26号住居上  
 1 10YR2/3 黒褐 ×○ As C3%  
 2 10YR2/3 黒褐 △○ As C1% 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 3 10YR2/2 黒褐 △○ As C1% 木綿, 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 4 10YR2/3 黒褐 △○ As C1% 木綿, 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 5 10YR2/3 黒褐 △○ As C1% 木綿, 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 6 10YR2/3 黒褐 △○ As C1% 木綿, 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 7 10YR2/1 黒褐 △○ As C1% 木綿, 灰色粘質土ブロック φ2~3mm 1%  
 8 土刀方

H-26号窓穴  
 10YR2/1 黑 ○ 灰色粘質土ブロック φ5~10mm 1%、木綿片 1%  
 H-26号下水道  
 10YR2/2 黑褐 △○ As C1%、黄褐色砂質ブロック φ5~10mm 1%

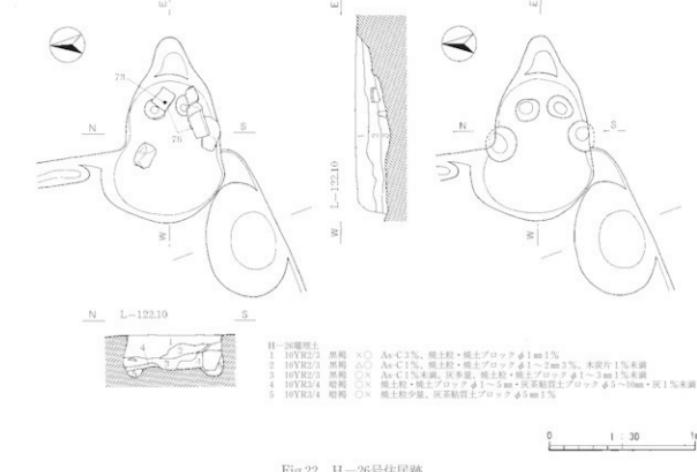


Fig.22 H-26号住居跡

W-1 • 2 • 3 • 5 • 6

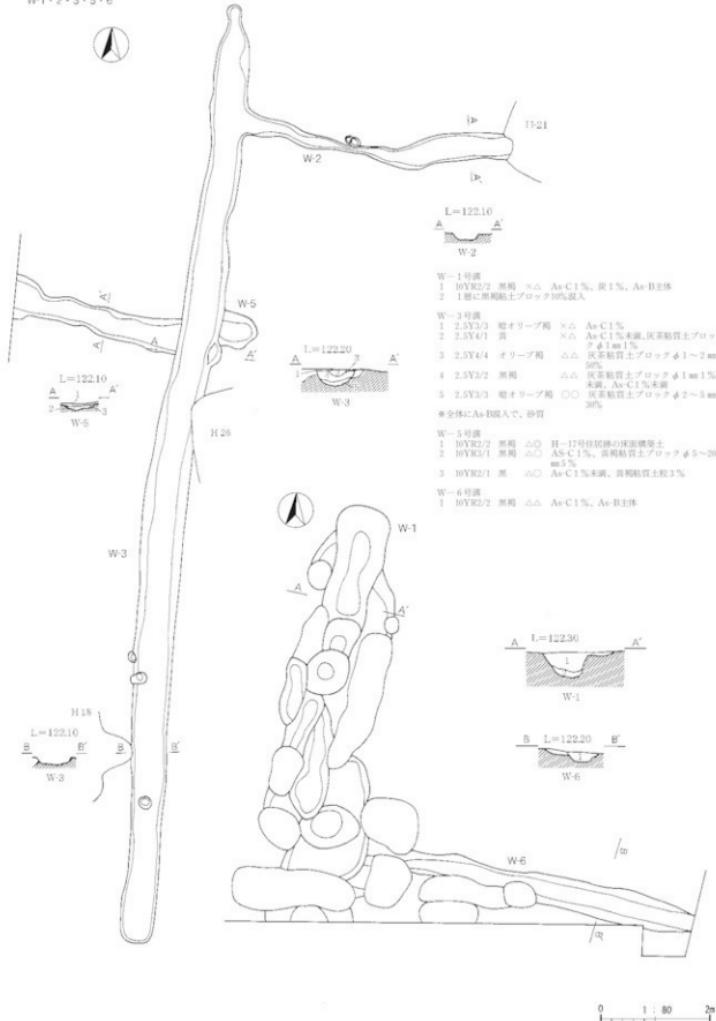


Fig.23 W—1·2·3·5·6号溝跡

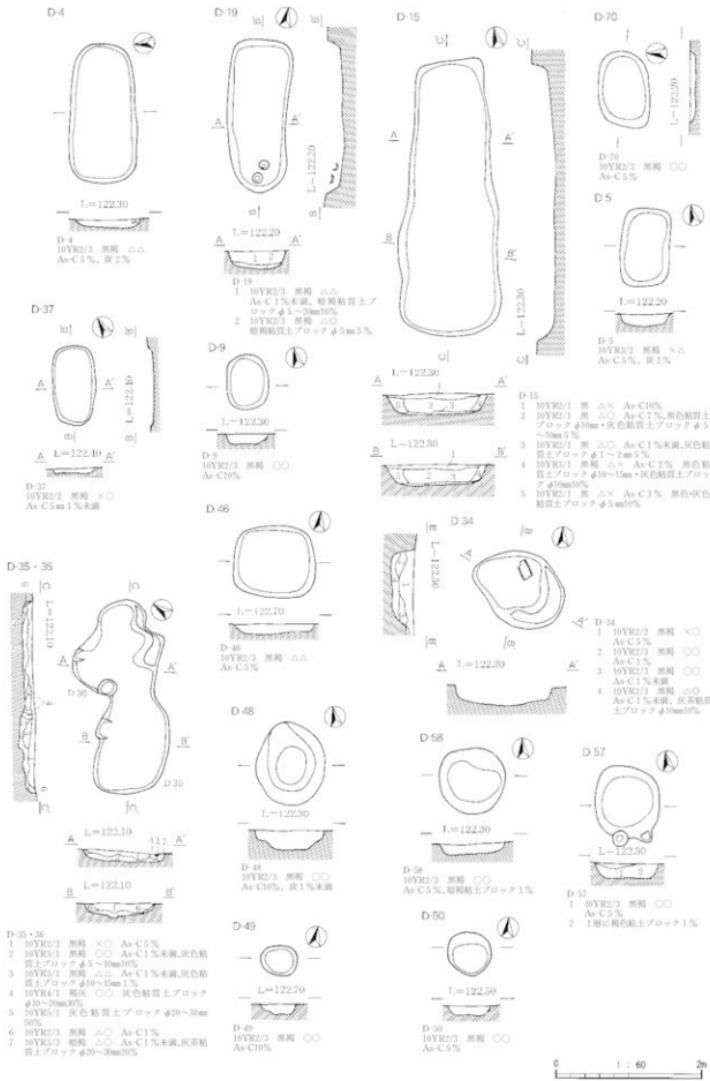


Fig.24 土坑(1)

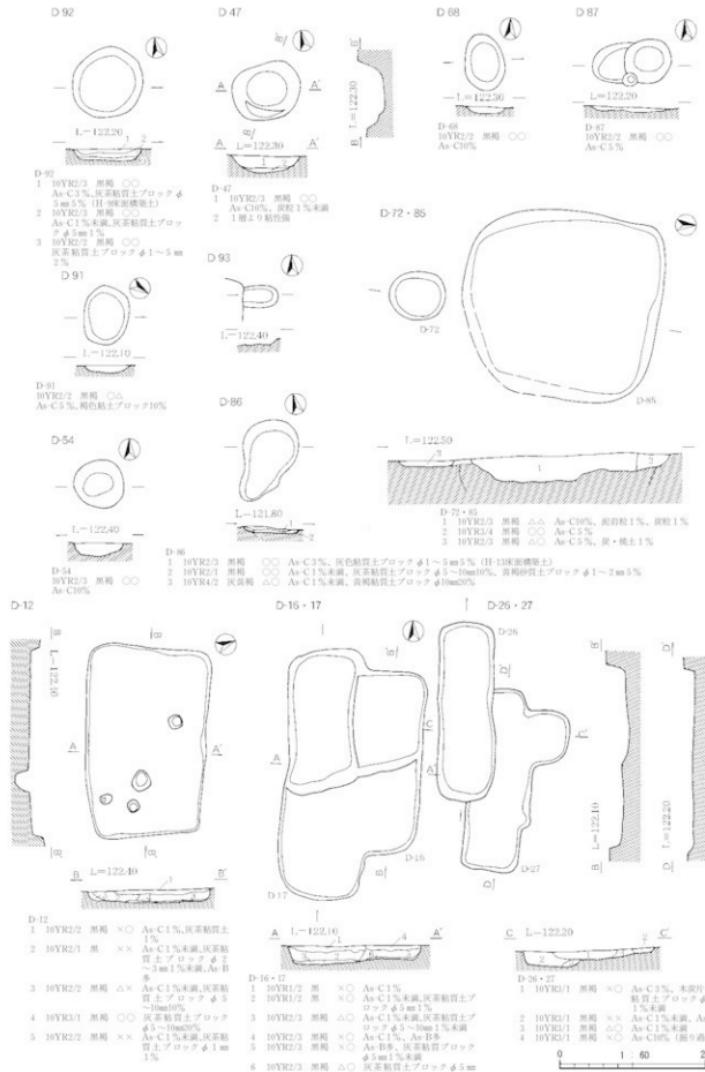


Fig.25 土坑(2)

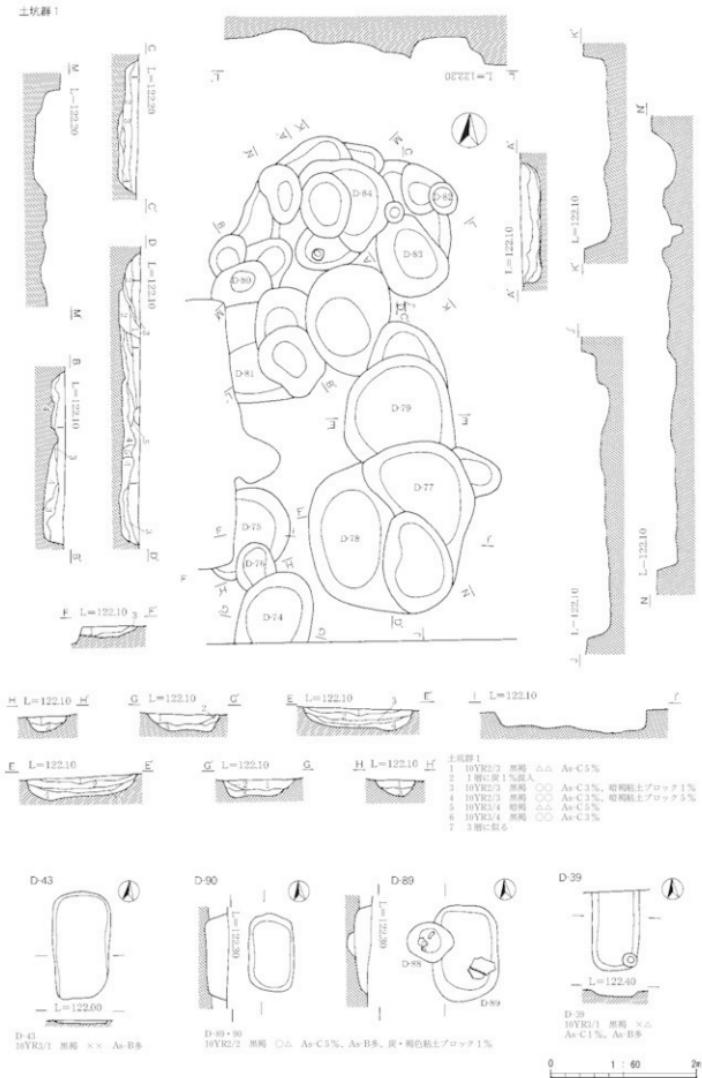


Fig.26 土坑 (3)

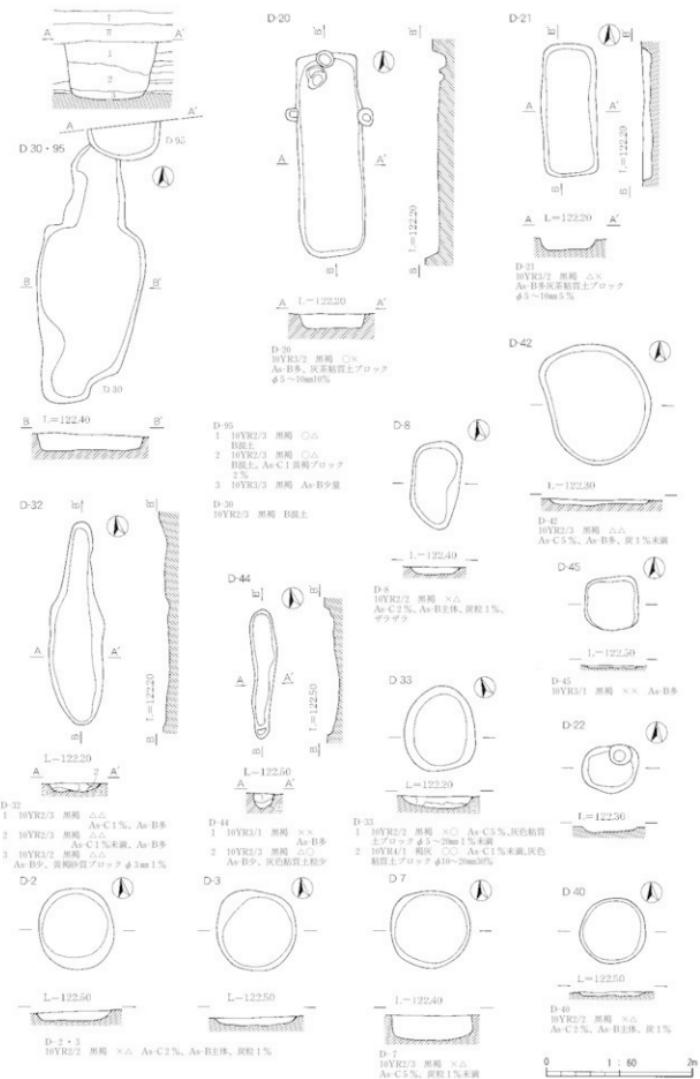


Fig.27 土坑 (4)

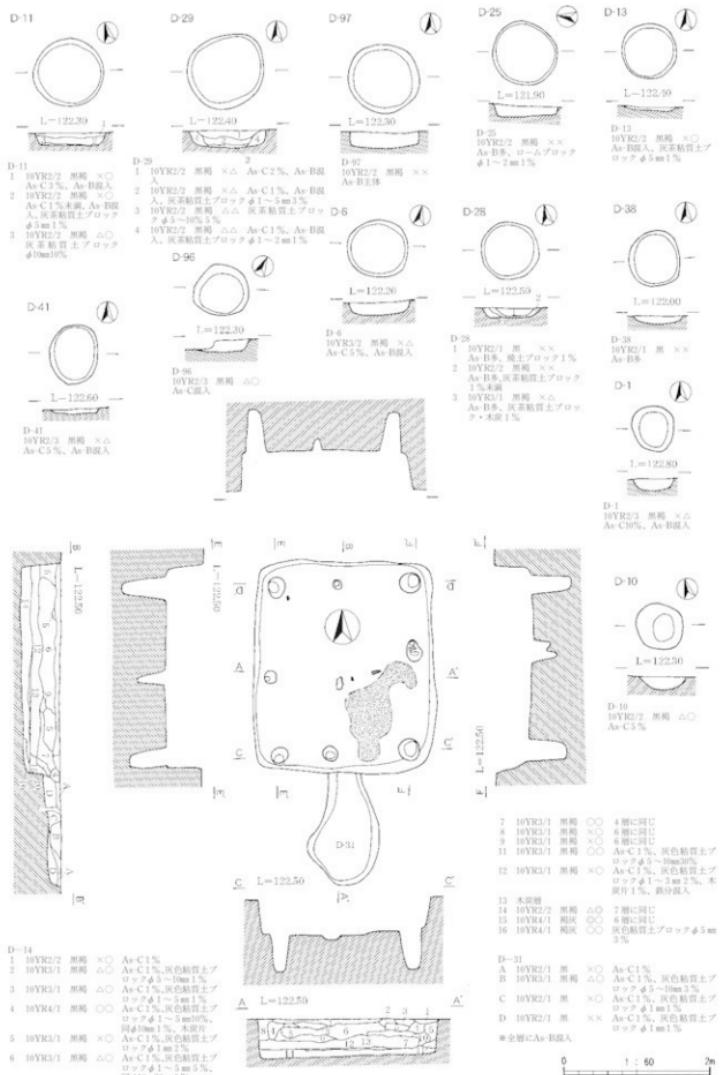


Fig.28 土坑(5)

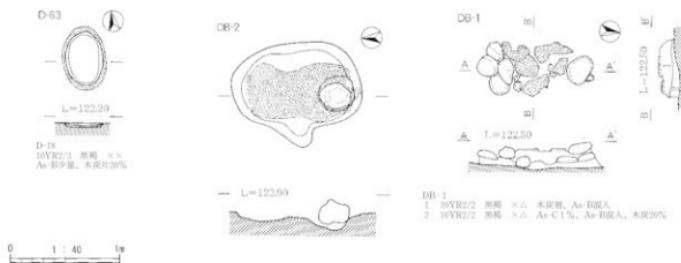
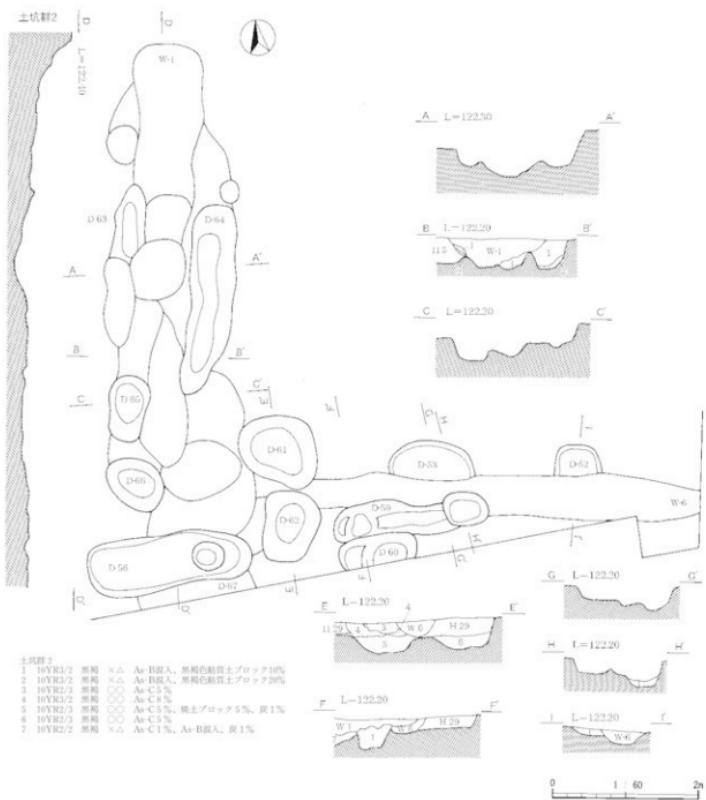


Fig.29 土坑 (6)

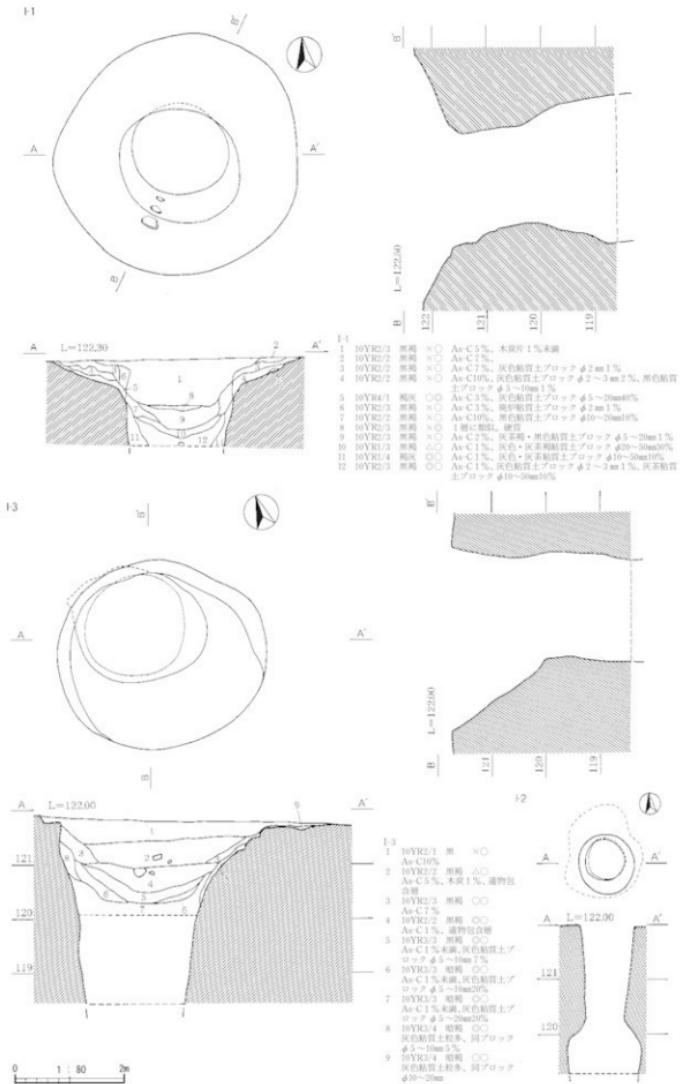


Fig.30 I-1・2・3号井戸跡

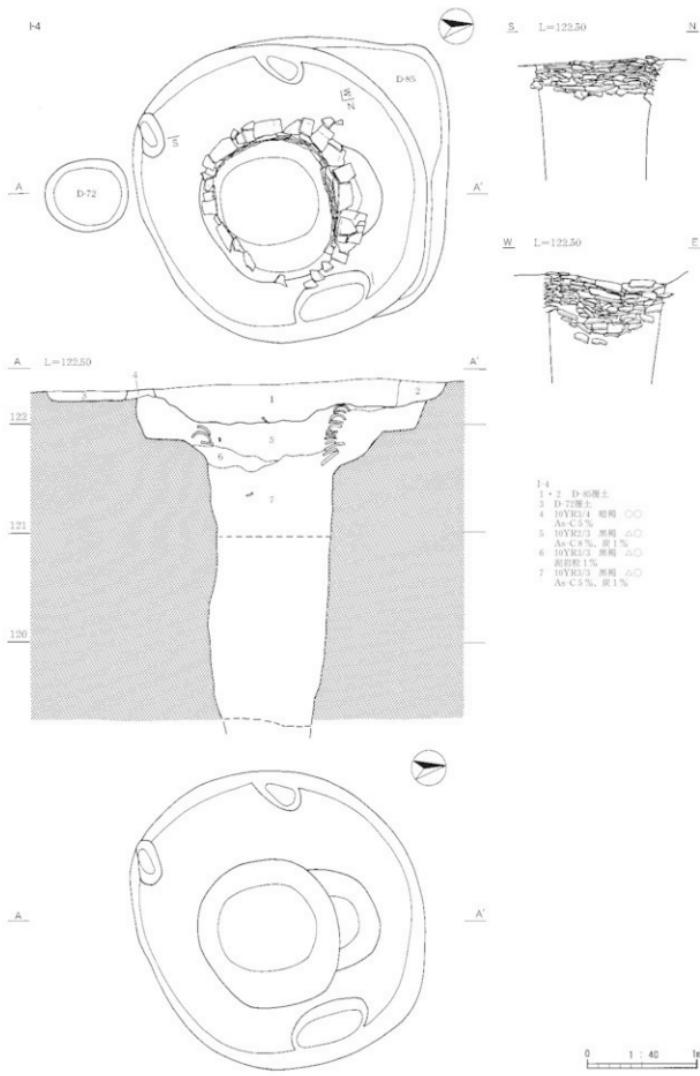


Fig.31 I-4号井戸跡

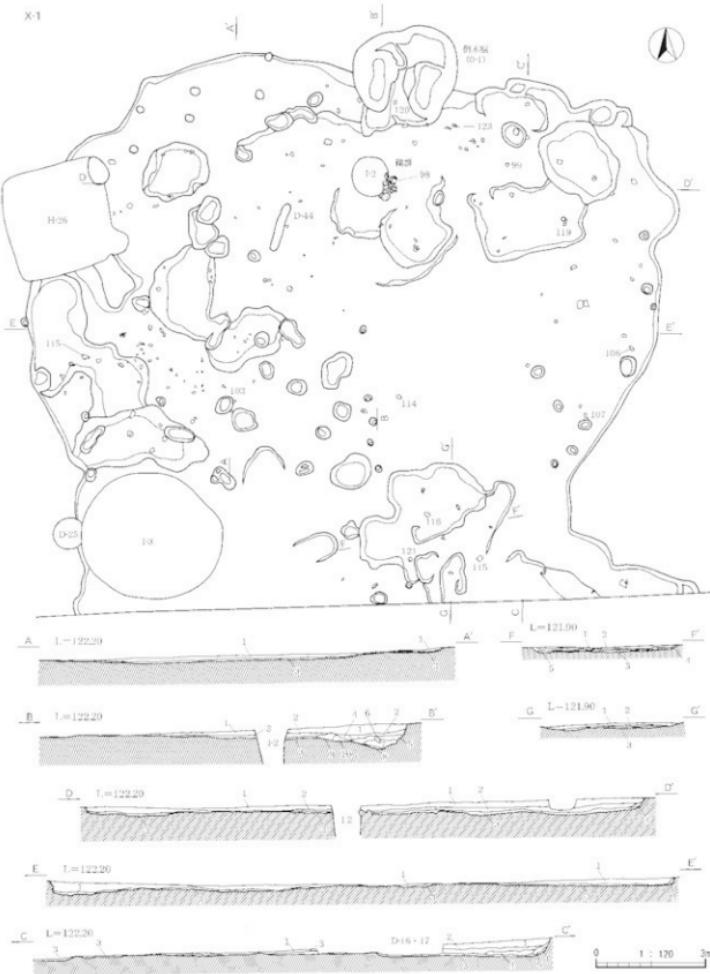


Fig.32 X-1号跡

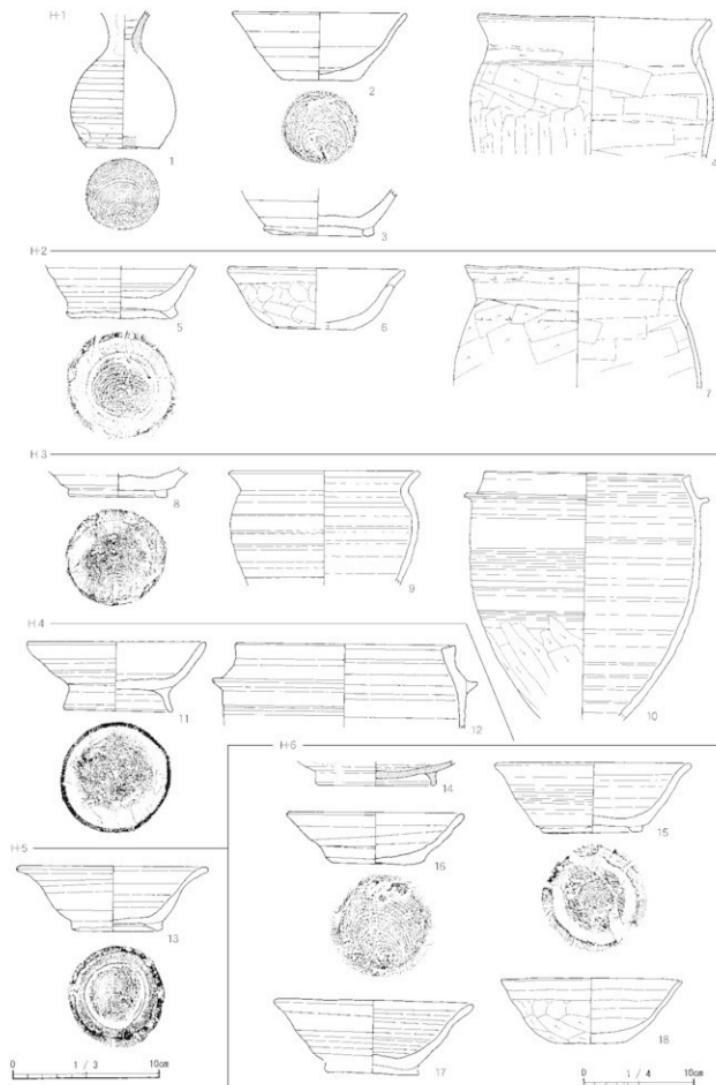


Fig.33 H—1～6号住居跡出土遺物

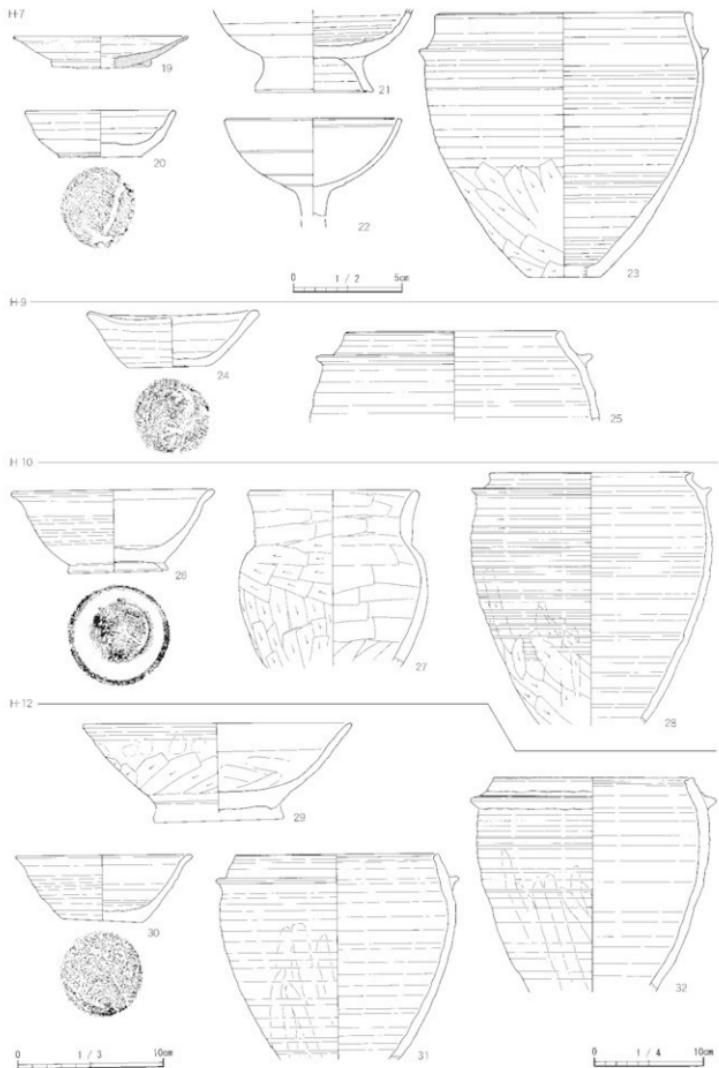


Fig.34 H—7～10・12号住居跡出土遺物

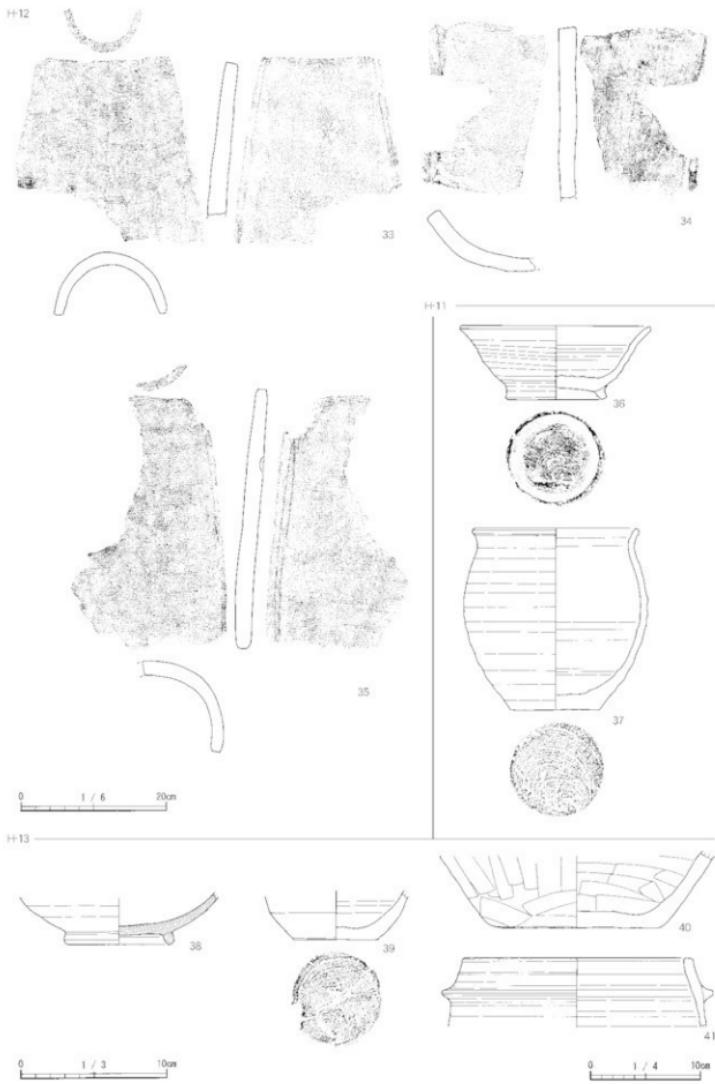


Fig.35 H-11~13号住居跡出土遺物

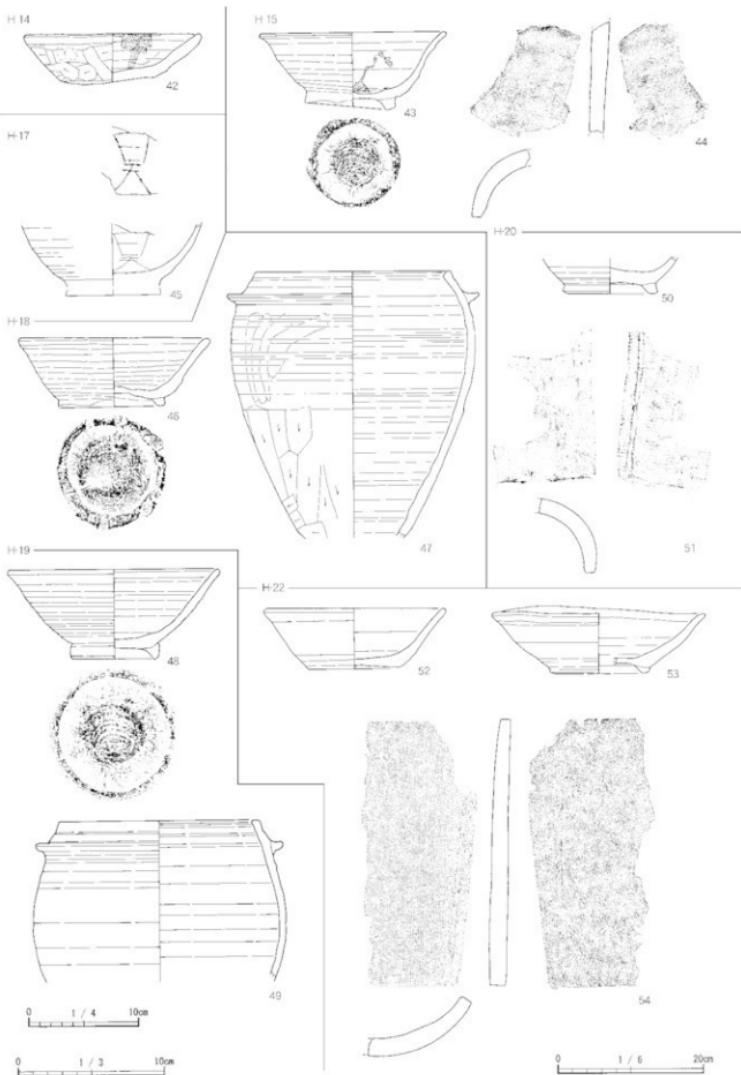
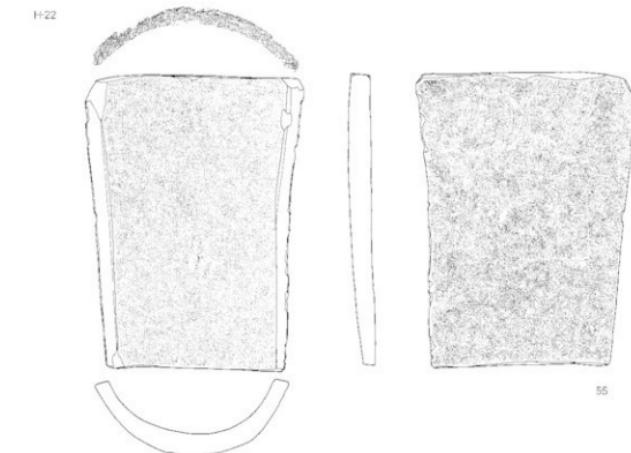
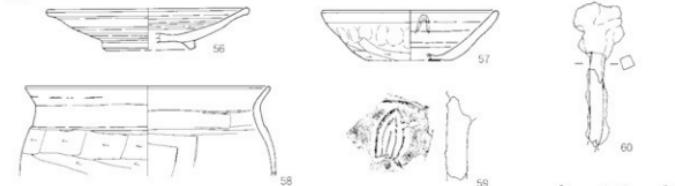


Fig.36 H-14~20 • 22号住居跡出土遺物

H-22



H-23



H-24

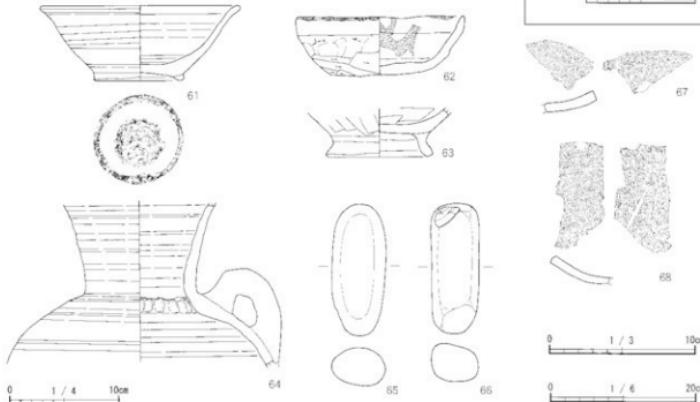


Fig.37 H—22•24号住居跡出土遺物

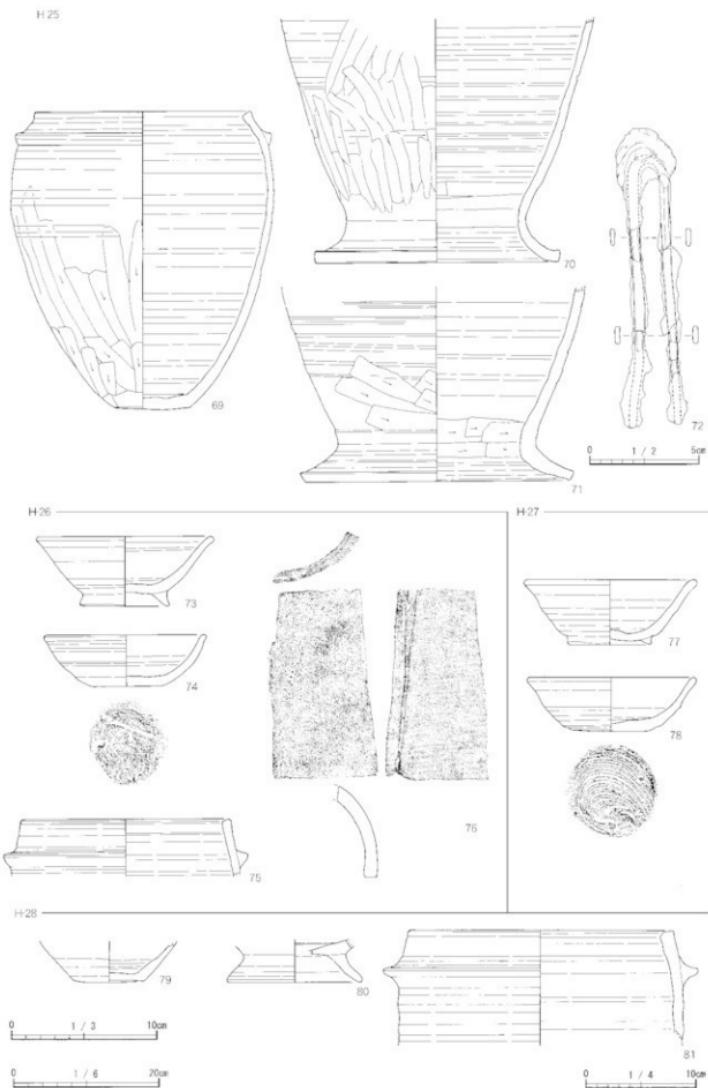


Fig.38 H—25~28号住居跡出土遺物

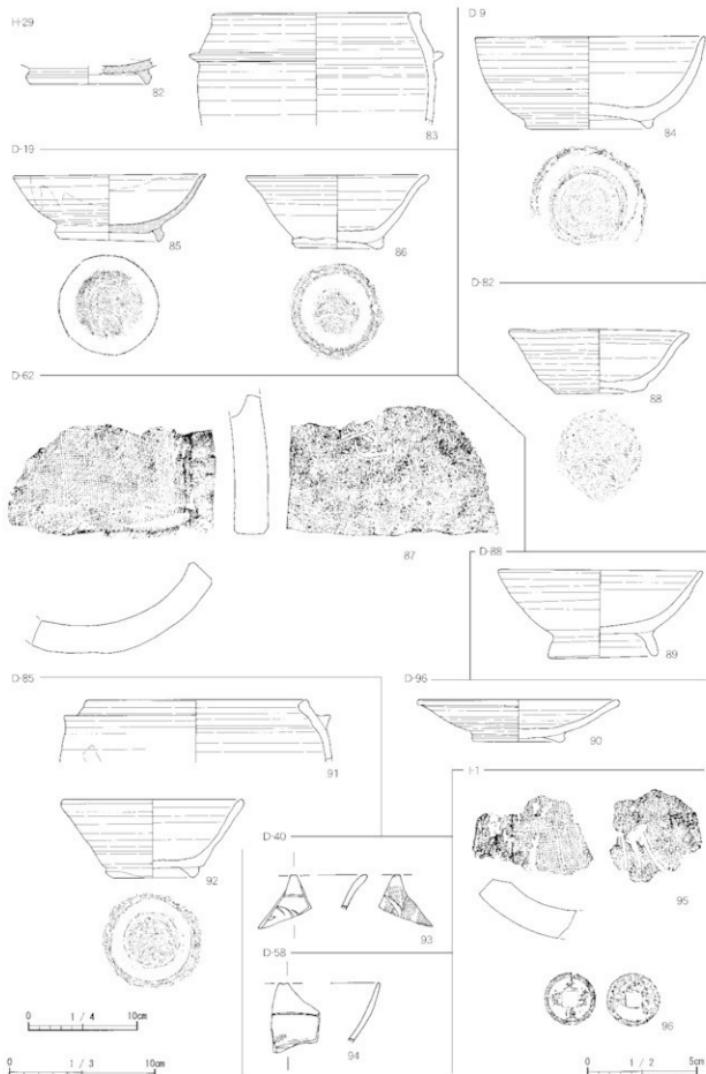


Fig.39 H-29号住居跡・土坑・I-1号井戸跡出土遺物

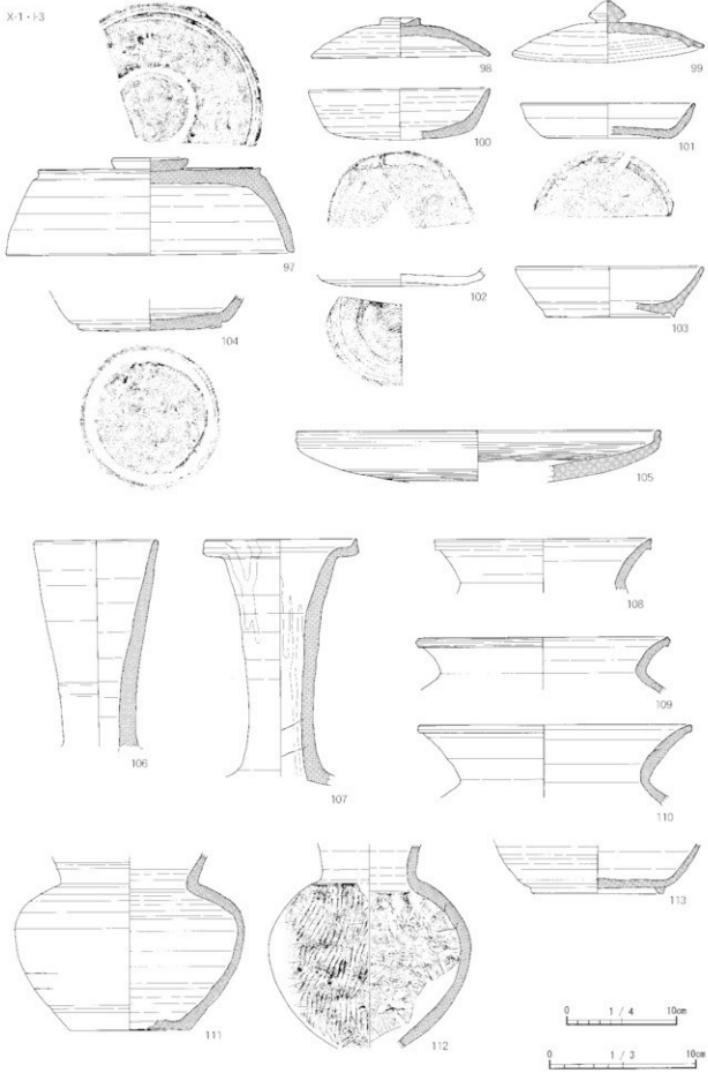


Fig.40 X-1号跡・I-3号井戸跡出土遺物

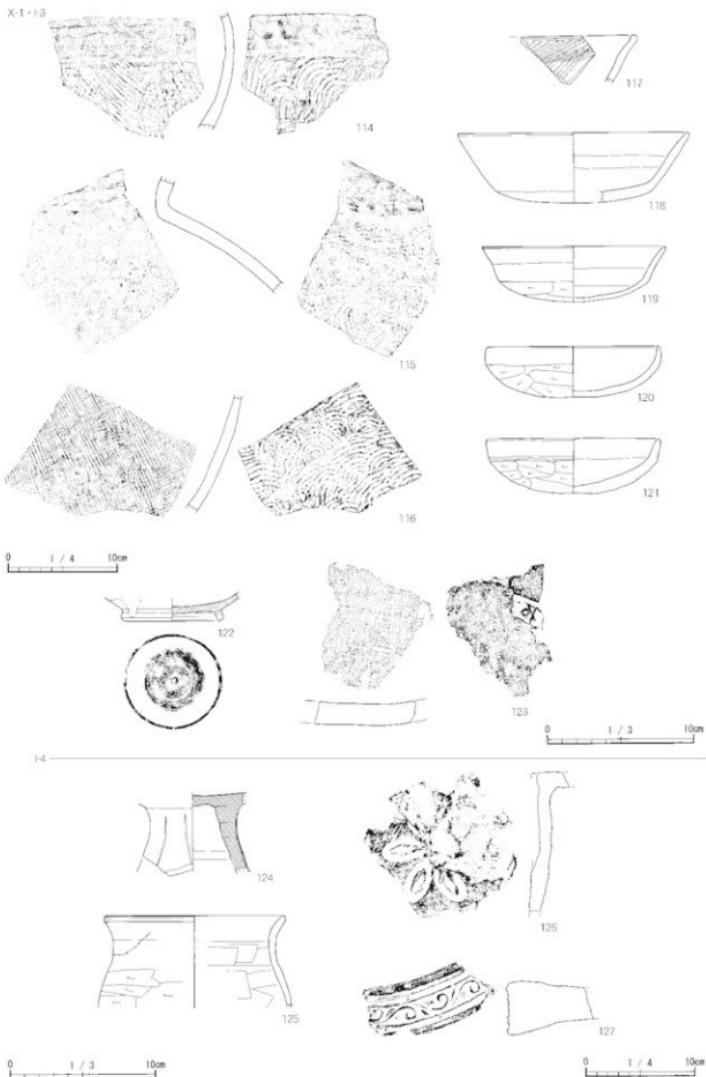


Fig.41 X-1号跡、I-3・4号井戸跡出土遺物

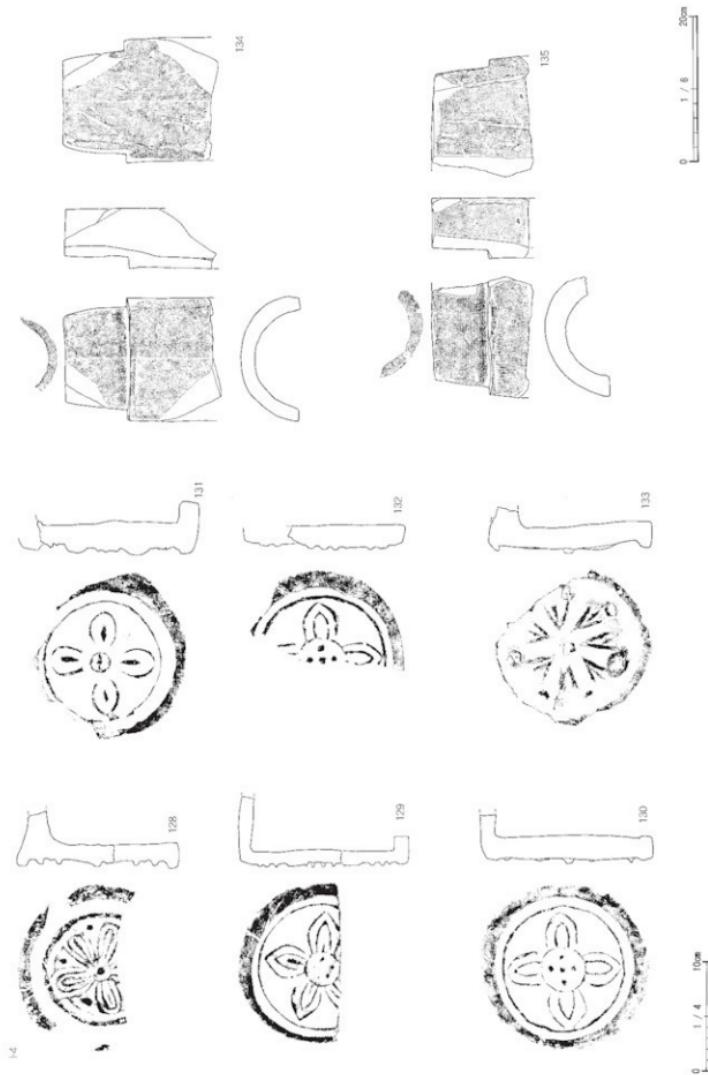


Fig.42 I—4号井戸跡出土遺物

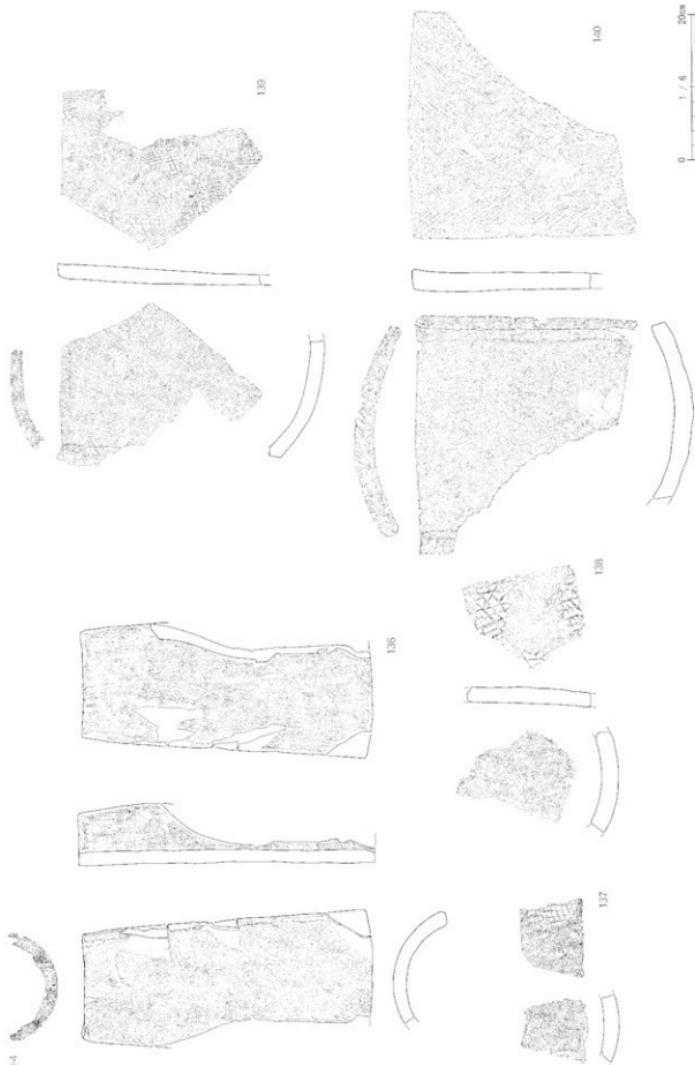


Fig.43 I—4号井戸跡出土遺物

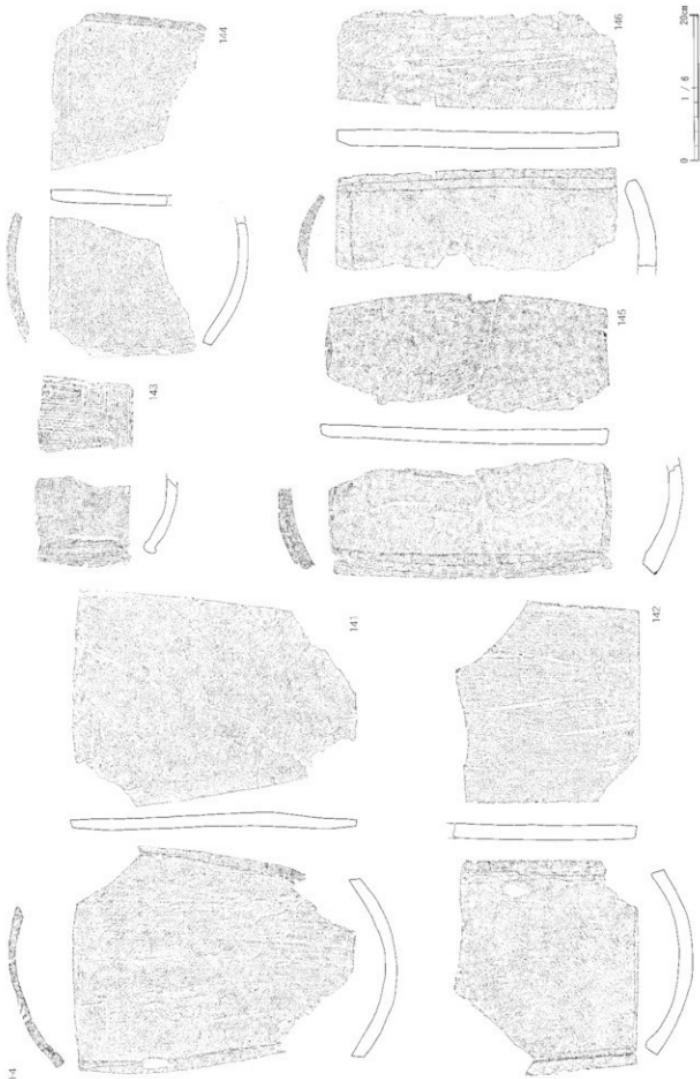


Fig.44 I—4号井戸跡出土遺物



Fig.45 I—4号井戸跡出土遺物

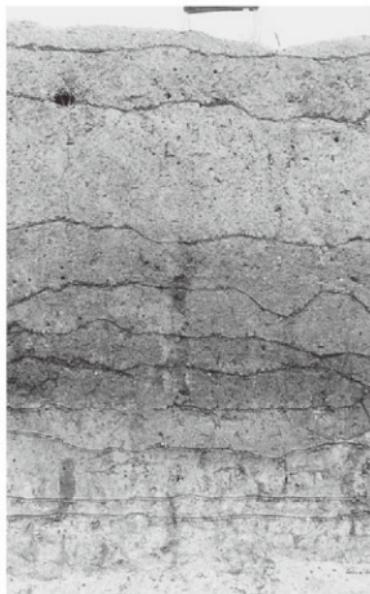
---

図 版

---



道路全景（A区）



基本上層



道路全景（B区）



調査風景



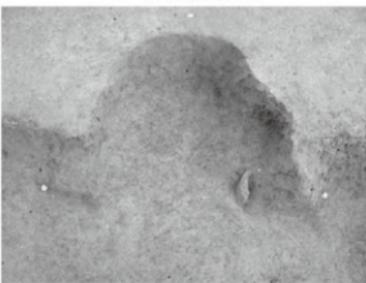
H-1号住居跡全景



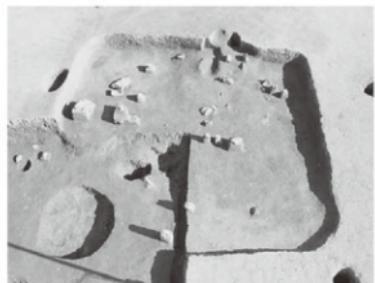
H-1号住居跡遺全景



H-2号住居跡全景



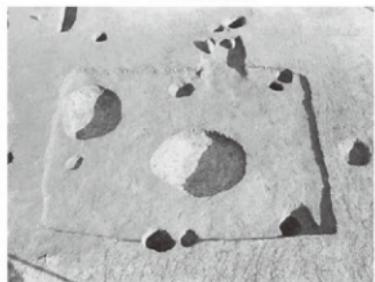
H-2号住居跡遺全景



H-3号住居跡全景



H-3号住居跡遺全景



H-4号住居跡全景



H-4号住居跡遺全景



H-5号住居跡全景



H-7·30号住居跡全景



H-6号住居跡全景



H-6号住居跡全景



H-8号住居跡全景



H-9号住居跡全景



H-10, 11, 12, 31号住居跡全景



H-10, 12号住居跡全景



H-11号住居跡全景



H-13号住居跡全景



H-14号住居跡全景



H-14号住居跡全景



H-15号住居跡全景



H-15号住居跡全景



H-16号住居跡全景



H-17号住居跡全景



H-18号住居跡掘り方全景



H-18号住居跡遺土層



H-19号住居跡全景



H-19号住居跡遺土層



H-20号住居跡遺土層



H-21号住居跡全景



H-22号住居跡全景



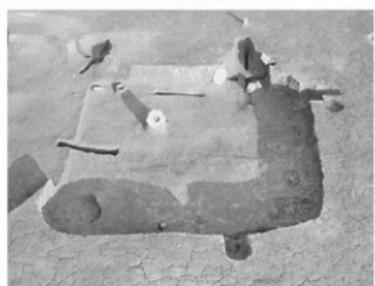
H-22号住居跡遺土層



H-23号住居跡全景



H-23号住居跡竪穴全景



H-24号住居跡全景



H-24号住居跡竪穴全景



H-25号住居跡全景



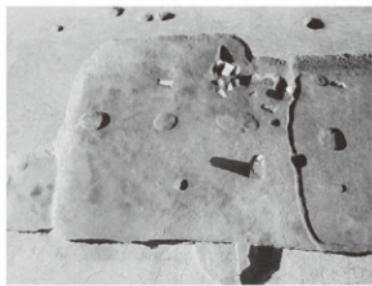
H-26号住居跡竪穴全景



H-26号住居跡全景



H-26号住居跡掘り方全景



H-27号居住跡全景



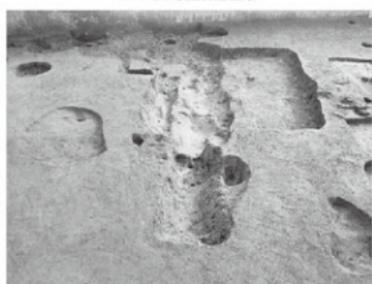
H-27号居住跡全景



H-28号居住跡全景



H-28号居住跡全景



W-1号溝跡·土坑群2全景



W-6号溝跡·土坑群2全景



W-2号溝跡全景



W-5号溝跡全景



D-5号土坑全景 (土壤墓)



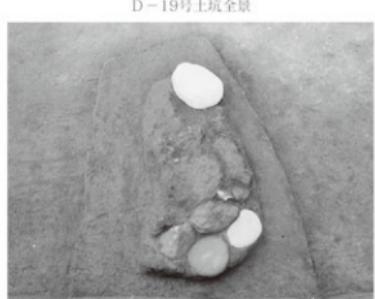
D-14号土坑全景



D-19号土坑全景



土坑群 I 全景



DB-1号土壤墓全景



DB-2号土壤墓全景



I-1号井口(路全景)



I-1号井口(路土层)



I-3号井戸跡全景



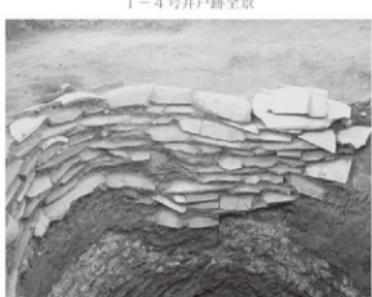
I-3号井戸跡土層



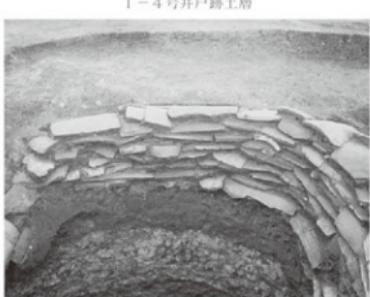
I-4号井戸跡全景



I-4号井戸跡土層



I-4号井戸跡北側瓦積み



I-4号井戸跡西側瓦積み



X-1号跡土層 (1)



X-1号跡土層 (2)



X-1号踏全景



X-1号踏西側



X-1号踏北側

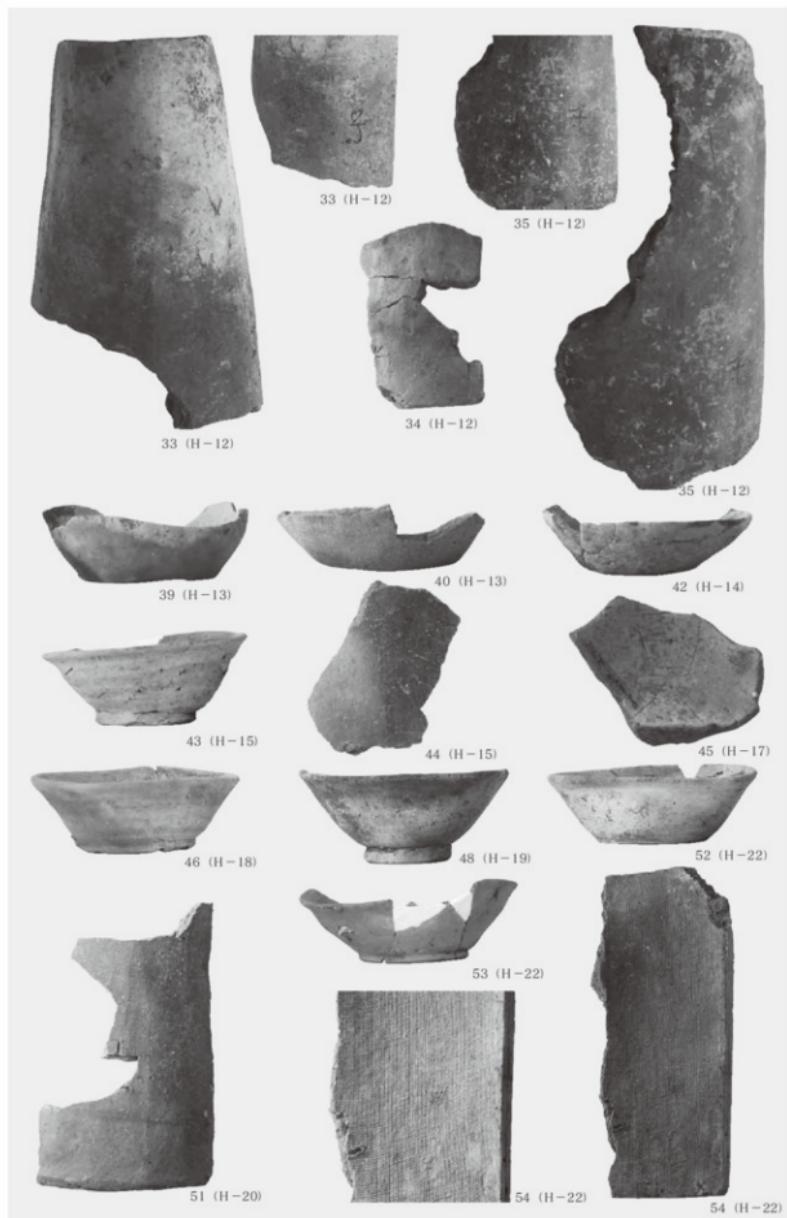


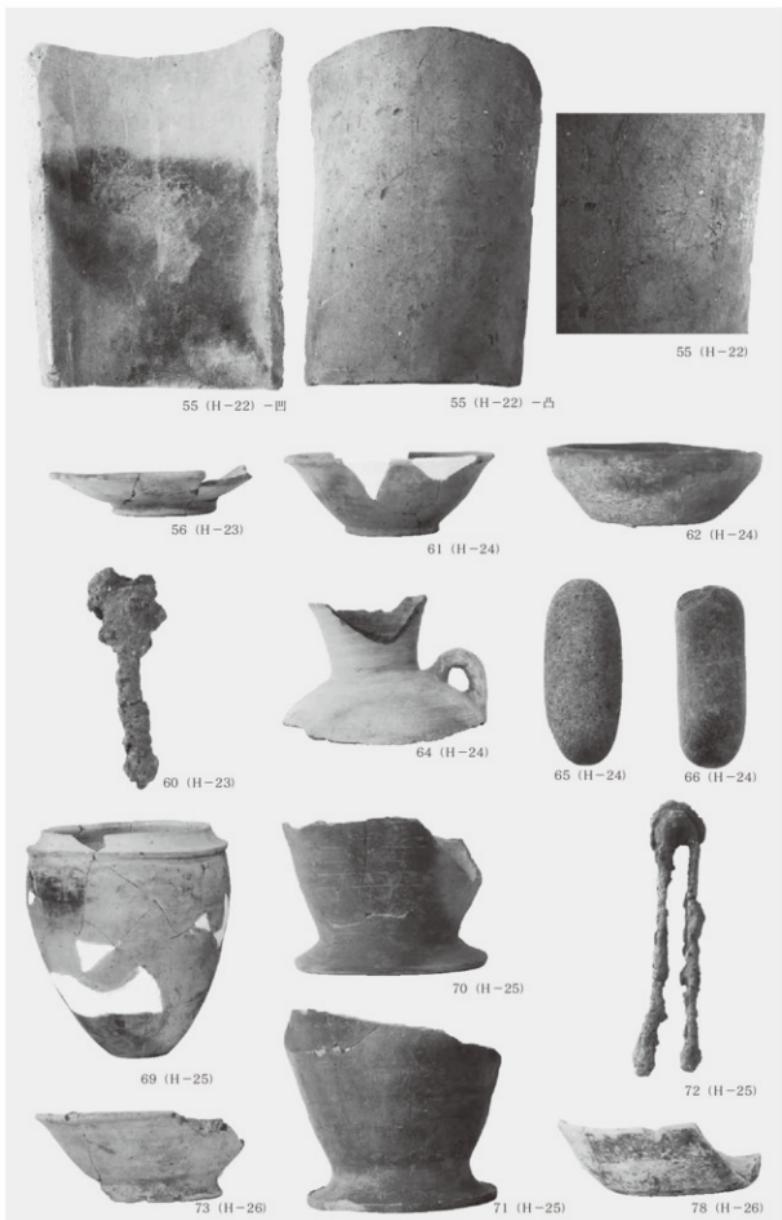
X-1号踏遺物出土状況（東側）

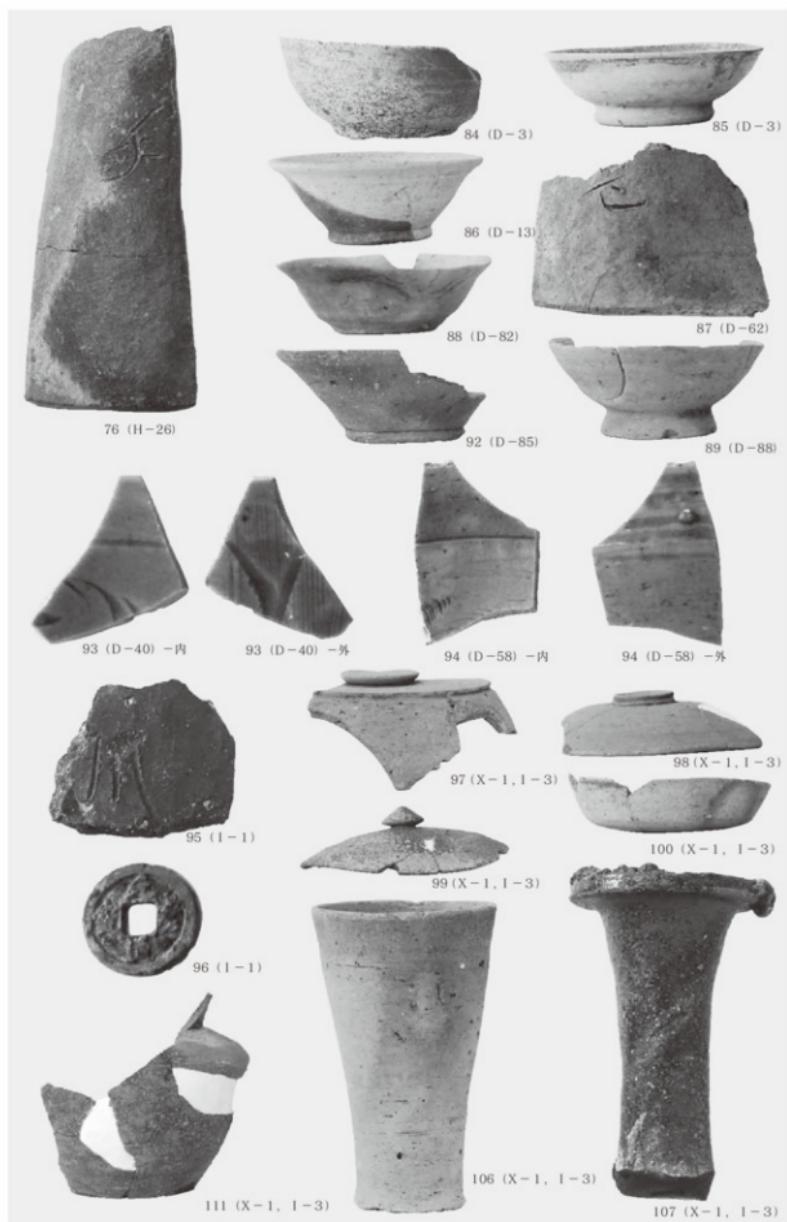


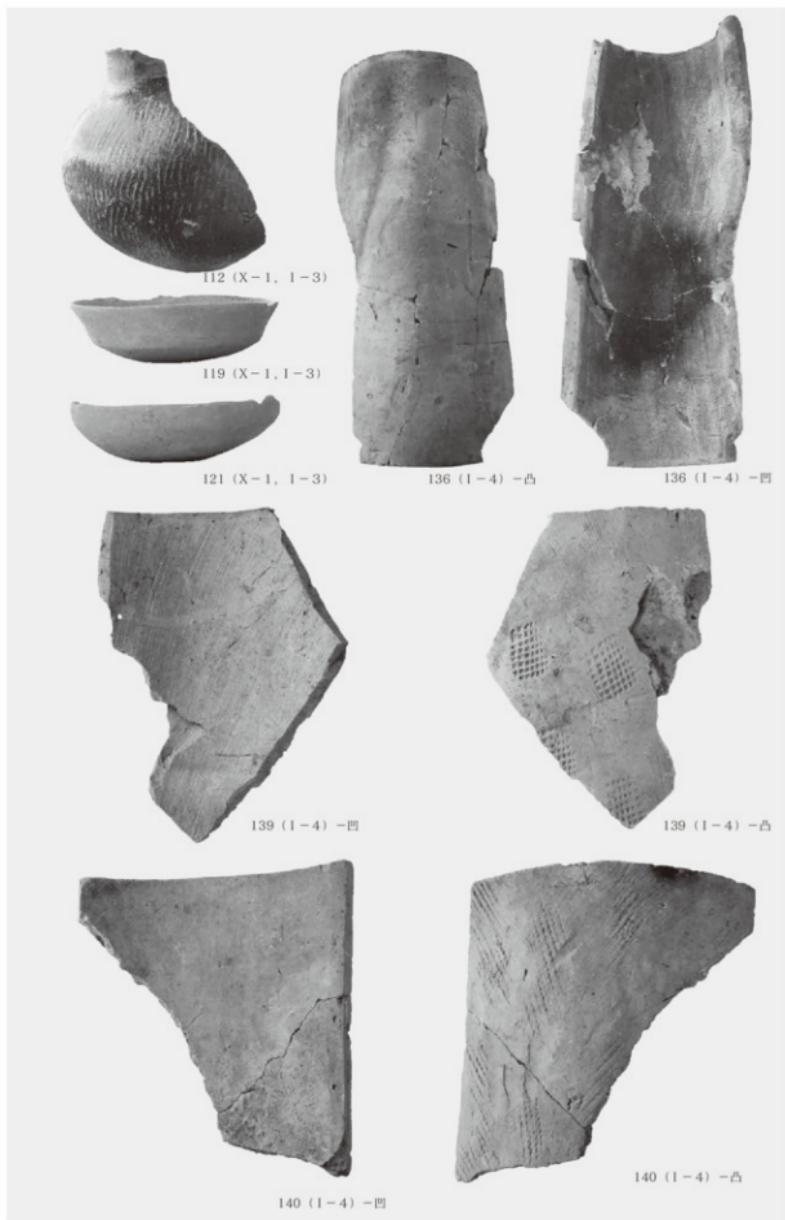
X-1号踏碎群













141 (X-1, I-3) - 凹



141 (X-1, I-3) - 凸



142 (X-1, I-3) - 凹



142 (X-1, I-3) - 凸



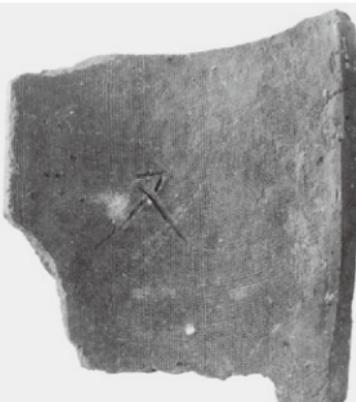
145 (X-1, I-3) - 凹



145 (X-1, I-3) - 凸



145 (X-1, I-3)



148 (I - 4)



149 (I - 4)



150 (I - 4)



151 (I - 4)



152 (I - 4)



153 (I - 4)

## 報告書抄録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン18						
書名	元総社蒼海遺跡群(18)						
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
卷次							
シリーズ名							
編著者名	梅澤克典・宇佐美義春						
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団・技術測量設計株式会社						
発行機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団						
発行機関所在地	〒371-0018 群馬県前橋市三保町二丁目10-2						
発行年月日	西暦2008年3月13日						
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経 ° ° ° °	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
元総社 蒼海遺跡群(18)	群馬県 前橋市 元総社町 1718番ほか 3筆	10201	19A130 -18	36°23'23" 139°01'55"	2007.10.16 2008.1.16	1,440m <sup>2</sup>	前橋都市計画 事業元総社蒼 海土地区画整 理事業
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
元総社蒼海遺跡 群(18)	集落跡 その他	奈良・平安 中世 近世	堅穴住居跡 溝 5条 井戸 4基 土坑 94基 土壙墓 2基 ピット 311基 風倒木痕 2基 掘り込み状遺構 1箇所	縄文土器、石器、土師器、須 恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、 鉄製品、銅製品、舶載青磁・ 青白磁、かわらけ、古銭他		なし	

### 元総社蒼海遺跡群(18)

2008年3月3日 印刷  
2008年3月13日 発行

編集発行 前橋市埋蔵文化財発掘調査団  
前橋市三保町二丁目10-2  
TEL 027-231-9531  
印刷所 朝日印刷工業株式会社